

セキュア GIS 操作マニュアル

Ver. 1.0	2020/06/25
Ver. 5.0	2021/11/16
Ver. 10.0	2022/12/06
Ver. 11.0	2023/04/06
Ver. 12.0	2024/02/06

neo *GIS*

目次

1	はじめに	5
1-1	システム概要	5
1-2	サービスタイプ	6
1-3	使用データ	6
1-4	本マニュアルに関して	7
2	システムの機能一覧	8
3	ログイン	9
4	ログアウト	9
5	システム基本操作	9
5-1	システム画面	9
5-2	地図操作	10
5-3	データ表示	10
5-4	データ検索	10
6	ユーザデータの地図表示	11
6-1	CSVデータの地図表示	11
6-1-1	CSVデータのプレビュー表示	15
6-2	KMLデータの地図表示	16
6-3	GeoJsonデータの地図表示	19
6-4	Shapeデータの地図表示	22
6-5	エクセルデータの地図表示	26
6-5-1	エクセルデータのプレビュー表示	30
6-6	点データのヒント	31
7	ユーザデータの操作	32
7-1	ユーザデータの移動	32
7-2	ユーザデータの並び替え	32
7-3	ユーザデータの絞り込み	33
7-4	ユーザデータの条件検索	33
7-5	条件検索結果の地図表示	37
7-6	ユーザデータのエリア検索	38
7-7	データ管理ウィンドウの複数表示	41
7-8	スタイル変更	42
7-9	データ編集	43
7-10	データ入力	46
7-11	イメージ画像の添付	49
7-12	ユーザデータの削除	50
7-13	全体表示	51
7-14	再表示	51
8	住所検索	51
9	計測	52
9-1	距離計測	52
9-2	面積計測	52
10	表示設定	53
10-1	投影座標系	53
10-2	表示縮尺の設定	54
10-3	背景地図の切り替え	54
10-4	背景の追加表示	55

1 0-5	データ表示	55
1 0-6	吹き出し表示	56
1 0-7	入力候補表示	56
1 0-8	現在地情報	57
1 1	レイヤ管理	58
1 1-1	レイヤ ON/OFF	58
1 1-2	レイヤ設定	58
1 1-3	レイヤ追加	60
1 1-4	レイヤ削除	60
1 2	印刷	61
1 2-1	印刷設定	61
1 2-2	印刷	61
1 3	分割印刷	63
1 3-1	印刷設定	63
1 3-2	印刷	64
1 4	ユーザデータの保存	65
1 4-1	CSV データでの保存	65
1 4-1-1	CSV データでの保存	65
1 4-1-2	保存された CSV データ	66
1 4-1-3	2 度目以降の CSV データの読み込み	66
1 4-2	KML データでの保存	67
1 4-2-1	KML データでの保存	67
1 4-2-2	Google Earth の KML との互換性	68
1 4-3	GeoJSON データでの保存	69
1 5	G I S データの取り込み	70
1 5-1	e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データ	70
1 5-2	国土数値情報ダウンロードサービス	72
1 5-3	自治体所有のオープンデータ（オプション）	74
1 5-3-1	プレビュー表示機能	76
1 5-4	法務省登記所備付地図データ（筆）	77
1 6	G I S データの表示	79
1 6-1	国土数値情報ダウンロードサービス	79
1 6-2	ハザードマップの表示	80
1 6-3	透過度の調整	82
1 7	ランク表示	83
1 7-1	点データのランク表示	83
1 7-2	線データのランク表示	85
1 7-3	面データのランク表示	87
1 7-4	ランク凡例	89
1 8	モバイル版	90
1 8-1	モバイル版の機能	90
1 8-2	GPS による地図表示	90
1 8-3	データ入力	91
1 8-4	データ更新、削除	92
1 8-5	レイヤ設定	92
1 8-6	レイヤ管理	93
1 8-7	ファイル読み込み	94
1 8-8	ファイル保存	94

18-9	G I Sデータの取り込み	95
18-10	レイヤ削除	96
18-11	その他機能	97
19	添付画像のユーザサーバへの保存	98
19-1	ユーザサーバの準備	98
19-2	本サービスでの使用方法	98
19-3	実行サンプル	99
19-4	localhost（自分のP C）でのサンプル	101
19-4-1	WWW サーバのインストール	101
19-4-2	フォルダ作成、WWW サーバ設定	102
19-4-3	ブラウザ設定	103
19-4-4	動作確認	103
50	画地計測（オプション）	105
50-1	計測項目	105
50-2	画地計測ウィンドウ	106
50-3	計測条件の設定	107
50-4	計測実行	109
50-4-1	1点入力	109
50-4-2	3点入力	110
50-4-3	多点入力	111
50-4-4	無道路計測	111
50-5	計測結果の印刷	112
50-5-1	印刷レイアウト	112
50-5-2	計測値の編集	114
50-5-3	計測結果の印刷	115

1 はじめに

セキュアGISは、エクセル等で管理しているデータを簡単にブラウザベースのGISに移行できるサービスです。システムはインターネット経由で提供されますが、お客様のデータは自分の端末から外に出ない完全セキュアなサービスです。

モバイル端末（タブレット、スマホ）でも稼働します。

1-1 システム概要

NEOGIS管理のクラウドサーバからインターネット経由でサービスを提供します。

ユーザデータは、サーバに送られることもなく、安全に処理されます。

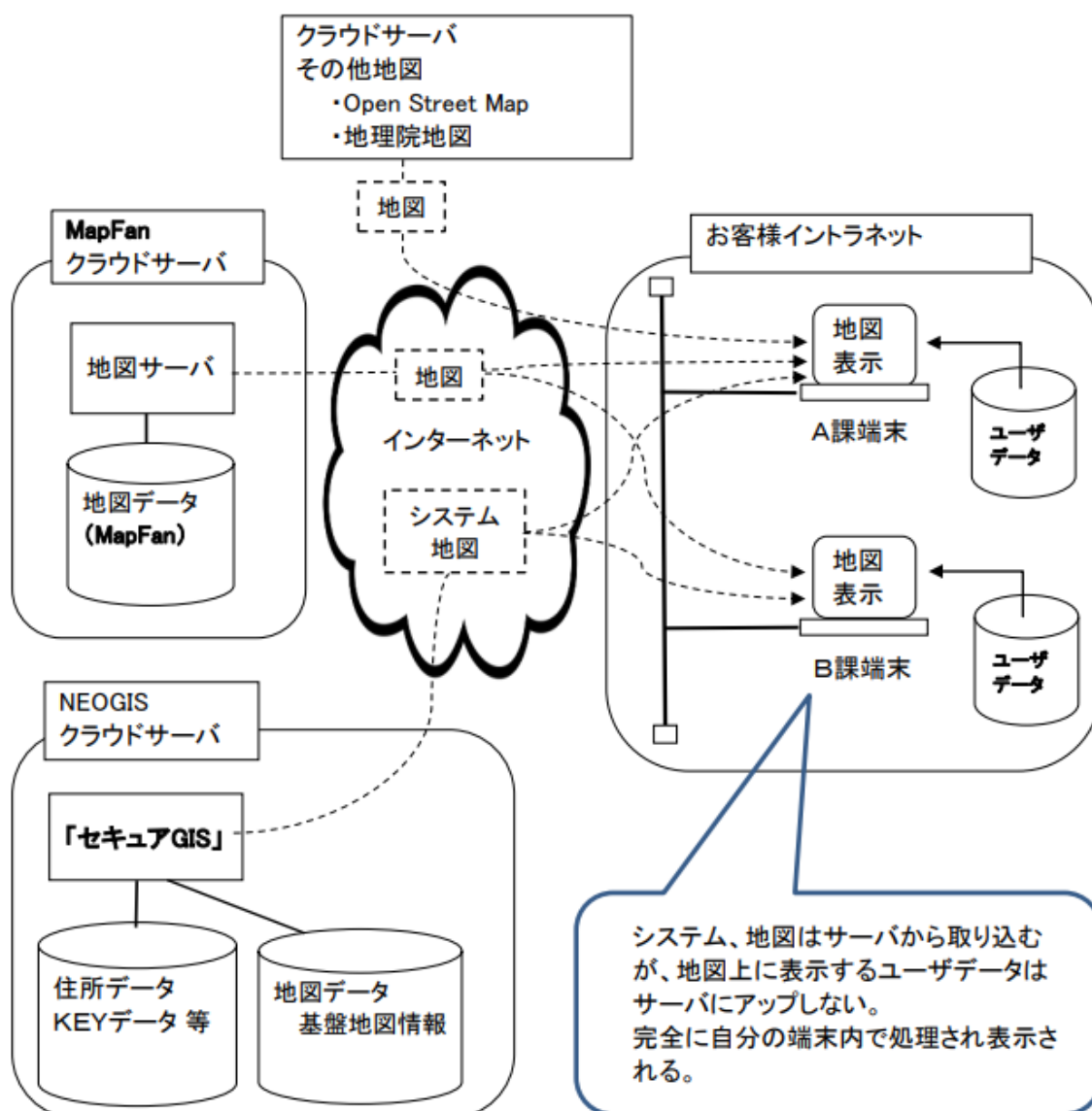
全てブラウザ内で処理されます。

標準地図：基盤地図情報、地理院地図、OpenStreetMap。。。。

標準住所：街区レベル位置参照情報、電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」

オプション：

- ・自治体保有の都市計画図（DM）、住所 ※自治体導入の場合
- ・ジオテクノロジーズ（株）製 MapFan の地図、住所



1-2 サービスタイプ

セキュア GIS は、お客様のタイプにより 2 種類のサービスを用意しています。

① セキュア GIS for 自治体

自治体向けのサービスです。

自治体のホームページからリンクを張って頂き、全庁および全住民にご使用頂けるサービスです。
使用可能地図エリア、住所情報は、対象自治体に絞られます。

② セキュア GIS

一般企業等民間向けサービスです。

導入企業内の本社、支社、支店等でご使用頂けるサービスです。
使用可能地図エリア、住所情報は、日本全国となります。

③ セキュア GIS mini

個人向けサービスです。

年間 PV を抑え、お求めやすい価格としたサービスです。
使用可能地図エリア、住所情報は、日本全国となります。

① ②導入前のお試しにもご利用頂けます。

1-3 使用データ

① 標準搭載データ

住所データ

- ・ 街区レベル位置参照情報

<http://nlftp.mlit.go.jp/isy/index.html>

- ・ 電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」

http://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/jukyo_jusho.html

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を複製したものである。

(承認番号 平 27 情複、 第 110 号)」

背景地図

- ・ 基盤地図情報

<http://www.gsi.go.jp/kiban/>

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
(承認番号 平 23 情使、第 702 号)」

- ・ 地理院地図

<http://maps.gsi.go.jp/development/>

「(国土地理院背景地図等データ利用許諾番号) 2012-005 号」

- ・ OpenStreetMap

印刷、画像切り出し等に自由度の高い OpenStreetMap (OSM) を使用。
OSM は、世界中のボランティアの方々が作成しているインターネット上の地図です。

<https://openstreetmap.jp/>

② オプション（有償）データ

住所データ

- ・ 住所ポイントデータ（エリア：全国）

ジオテクノロジー株式会社 (<https://geot.jp/>) より正式に使用ライセンスを得ております。

背景地図

- ・ MapFan API

ジオテクノロジー株式会社 (<https://geot.jp/>) より正式に使用ライセンスを得ております。

測量法第 30 条、第 44 条に基づく地図承認に関しては以下となります。

<https://business.mapfan.com/aboutmap/>

※ 広域地図（1/25,000）部分は、基盤地図情報を使用し、弊社で独自に補てんしています。

③ データ精度に関して

アドレスマッチングで使用する住所データ、および背景地図は、リアルタイムに現況を反映しているものではありません。

精度に関しては、上記それぞれのサイトにて確認をお願い致します。

特に標準搭載の住所データに関しては、自治体によっては、街区（街区レベル位置参照情報）までの特定となります。

住居表示まで整備されている自治体に関しては、上記、電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」サイトにて確認をお願い致します。

また、電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」は、建物を特定するものではなく、基礎番号であることも上記サイトにて確認をお願い致します。

自治体にて地名辞典等住所データを整備されている場合は、オプションになりますが、そのデータを使用することも可能です。

1-4 本マニュアルに関して

本マニュアルは、自治体版、民間版、個人版を区別せずに記述しています。

2 システムの機能一覧

セキュア GIS は、下記機能を装備しています。

- ・ GIS 基本機能
地図の拡大／縮小、スクロール、回転機能。
- ・ 住所検索機能
住所から場所を検索する機能。
自治体版は、導入自治体内の住所に限定されます。
- ・ アドレスマッチング
アドレスマッチングとは、住所から座標（緯度経度）を検索する機能です。
住所項目を含む CSV データ、エクセルデータを取り込むと、アドレスマッチングが実行され、各データが地図上にプロットされます。
この処理は、安全に処理されます。
ユーザデータをサーバにアップロードする事はありません。
住所のみ切り離してサーバに送り、緯度経度に変換します。
- ・ データ作成機能
任意のマーカー、線、面、矩形、円、楕円と、それに対応する属性情報を作成可能です。
それらは、CSV、KML、GeoJSON データで保存可能です。
※ KML、GeoJSON は、Google maps 等で使用される GIS データの形式です。
座標付きの図形と対応する属性を保存できる形式とお考え下さい。
CSV データの保存ですとマーカーのように 1 点の保存しかできませんが、KML、GeoJSON で保存すると、線、面等の複数点を持つデータも保存可能となります。
- ・ 計測機能
地図上で距離、面積を計測可能です。
- ・ 印刷
地図、およびプロットされたユーザデータを印刷可能です。
背景地図に MapFan を使用した場合は、印刷された地図は庁内、企業内での利用に限定されます。配布用のライセンスは含まれておりません。
配布用は、MapFan 以外の背景地図を使用願います。
- ・ e-Stat 統計データの取り込み
e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データを取り込み、小地域（町・字等別）ポリゴンレイヤとして表示可能です。
- ・ 自治体オープンデータの取り込み（オプション）
自治体で公開しているオープンデータを取り込み、レイヤとして表示可能です。

以下の章では、それぞれの機能を説明します。

説明には、セキュア GIS デモサイト (https://neogis.net/~mapv/index_demo.html) を使用します。また、サンプルデータもデモサイトのものを使用します。
デモサイトのデータは、室蘭市のオープンデータを使用しています。

3 ログイン

ブラウザのアドレスに、お客様用に指定された URL を入力します。
「スタート」ボタンをクリック。

自治体版は、下記が対象自治体に限定されます。

- ・住所検索
- ・アドレスマッチング
- ・データ登録
- ・地図表示
- ・印刷

4 ログアウト

システムを終了するには、そのままブラウザを閉じるか、
「メニュー」「ログアウト」を選択します。

5 システム基本操作

5-1 システム画面

データを読み込むと下図のような画面となります。


The screenshot displays the system's main interface. At the top, a menu bar includes 'メニュー' (Menu) and 'ログアウト' (Logout). The main area is divided into two sections: a map on the left and a data list on the right. The map shows a coastal area with various locations marked by red pins. A pop-up window for a selected location (OBJECTID: 32) provides details such as '交付番号' (E-3), '施設名称' (室蘭市民会館 3F 上層), '設置場所' (1階 事務室), '住所' (北海道室蘭市寿町3丁目16-3), and '電話番号' (0143-45-3033). The data list at the bottom contains columns for 'NO', 'OBJECTID', '交付番号', '施設名称', and '設置場所'. It lists several facilities, including '室蘭市白鳥大橋記念館みたら' and 'ナラサキスタックス (株) 室蘭支店'. The list is paginated, showing 1 of 142 items.

NO	OBJECTID	交付番号	施設名称	設置場所
1	1	A-1	室蘭市白鳥大橋記念館みたら	1階 事務室
2	2	A-3	ナラサキスタックス (株) 室蘭支店	1階 会議室
3	3	A-4	市立室蘭水族館	1階 事務室
4	4	A-7	函館どつく株式会社室蘭製作所	船舶部事務所
5	5	A-8	特別養護老人ホームみたらの杜	1階 中央管理室
6	6	A-11	室蘭市立中央公民館	4階 市民ホール



画面上部に地図、下部にデータリストが表示されます。
各データは地図上にマーカーで表示されます。

5-2 地図操作

地図の基本的な操作方法は以下となります。

拡大・縮小： マウスのスクロールホイールの前後で行います。
また、画面左上の  によっても可能です。

地図移動： マウスによるドラッグで行います。

地図回転： キーボードの「Shift」「Alt」を同時に押し、マウスのドラッグで行います。
地図を回転させると、画面右上に  が表示されます。
地図の回転を戻す（北上にする）場合は、 をクリックします。

なお、自治体版は、地図が対象自治体から大きく外れると、自動的に対象自治体に戻って表示されます。

5-3 データ表示

地図上のマーカーをマウスでクリックすると、情報が吹き出し表示されます。

また、データリストで目的のデータをクリックすると、そのデータが地図検索され地図がその場所に移動し、吹き出しが表示されます。

吹き出しは複数表示可能で、マウスで移動可能です。

吹き出しを消したいときは、吹き出し右上の  をクリックします。
全ての吹き出しを消したい場合は、データ管理ウィンドウの「再表示」ボタンをクリックします。

5-4 データ検索

データの絞り込み検索は、データ管理ウィンドウの「絞り込み」テキストボックスに、検索ワードを入力して **Enter** キーを押すことで可能です。
絞り込まれたデータのみがリスト表示されます。

これは検索ワードでの全文検索となります。「条件」ボタンにより条件検索も可能です。

データ管理				
<div>aed_20190404 レイヤ設定 条件 エリア <input type="checkbox"/> 選択表示 マーカー▼ 入力 編集 絞り込み: キーワードを入力 閉じる</div>				
<div>クリア ファイル読み込み ファイル保存 スタイル ランク 全体 再表示 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 142</div>				
NO	OBJECTID	交付番号	施設名称	設置場所
1	1	A-1	室蘭市白鳥大橋記念館みたら	1階 事務室
2	2	A-3	ナラサキスタックス(株) 室蘭支店	1階 会議室
3	3	A-4	市立室蘭水族館	1階 事務所
4	4	A-7	函館どつく株式会社室蘭製作所	船舶部事務所
5	5	A-8	特別養護老人ホームみたらの杜	1階 中央管理室
6	6	A-11	室蘭市立中央図書館	4階 読書広場

条件検索、その他、データ管理ウィンドウの詳細機能は、後述します。

6 ユーザデータの地図表示

セキュア GIS は、CSV データ、エクセルデータ、および3種類の GIS データ (KML、GeoJSON、Shape) の読み込み、地図表示が可能です。

6-1 CSV データの地図表示

CSV データの読み込みは、実際には Excel、Access 等で管理しているデータの読み込みとなると思われます。

Excel、Access は様々な業務の中で使用されています。

セキュア GIS で、直接 Access のデータは読み込めないで、一旦 CSV データに変換し、読み込みます。

Excel は、直接読み込みます。「[6-5 エクセルデータの地図表示](#)」参照。

CSV データ中に住所項目が存在する場合は、読み込み中にアドレスマッチング（住所から緯度経度を取得する）が行われ、CSV データが GIS データに変換されます。

読み込み手順：

サンプルデータとして、デモサイトにある室蘭市のオープンデータである AED 設置事業所 (aed_20190404.csv) を使用します。

下図は、見やすく excel で表示。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	FID	Shape *	番号	施設名称	読み	住所	施設分類	屋内屋外	広域一時
2	0	Point		1 絵鞆町会館えともちよ		室蘭市絵鞆町1-11-12	地区会館	屋内	一時
3	1	Point		2 エンルムマえんるむまり		室蘭市絵鞆町4-2-14	その他	屋内	一時
4	2	Point		3 特養老人ホとくようろ		室蘭市祝津町3-16-32	民間施設	屋内	一時
5	3	Point		4 祝津町会館しゅくつち		室蘭市祝津町4-4-2	地区会館	屋内	一時
6	4	Point		5 港南町会館こうなんち		室蘭市港南町1-13-7	地区会館	屋内	一時

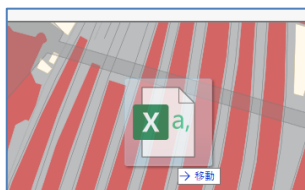
1 行目が項目名で、2 行目からデータが並んでいます。

住所の項目も存在します。 ※ これが重要。これが無いと地図表示できません。

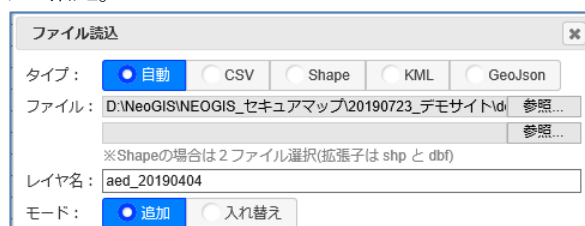
① 読み込むファイルの選択

ファイルの選択は、以下の2種類。

- ・対象ファイルをマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



- ・「メニュー」 「データ管理」 「ファイル読込」 で、ファイル読込ウィンドウを表示してファイル指定。



② 読み込みオプションの設定

① の処理により、ファイル読み込みウィンドウが表示されます。

タイプ： データタイプを指定します。
CSV データの場合は、拡張子で自動判断されます。

ファイル： 読み込むファイル名が表示されます。

レイヤ名： レイヤ名を指定します。
デフォルトはファイル名となります。

モード： 追加： レイヤを追加します。
入れ替え： 表示中のレイヤを入れ替えます。

プレビュー表示 ※タイトル行（1行目）を変更可：

CSV データの先頭 20 行をテーブル形式で表示します。

ここで、タイトル行の変更も可能です。

詳細は、[「6-1-1 CSV データのプレビュー表示」](#) 参照

住所項目： アドレスマッチングの対象となる住所が入った項目を指定します。
デフォルトでは、「住所」という項目名が選択されます。

☐ 座標なしのデータだけをマッチングする：

チェック ON の場合、

指定された座標項目がブランクの場合のみアドレスマッチングを行います。

座標項目がセットされている場合、その座標を図形座標として採用し、アドレスマッチングを行いません。

☐ マッチング情報を追加、更新する：

チェック ON の場合、

アドレスマッチングで得られた下記住所情報を、データ項目として追加します。

_ADR (住所)、_ACD (住所コード)、_LVL (マッチングレベル)

_LVL： 1： 都道府県

2： 市区町村

3： 町丁目

4： 番地

5： 号・枝番

- ☐ 新規入力時は自動取得する：
チェック ON の場合、
新規入力時に、入力した図形の座標から住所が自動セットされます。

座標項目（緯度）（経度）：
CSV データ中に緯度経度の項目が存在する場合、ここで指定し、
「座標なしのデータだけをマッチングする」チェックボックスを
ON にすることにより、アドレスマッチングを回避できます。

- ☐ データ項目として追加する：
チェック ON の場合、
座標項目（緯度）（経度）をデータ項目としてデータリストに表示
します。
通常、座標項目はデータリストには表示されません。システム内部
で使用されるだけとなっています。

スタイル設定：

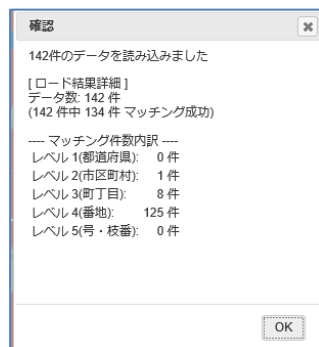


- ☐ 元のスタイルを優先する：
一度 CSV データを読み込み、CSV データで保存した場合、スタイル（マーカー）が保存されています。「_S」という項目名となります。
CSV ファイルに「_S」という項目名が入っていた場合は、その項目をスタイルとして扱いますので注意が必要です。
そのスタイルを優先したい場合、チェックを ON にします。
チェック OFF の場合、今回選択したマーカーに上書きされます。

マーカー： 地図上に表示するマーカーを指定します。

③ 読み込み実行

ファイル読み込みウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
アドレスマッチングが実行され、結果が表示されます。



デモサイトでは、レベル5（号・校番）までの
マッチングは行われません。

「OK」ボタンのクリックで、データ管理ウィ
ンドウにデータリストが表示されます。


④ 結果の表示

データ管理ウィンドウの「全体」ボタンクリックで、結果のマーカが表示されます。

The screenshot shows a map of a coastal region with numerous red location markers. A data management window is overlaid at the bottom, featuring a table with the following data:

NO	OBJECTID	交付番号	施設名称	設置場所
1	1	A-1	室蘭市白鳥大橋記念館みたら	1階 事務室
2	2	A-3	ナラサキスタックス(株)室蘭支店	1階 会議室
3	3	A-4	市立室蘭水族館	1階 事務所
4	4	A-7	函館どつく株式会社室蘭製作所	船舶部事務所
5	5	A-8	特別養護老人ホームみたらの杜	1階 中央管理室
6	6	A-44	室蘭市(1)センター(新1)ビル	4階 広間(大ホール)

The window also includes buttons for 'クリア', 'ファイル読み込み', 'ファイル保存', 'スタイル', 'ランク', '全体', '再表示', and a search bar with '絞り込み: キーワードを入力'.

まったくマッチングできなかった(県レベルのマッチングもしない)データは、地図の外側の  マーカにリンクされます。

今回のサンプルデータでは、

142件のデータを読み込みました
 [ロード結果詳細]
 データ数: 142 件
 (142 件中 134 件 マッチング成功)

となっていたので、10件のデータがアンマッチとなり、このマーカにリンクされています。

これは、マッチングしなかったデータの位置が判明したときに、このマーカを正しい位置に移動する時のために、仮のマーカをリンクさせています。

住所、緯度経度が両方指定された場合は、まず、緯度経度を優先します。
 緯度経度が無効なデータ(ブランク、または、数値以外が入っている等)場合は、住所でアドレスマッチングを行います。

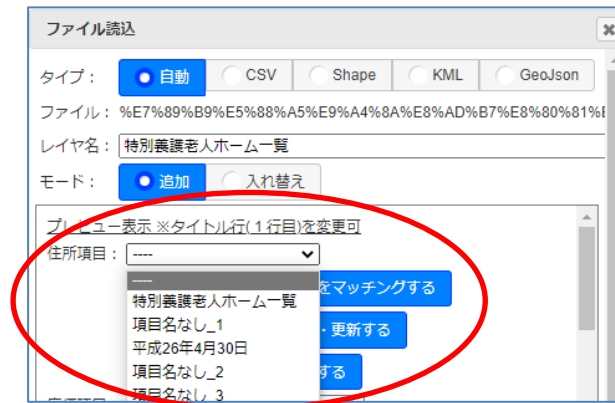
6-1-1 CSVデータのプレビュー表示

CSVデータの中には、データの先頭に例えばデータ説明のようなものが入っており、そのままでは読み込みにくいものもあります。

例えば、某市の特別養護老人ホームデータ。

読み込もうとすると、下図のような項目名となります。

システムでは、1行目をタイトルと仮定して取り込みます。が、項目名が抜けている場合もあります。その場合、自動で“項目名なし_連番”の項目名を付加します。

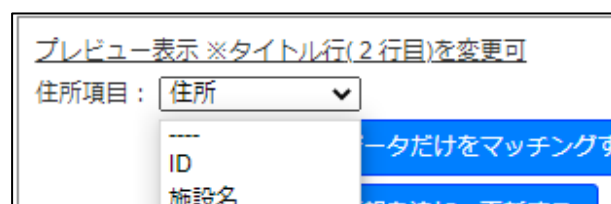


「プレビュー表示」をすると、データの先頭20行をテーブル形式で表示し、データの中身を確認することができます。

プレビュー[特別養護老人ホーム一覧 (1)]							
特別養護老人ホーム一覧							
ID	施設名	設置(運営)主体	認可年月日	定員	入所者数	郵便番号	住所
1	大神子園	(福) すだち会	S52.5.1	60	59	770-8012	徳島市大原町大神子19
2	仙寿園	(福) 白寿会	S54.3.31	80	80	770-0861	徳島市住吉四丁目12-10
3	青葉荘	(福) 青陽会	S56.6.20	50	48	771-4265	徳島市飯谷町上里42-1
4	青香園	(福) 青香福祉会	S56.7.1	50	49	771-0134	徳島市川内町平石住吉183
5	やまもも荘	(福) 光風会	S63.4.1	70	73	779-3131	徳島市下町本丁59-19
6	ピア	(福) 敬老福祉会	H8.4.1	50	49	770-8070	徳島市八万町大野5-5
7	かもな園	(福) さわらび会	H10.3.31	50	50	770-0047	徳島市名東町二丁目454
8	健祥会 モルダウ	(福) 健祥会	H13.4.1	50	50	771-1151	徳島市応神町古川字北36
9	ヴィラ勝占	(福) 平成記念会	H14.7.29	50	50	770-8023	徳島市勝占町松成43-1
10	ライム	(福) カリヨン	H20.2.12	45	45	779-3124	徳島市国府町中宇松ノ本28-1
11	なつめ荘	(福) すだち会	H20.12.17	30	29	770-8007	徳島市新浜本町一丁目7-70
12	鳴光荘	(福) 緑会	S54.5.1	70	70	772-0052	鳴門市鳴門町三ツ石字江尻山85
13	春潮苑	(福) 貴洋会	S61.5.1	50	50	772-0017	鳴門市撫養町立岩字五枚146
14	おおあさ苑	(福) 緑樹会	H7.4.1	50	50	779-0225	鳴門市大麻町松字東山田57-10
15	おおつ苑	(福) 緑樹会	H17.8.19	50	50	772-0041	鳴門市大津町大代字戎野472

これを見ると、2行目をタイトルとして読み込んだほうが良さそうですね。

プレビュー画面上で2行目を選択すると、下図のようにタイトル行が2行目となり、うまく読み込めます。



6-2 KMLデータの地図表示

KMLデータは、Google map等で使用されているGISデータ（座標と情報を持ったデータ）です。

これは、本システムで作成したKMLデータ（各種形式のデータ読み込み後、KMLデータとして保存可能です。）、もしくは、他システムで作成されたKMLデータを読み込む機能です。

KMLデータのZIP圧縮版であるKMZも読み込めます。

KMLデータは、マーカー（点）だけでなく、ライン（線）、ポリゴン（面）のデータも保存できます。

KMLデータは座標を持っているので、読み込み時にアドレスマッチングの処理は行いません。

読み込み手順：

サンプルデータとして、デモサイトにある国土数値情報を加工した室蘭市町丁目（muroran_chou.kml）を使用します。

KMLデータは、下図のようなテキスト形式のデータです。

```
1 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
2 <kml xmlns="http://www.opengis.net/kml/2.2">
3 <Document>
4 <Schema id="schema0" name="schema0">
5 <SimpleField name="01_label" type="string"><displayName>01_label</displayName></SimpleField>
6 <SimpleField name="02_都道府県" type="string"><displayName>02_都道府県</displayName></SimpleField>
7 <SimpleField name="03_市区町村" type="string"><displayName>03_市区町村</displayName></SimpleField>
8 <SimpleField name="04_町丁目" type="string"><displayName>04_町丁目</displayName></SimpleField>
9 <SimpleField name="05_面積" type="double"><displayName>05_面積</displayName></SimpleField>
10 <SimpleField name="06_基本単位数" type="int"><displayName>06_基本単位数</displayName></SimpleField>
11 <SimpleField name="07_調査区数" type="int"><displayName>07_調査区数</displayName></SimpleField>
12 <SimpleField name="08_人口総数" type="int"><displayName>08_人口総数</displayName></SimpleField>
```

途中に座標が入っています。

```
503 <Polygon>
504 <altitudeMode>clampToGround</altitudeMode>
505 <outerBoundaryIs><LinearRing><coordinates>
506 140.990456326,42.4373365599,0
507 140.991172982,42.4370794053,0
508 140.991314009,42.437026373,0
509 140.991493579,42.4369879718,0
510 140.991855781,42.4369574835,0
511 140.99205726,42.4368918906,0
512 140.992337323,42.436890568,0
```

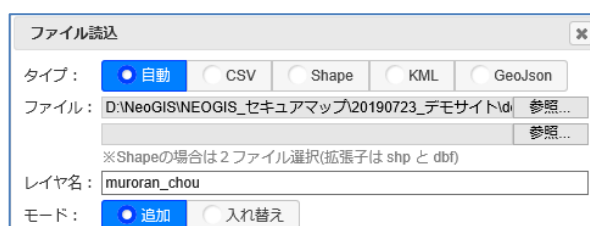
① 読み込むファイルの選択

ファイルの選択は、以下の2種類。

- ・対象ファイルをマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



- ・「メニュー」→「データ管理」→「ファイル読込」で、ファイル読込ウィンドウを表示してファイル指定。



② 読み込みオプションの設定

① の処理により、ファイル読込ウィンドウが表示されます。



タイプ： データタイプを指定します。
KML データの場合は、拡張子で自動判断されます。

ファイル： 読み込むファイル名が表示されます。

レイヤ名： レイヤ名を指定します。
デフォルトはファイル名となります。

モード： 追加： レイヤを追加します。
入れ替え： 表示中のレイヤを入れ替えます。

スタイル設定：



☐ 元のスタイルを優先する：

KML データには、元々、マーカー、線色、線種、面色等のスタイルが設定されている場合があります。

また、本システムで保存した KML データにもスタイルが保存されています。

そのスタイルを優先したい場合、チェックを ON にします。

チェック OFF の場合、今回選択したスタイルに上書きされます。

③ 読み込み実行

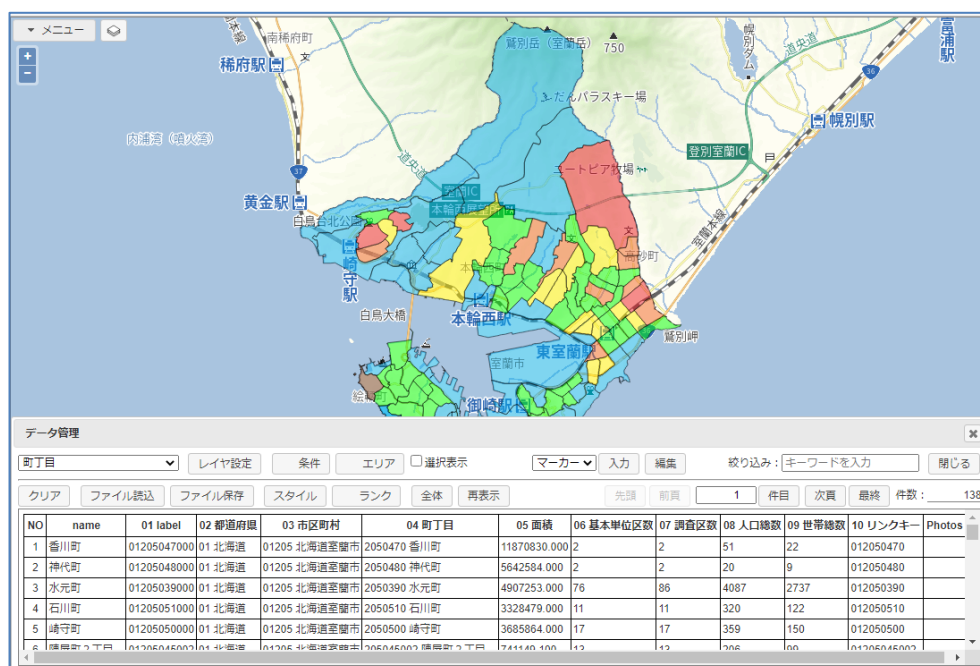
ファイル読み込みウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
元々座標が入っているので、アドレスマッチングは実行されず高速に結果が表示されます。



「OK」ボタンのクリックで、データ管理ウィンドウにデータリストが表示されます。

④ 結果の表示

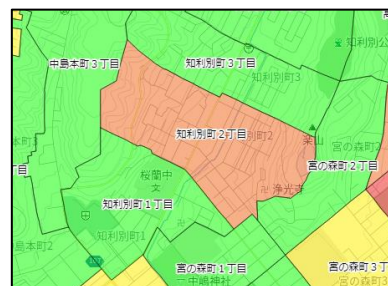
データ管理ウィンドウの「全体」ボタンクリックで、結果が表示されます。



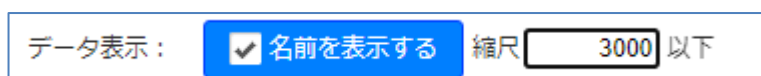
サンプルデータは、ポリゴンデータでした。
元々KMLデータ内に入っていたスタイル（面色）で表示されています。

拡大すると文字が表示される場合があります。

サンプルデータは、“name” というタグがあったので、その項目データが地図上に表示されています。



これは、デフォルトの表示設定で、下記のように「名前を表示する」チェックボックスがONになっているためです。



表示する縮尺も設定可能です。チェックをOFFにすると表示されません。

その他の表示設定は後述します。

6-3 GeoJson データの地図表示

GeoJson データは、JSON を用いて座標と情報を関連付けた GIS データです。

これは、本システムで作成した GeoJSON データ（各種形式のデータ読み込み後、GeoJSON データとして保存可能です。）、もしくは、他システムで作成された GeoJSON データを読み込む機能です。

GeoJSON データは、マーカー（点）だけでなく、ライン（線）、ポリゴン（面）のデータも保存できます。

GeoJSON データは座標を持っているので、読み込み時にアドレスマッチングの処理は行いません。

読み込み手順：

サンプルデータとして、室蘭市のオープンデータである投票所データを弊社で GeoJSON データに変換したもの（touhyoujyo_20140522.geojson）を使用します。GeoJSON データは、下図のようなテキスト形式のデータです。

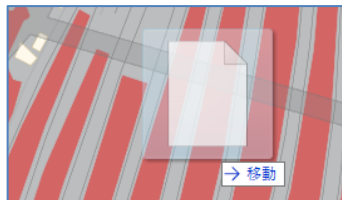
```
1 | ↓
2 | "type": "FeatureCollection", ↓
3 | "features": [ ↓
4 |   { ↓
5 |     "type": "Feature", ↓
6 |     "properties": { ↓
7 |       "OBJECTID": 2, ↓
8 |       "投票区": "第2投票区", ↓
9 |       "投票所名": "総持小学校", ↓
10 |      "投票所区域": "祝津町1丁目・2丁目・3丁目(9～18番を除く)・4丁目", ↓
11 |      "件数": "1", ↓
12 |      "照合日時": "", ↓
13 |      "file": "touhyoujyo_20140522", ↓
14 |      "L": 1, ↓
15 |      "S": 1 ↓
16 |     }, ↓
17 |     "geometry": { ↓
18 |       "type": "Point", ↓
19 |       "coordinates": [ ↓
20 |         140.95033013855797, ↓
21 |         42.3396550759426 ↓
22 |       ] ↓
23 |     } ↓
24 |   }, ↓
25 |   { ↓
26 |     "type": "Feature", ↓
```

座標も入っています。

① 読み込むファイルの選択

ファイルの選択は、以下の2種類。

- ・対象ファイルをマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



- ・「メニュー」 「データ管理」 「ファイル読込」 で、ファイル読込ウィンドウを表示してファイル指定。

ファイル読込	
タイプ:	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> CSV <input type="radio"/> Shape <input type="radio"/> KML <input type="radio"/> GeoJson
ファイル:	touhyoujyo_20140522.geojson <small>※Shapeの場合は2ファイル選択(拡張子は shp と dbf)</small>
レイヤ名:	<input type="text" value="touhyoujyo_20140522"/>
モード:	<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 入れ替え

② 読み込みオプションの設定

① の処理により、ファイル読み込みウィンドウが表示されます。



タイプ： データタイプを指定します。
GeoJSON ファイルの場合は、拡張子で自動判断されます。

ファイル： 読み込むファイル名が表示されます。

レイヤ名： レイヤ名を指定します。
デフォルトはファイル名となります。

モード： 追加： レイヤを追加します。
入れ替え： 表示中のレイヤを入れ替えます。

スタイル設定：

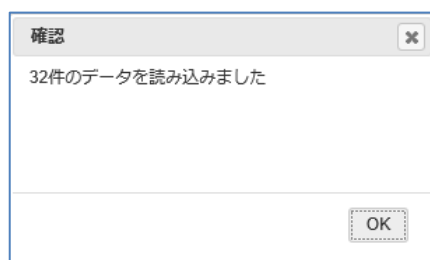


☐ 元のスタイルを優先する：

本システムで保存した GeoJSON データには、元々、マーカー、線色、線種、面色等のスタイルが設定されています。
そのスタイルを優先したい場合、チェックを ON にします。
チェック OFF の場合、今回選択したスタイルに上書きされます。。

③ 読み込み実行

ファイル読み込みウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
元々座標が入っているので、アドレスマッチングは実行されず高速に結果が表示されます。



「OK」ボタンのクリックで、データ管理ウィンドウにデータリストが表示されます。

④ 結果の表示

データ管理ウィンドウの「全体」ボタンクリックで、結果が表示されます。



サンプルデータは、マーカー（点）データでした。

サンプルのデータは GeoJSON 内にスタイルが入っていないので、指定したマーカーで表示されています。

6-4 Shapeデータの地図表示

shape データは、GIS の世界ではほぼデファクトと呼べる GIS データです。
座標と情報を複数のファイルのペアで管理します。

例) sample.shp shape 本体
 sample.shx shape インデックス
 sample.dbf shape 属性
 sample.prj 空間座標系 (座標系、測定系等の情報)
その他、数種類の拡張子を持つファイルが存在します。最低限 shp、shx、dbf が必要です。

shape ファイルは、マーカー (点) だけでなく、ライン (線)、ポリゴン (面) のデータも保存できます。

shape データは座標を持っているので、読み込み時にアドレスマッチングの処理は行いません。

本システムでは、shape データとしての保存機能はありません。読み込みのみ可能です。

本システムでは、読み込み時に、最低、shp、dbf の 2 ファイルを使用します。

prj ファイルが存在する場合は、空間座標系を自動で判断します。

読み込み手順：

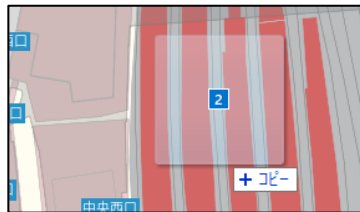
サンプルデータとして、室蘭市のオープンデータである道路台帳図
(dorodaicyouzu.shp、dorodaicyouzu.dbf) を使用します。

shpae データ (shp、dbf) は、バイナリデータなのでテキストエディタでは表示できません。

① 読み込むファイルの選択

例えば、shp、dbf の 2 ファイルを取り込む場合。

- ・対象 2 ファイル (shp、dbf) を同時にマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



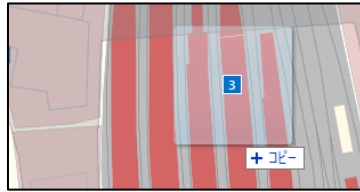
または、

- ・「メニュー」「データ管理」「ファイル読込」で、ファイル読込ウィンドウを表示して 2 ファイル指定。



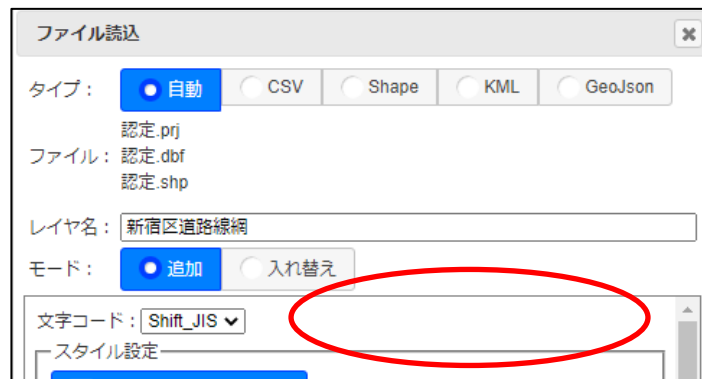
prj ファイルも存在する shape データを取り込む場合。

- ・対象 3 ファイル (shp、dbf、prj) を同時にマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



または、

- ・「メニュー」 「データ管理」 「ファイル読込」 で、ファイル読込ウィンドウを表示して 3 ファイル指定。



この場合、ファイルが 3 つ表示されます。

また、「EPSG」「緯度経度/系」は、表示されません。これは、prj ファイルから空間座標系が自動判断されるためです。

② 読み込みオプションの設定

- ① の処理により、ファイル読込ウィンドウが表示されます。



タイプ： データタイプを指定します。
shape ファイルの場合は、ファイル指定なので自動判断されます。

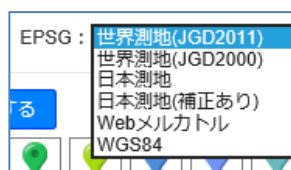
ファイル： 読み込むファイル名が表示されます。

レイヤ名： レイヤ名を指定します。
デフォルトはファイル名となります。

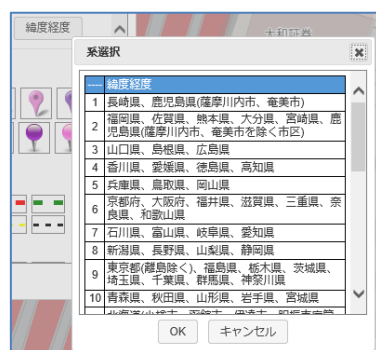
モード： 追加： レイヤを追加します。
入れ替え： 表示中のレイヤを入れ替えます。

文字コード： shape 属性の文字コードを指定します。
Shift_JIS / UTF-8 / EUC-JP

EPSG： shape データの空間座標系を指定します。



緯度経度／系： 緯度経度なのか、平面直角座標系の何系なのか、を指定します。



※ EPSG、緯度経度／系は非常に重要です。
これが実際のデータと違っていると、うまく読み込めません。
読み込めても表示されません。
正確に指定する必要があります。
prj ファイルを含む shape データの場合は、自動判断されます。

スタイル設定：

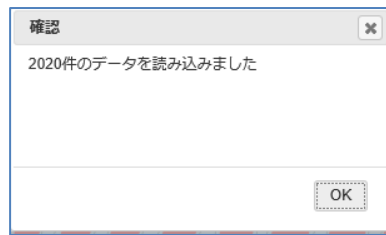


☐ 元のスタイルを優先する：
shape ファイル自体には表現に関するスタイル情報は含まれていません。

shapeの属性項目に「_S」という項目があった場合、システムは、その項目をスタイルとして認識します。
これは、本システム独自の仕様です。
そのスタイルを優先したい場合、チェックをONにします。
チェック OFF の場合、今回選択したスタイルに上書きされます。

③ 読み込み実行

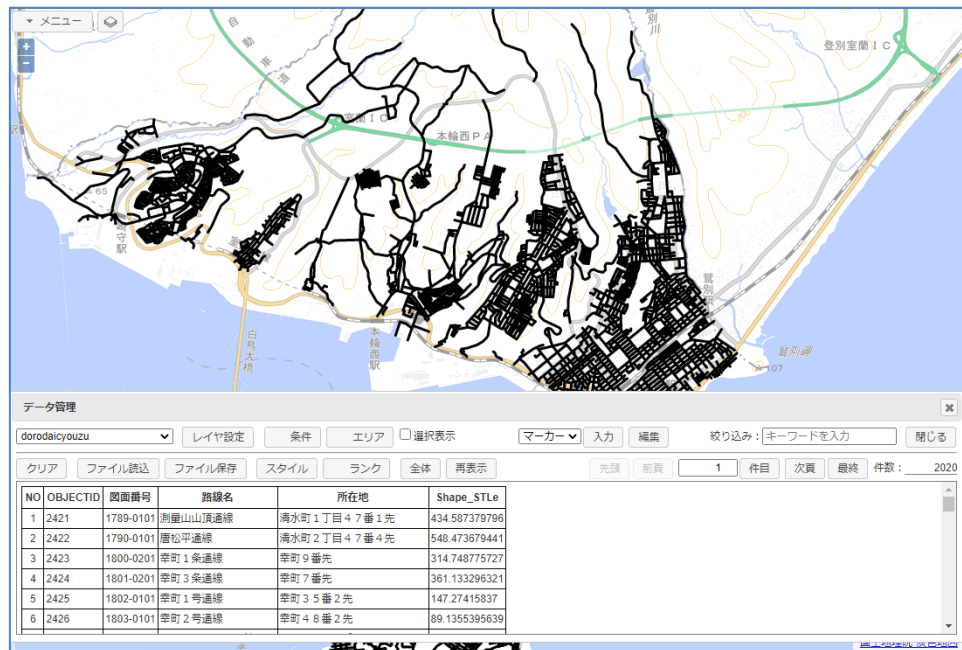
ファイル読込ウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
元々座標が入っているので、アドレスマッチングは実行されず高速に結果が表示されます。



「OK」ボタンのクリックで、データ管理ウィンドウにデータリストが表示されます。

④ 結果の表示

データ管理ウィンドウの「全体」ボタンクリックで、結果が表示されます。



サンプルデータは、ライン（線）データでした。

サンプルデータは shape 内にスタイルは入っていないので、指定したラインで表示されています。

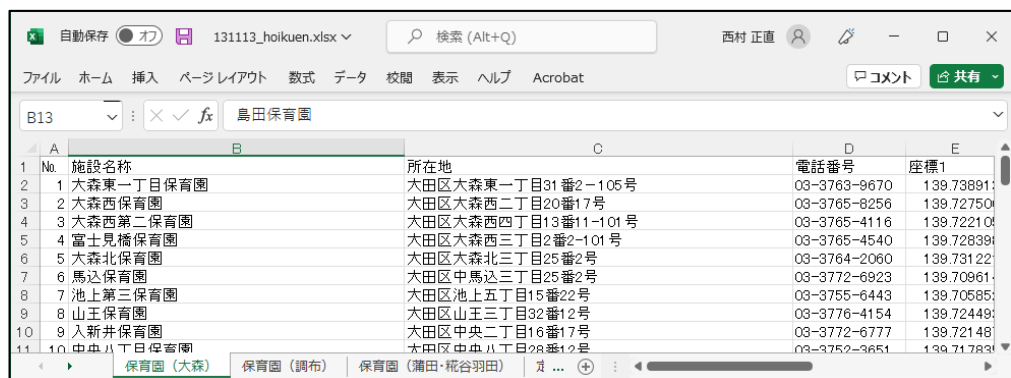
6-5 エクセルデータの地図表示

データ内に住所、緯度経度項目が存在するエクセルデータは、CSV データ同様に読み込み可能です。

エクセルデータ内に住所項目が存在する場合は、読み込み中にアドレスマッチング（住所から緯度経度を取得する）が行われ、エクセルデータが GIS データに変換されます。

読み込み手順：

サンプルデータとして、東京都大田区のオープンデータである許認可保育園一覧（131113_hoikuen.xlsx）を使用します。



No.	施設名称	所在地	電話番号	座標1
1	大森東一丁目保育園	大田区大森東一丁目31番2-105号	03-3763-9670	139.738911
2	大森西保育園	大田区大森西二丁目20番17号	03-3765-8256	139.727504
3	大森西第二保育園	大田区大森西四丁目13番11-101号	03-3765-4116	139.722104
4	富士見橋保育園	大田区大森西三丁目2番2-101号	03-3765-4540	139.728391
5	大森北保育園	大田区大森北三丁目25番2号	03-3764-2060	139.731222
6	馬込保育園	大田区中馬込三丁目25番2号	03-3772-6923	139.709611
7	池上第三保育園	大田区池上五丁目15番22号	03-3755-6443	139.705851
8	山王保育園	大田区山王三丁目32番12号	03-3776-4154	139.724491
9	入新井保育園	大田区中央二丁目16番17号	03-3772-6777	139.721481
10	中央八丁目保育園	大田区中央八丁目28番12号	03-3752-3651	139.717831

1行目が項目名で、2行目からデータが並んでいます。
住所の項目も存在します。 ※ これが重要。これが無いと地図表示できません。

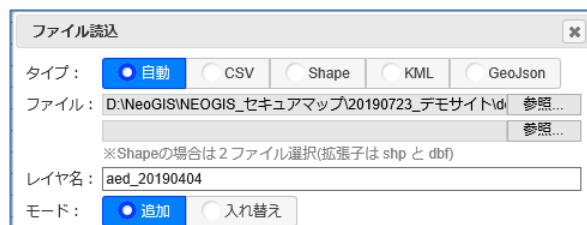
① 読み込むファイルの選択

ファイルの選択は、以下の2種類。

- ・対象ファイルをマウスで地図上にドラッグ&ドロップ。



- ・「メニュー」 「データ管理」 「ファイル読込」 で、ファイル読込ウィンドウを表示してファイル指定。



ファイル読込

タイプ: ☒ 自動 ☐ CSV ☐ Shape ☐ KML ☐ GeoJson

ファイル: D:\NeoGIS\NEOGIS_セキュアマップ20190723_デモサイト\参照...

※Shapeの場合は2ファイル選択(拡張子は shp と dbf)

レイヤ名: aed_20190404

モード: ☒ 追加 ☐ 入れ替え

注意！ エクセルデータは、タイプ=CSV として読み込みます。
自動判断される場合も、CSV となります。

② 読み込みオプションの設定

① の処理により、ファイル読み込みウィンドウが表示されます。

The image shows two parts of the software interface. On the left is the 'ファイル読み込み' (File Load) dialog box. It has tabs for 'タイプ' (Type) with options: 自動 (selected), CSV, Shape, KML, and GeoJson. The 'ファイル' (File) field shows '131113_hoikuen.xlsx'. The 'レイヤ名' (Layer Name) field shows '131113_hoikuen'. The 'モード' (Mode) has '追加' (Add) selected and '入れ替え' (Replace). Below these are settings for 'シート' (Sheet) set to '保育園 (大森)', a 'プレビュー表示 ※タイトル行(1行目)を変更可' (Preview display ※title row (1st row) can be changed) checkbox, a '住所項目' (Address Item) dropdown, three checked checkboxes: '座標なしのデータだけをマッチングする' (Match only data without coordinates), 'マッチング情報を追加・更新する' (Add/update matching information), and '新規入力時は自動取得する' (Automatically acquire when new input), '座標項目' (Coordinate Item) dropdowns for '(経度)' (Longitude) and '(緯度)' (Latitude), a 'データ項目として追加する' (Add as data item) checkbox, and a 'スタイル設定' (Style Setting) section with a checked '元のスタイルを優先する' (Prioritize original style) checkbox and a row of color swatches. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. On the right is a dropdown menu for 'シート' (Sheet) showing a list of options: 保育園 (大森), 保育園 (調布), 保育園 (蒲田・椚谷羽田), 定期利用保育, 小規模保育所, 認証保育所, and 事業所内保育事業.

タイプ： データタイプを指定します。
エクセルデータの場合は、拡張子で自動判断されます。
エクセルデータは、CSV データと同様に扱われます。

ファイル： 読み込むファイル名が表示されます。

レイヤ名： レイヤ名を指定します。デフォルトはファイル名となります。

モード： 追加： レイヤを追加します。
入れ替え： 表示中のレイヤを入れ替えます。

シート： 複数のシートが入っている場合に表示されます。
ここで読み込むシートを選択します。

プレビュー表示 ※タイトル（1行目）を変更可：

対象シートの先頭20行をテーブル形式で表示します。
ここで、タイトル行の変更も可能です。

詳細は、[「6-5-1 エクセルデータのプレビュー表示」](#) 参照

住所項目： アドレスマッチングの対象となる住所が入った項目を指定します。
デフォルトでは、「住所」という項目名が選択されます。

☐ 座標なしのデータだけをマッチングする：

チェック ON の場合、
指定された座標項目がブランクの場合のみアドレスマッチングを
行います。
座標項目がセットされている場合、その座標を図形座標として採用
し、アドレスマッチングを行いません。

□ マッチング情報を追加、更新する：

チェック ON の場合、
アドレスマッチングで得られた下記住所情報を、データ項目として追加します。

_ADR (住所)、_ACD (住所コード)、_LVL (マッチングレベル)

_LVL： 1： 都道府県
2： 市区町村
3： 町丁目
4： 番地
5： 号・枝番

□ 新規入力時は自動取得する：

チェック ON の場合、
新規入力時に、入力した図形の座標から住所が自動セットされます。

座標項目（緯度）（経度）：

対象シート内に緯度経度の項目が存在する場合、ここで指定し、
「座標なしのデータだけをマッチングする」チェックボックスを
ON にすることにより、アドレスマッチングを回避できます。

□ データ項目として追加する：

チェック ON の場合、
座標項目（緯度）（経度）をデータ項目としてデータリストに表示
します。
通常、座標項目はデータリストには表示されません。システム内部
で使用されるだけとなっています。

スタイル設定：



□ 元のスタイルを優先する：

エクセルデータに「_S」という項目があった場合、システムは、そ
の項目をスタイルとして扱いますので注意が必要です。

これは、本システム独自の仕様です。

そのスタイルを優先したい場合、チェックを ON にします。

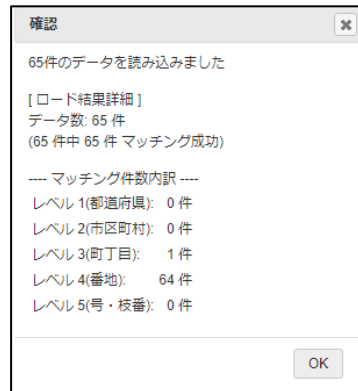
チェック OFF の場合、今回選択したマーカーに上書きされます。

マーカー：

地図上に表示するマーカーを指定します。

③ 読み込み実行

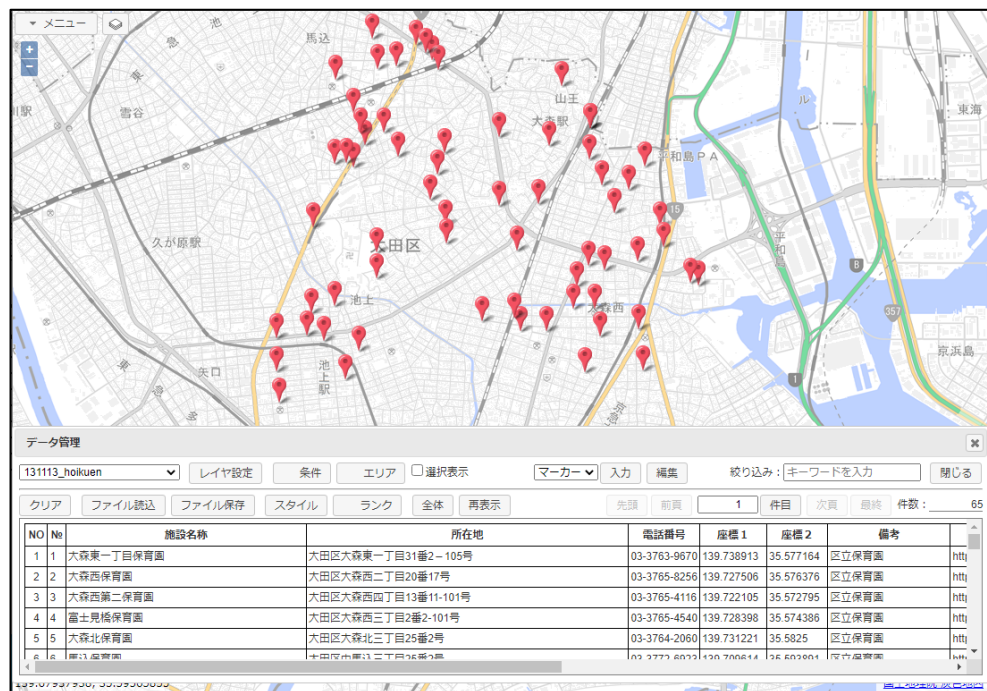
ファイル読み込みウィンドウの「OK」ボタンをクリックします。
アドレスマッチングが実行され、結果が表示されます。
※ デモサイトでは、レベル5（号・枝番）までのマッチングは行われません。




「OK」ボタンのクリックで、データ管理ウィンドウにデータリストが表示されます。

④ 結果の表示

データ管理ウィンドウの「全体」ボタンクリックで、結果のマーカーが表示されます。



まったくマッチングできなかった（県レベルのマッチングもしない）データは、地図の外側の  マーカーにリンクされます。

今回のサンプルデータでは、このようなデータは存在していませんが、下記のようなメッセージが出力される場合があります。

142件のデータを読み込みました
[ロード結果詳細]
データ数: 142件
(142件中134件マッチング成功)

この場合、10件のデータがアンマッチとなり、このマーカーにリンクされています。

これは、マッチングしなかったデータの位置が判明したときに、このマーカーを正しい位置に移動する時のために、仮のマーカーをリンクさせています。

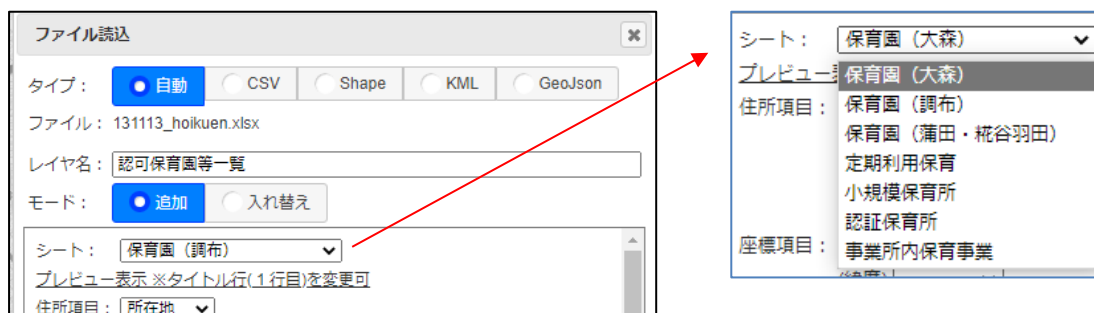
住所、緯度経度が両方指定された場合は、まず、緯度経度を優先します。
緯度経度が無効なデータ（ブランク、または、数値以外が入っている等）場合は、住所でアドレスマッチングを行います。

6-5-1 エクセルデータのプレビュー表示

エクセルデータの中には、複数シートで構成されているものや、元々、地図表示は想定していないデータも多くあります。

そこで、事前にそのデータの概要を表示するプレビュー表示機能を装備しています。

たとえば、前述の東京都大田区の“（XLSX）許認可保育園一覧”を読み込む、下図のように複数シートが含まれていることが分かります。



「プレビュー表示」をすると、下図のように先頭20行をテーブル形式で表示し、データの中身を確認することができます。

プレビュー[131113_hoikuen]						
No	施設名称	所在地	電話番号	座標 1	座標 2	備考
1	大森東一丁目保育園	大田区大森東一丁目31番2-105号	03-3763-9670	139.738913	35.577164	区立保育園
2	大森西保育園	大田区大森西二丁目20番17号	03-3765-8256	139.727506	35.576376	区立保育園
3	大森西第二保育園	大田区大森西四丁目13番11-101号	03-3765-4116	139.722105	35.572795	区立保育園
4	富士見橋保育園	大田区大森西三丁目2番2-101号	03-3765-4540	139.728398	35.574386	区立保育園
5	大森北保育園	大田区大森北三丁目25番2号	03-3764-2060	139.731221	35.5825	区立保育園
6	馬込保育園	大田区中馬込三丁目25番2号	03-3772-6923	139.709614	35.593891	区立保育園
7	池上第三保育園	大田区池上五丁目15番22号	03-3755-6443	139.705852	35.571437	区立保育園
8	山王保育園	大田区山王三丁目32番12号	03-3776-4154	139.724493	35.587045	区立保育園

これを見ると、このエクセルシートは、CSV データの様に地図に展開できることが分かります。

また、座標 1 が経度、座標 2 が緯度であることも分かります。
ファイル読込ウィンドウで、緯度経度を指定して読み込むことも可能だったようです。

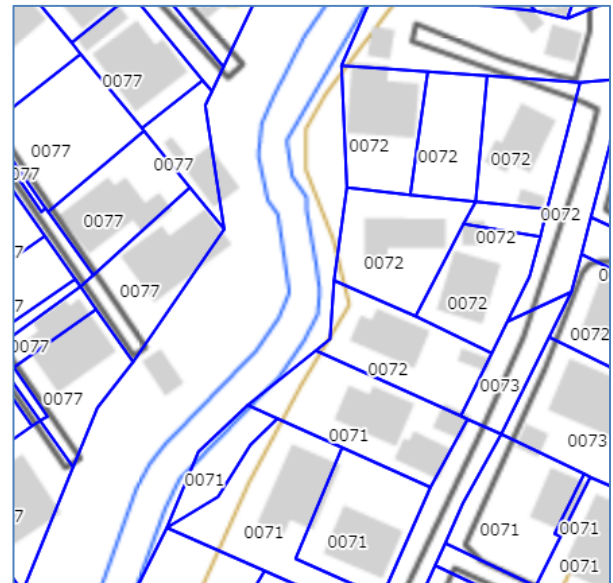
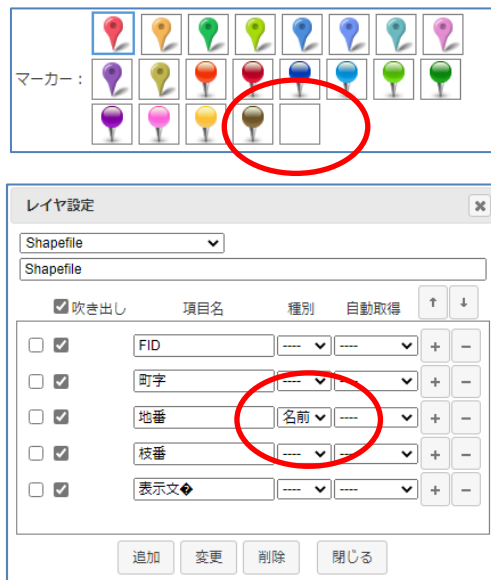
プレビュー表示機能を使用すると、全く地図に展開できないエクセルも事前に判断できます。

6-6 点データのヒント

点データのスタイルで、ブランクのマーカースelectionすると、マーカースelectionなしの表示が可能です。これは、その地点に文字だけを表示して、マーカースelectionを表示したくない時に使えます。

下図は、マーカースelectionはブランクで、「地番」項目の種別を“名前”に指定した場合の地図です。

[「11-2 レイヤ設定」](#)を参照願います。



7 ユーザデータの操作

各種方法で読み込んだデータに関して、検索、表示変更、データ更新等、様々な操作が可能です。ここでは、各種操作方法を説明します。

サンプルデータとして、デモサイトにある室蘭市のオープンデータである避難施設 (hinan_20140623.csv) を使用します。
まずは、このデータを読み込んでおきます。

ユーザデータの操作は、データ管理ウィンドウで行います。

7-1 ユーザデータの移動

データ管理ウィンドウでは、1 ページに100件のデータを表示可能です。下記ボタンでページの移動が可能です。

- 「先頭」 : 先頭ページ
「前頁」 : 現在の先頭データから前の100件
☐ 「件目」 : 入力した件目のデータを先頭に100件
「次頁」 : 現在の先頭データから次の100件
「最終」 : 最終ページ

7-2 ユーザデータの並び替え

データの並び替えも可能です。
データの項目名の部分をマウスクリックすると、並び替え設定ウィンドウが起動されます。

並び替えしたい項目（例えば収容人数）を選択して、昇順／降順を選択し、「適用」ボタンを押下すると、下図のように、収容人数の多い順にデータが並び替えて表示されます。

施設分類	屋内屋外	広域一時	危険個所の	津波避難所	建築年	構造	全体面積	階数	活用面積	収容人数	トイレ	身障トイレ	洗面	施設所管	運営担当者
学校施設	屋外	広域					65518	0	58966	17868		0	0		
学校施設	屋外	広域					44500	0	35600	10788		0	0		
学校施設	屋外	広域					38771	0	34894	10574		0	0		
学校施設	屋外	広域					27243	0	24519	7430		0	0		
学校施設	屋外	広域					23200	0	20880	6327		0	0		

複数項目を指定した並び替えも可能です。
 また、「順序変更」チェックボックスを ON にすると、下記ボタンがアクティブとなり、
 並び替える項目の順番も指定可能となります。
 「上へ」「下へ」「先頭へ」「最終へ」ボタン。

7-3 ユーザデータの絞り込み

データの絞り込み検索は、データ管理ウィンドウの「絞り込み」テキストボックスに、検索ワードを入力して **Enter** キーを押すことで可能です。
 これは、検索ワードでの全文検索となります。
 例えば、“屋外”と入力して **Enter** キーを押すと、データ内に“屋外”という文字を含むものが
 絞り込まれます。
 件数が、275件から133件になり、リストも絞り込まれます。

NO	FID	Shape	番号	施設名称	読み	住所	施設分類	屋内屋外	広域一時	危険個所の
1	142	Point	143	絵鞆町2丁目2号公園	えともちょうにちようめにごうこうえん	室壁市絵鞆町2-6	公園・広場	屋外	一時	
2	143	Point	144	絵鞆町3丁目公園	えともちょうさんちようめごうえん	室壁市絵鞆町3-8	公園・広場	屋外	一時	
3	144	Point	145	増市町1丁目2号公園	ますいちちよういっちようめにごうこうえん	室壁市増市町1-9	公園・広場	屋外	一時	
4	145	Point	146	増市町1丁目公園	ますいちちよういっちようめごうえん	室壁市増市町1-17	公園・広場	屋外	一時	
5	146	Point	147	小橋内1丁目公園	おはしないいちちようめごうえん	室壁市小橋内町1-18	公園・広場	屋外	一時	
6	147	Point	148	小橋内2丁目公園	おはしないいちちようめごうえん	室壁市小橋内町2-17	公園・広場	屋外	一時	

注意！
 これはあくまで全文検索です。注意が必要です。
 「屋外屋内」項目を対象にして検索しているわけではありません。

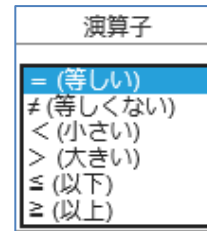
7-4 ユーザデータの条件検索

[「7-3 ユーザデータの絞り込み」](#)は、簡易的な全文検索でしたが、細かい条件を指定して検索したい場合は、「条件」を使用します。

「条件」ボタンをクリックして、条件入力ウィンドウを起動します。

項目名： 検索条件を指定する項目を指定します。

演算子： 検索条件の演算子を指定します。




A dropdown menu titled "演算子" (Operator) showing the following options: "= (等しい)" (Selected), "≠ (等しくない)" (Not equal), "< (小さい)" (Less than), "> (大きい)" (Greater than), "≦ (以下)" (Less than or equal to), and "≧ (以上)" (Greater than or equal to).


値 (演算子が=、または≠の場合)：

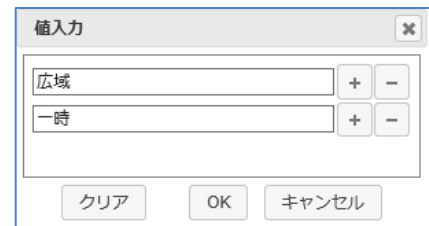
「ここをクリックして入力」をクリックして
値入力ウィンドウを表示し、値を入力します。

値入力ウィンドウ：

値を入力します。

 ボタンで複数の値を
指定可能です。

 ボタンで、値を削除



A dialog box titled "値入力" (Value Input) with a close button (X). It contains two input fields: "広域" (Wide area) and "一時" (Temporary). Each field has a "+" button to its right. At the bottom, there are three buttons: "クリア" (Clear), "OK", and "キャンセル" (Cancel).

複数の値を指定した場合：

演算子が“= (等しい)”なら、OR (または) で結合

演算子が“≠ (等しくない)”なら、AND (且つ) 結合
となります。

あいまい検索も可能です。

「*」：任意0～n文字

「?」：任意1文字


値 (演算子が<、>、≦、≧の場合)：


値入力ウィンドウは起動されず、値のテキストボックスに直接値を入力しま
す。



A dialog box titled "条件入力" (Condition Input) with a close button (X). It contains a table with three columns: "項目名" (Item Name), "演算子" (Operator), and "値" (Value). The first row shows "収容人数" (Capacity) as the item name, "≧ (以上)" (Greater than or equal to) as the operator, and "50" as the value. There is a checkbox labeled "数値" (Numeric) which is checked. To the right of the value field are "+" and "-" buttons.

この時、「数値」チェックボックスをONにすると、値を数値として比較し
ます。チェックOFFだと、文字列として比較されます。

 ボタン (条件入力ウィンドウ)：
条件式を追加します。

 ボタン (条件入力ウィンドウ)：
条件式を削除します。

 チェックボックス：

各条件式を、AND (且つ) で結合するか、OR (または) で結合するかを指
定します。

これは、全体の指定となります。AND、OR の部分指定はできません。

クリアボタン： 条件を全てクリアします。

適用ボタン： 指定された条件で条件検索を実行し、結果をデータリストに表示します。

以下、具体的な例で説明します。

例1：

「広域一時」項目が、“広域”のものを検索。

項目名	演算子	値
広域一時	= (等しい)	広域

クリア ☒ AND ☐ OR 適用 閉じる

例2：

「広域一時」項目が、“広域”または、“一時”のものを検索。

項目名	演算子	値
広域一時	= (等しい)	広域, 一時

クリア ☒ AND ☐ OR 適用 閉じる

値入力ウィンドウで、“広域”、“一時”の二つの値を指定しています。演算子が“= (等しい)”なので、“広域”または、“一時”となります。

例3：

「広域一時」項目が、“広域”でも“一時”でもないものを検索。

項目名	演算子	値
広域一時	≠ (等しくない)	広域, 一時

クリア ☒ AND ☐ OR 適用 閉じる

値入力ウィンドウで、“広域”、“一時”の二つの値を指定しています。演算子が“≠ (等しくない)”なので、“広域”でも、“一時”でもないとなります。

例4：

「広域一時」項目が、“広域”または、“一時”で、「屋内屋外」項目が、“屋外”のものを検索。

項目名	演算子	値
広域一時	= (等しい)	広域, 一時
屋内屋外	= (等しい)	屋外

クリア ☒ AND ☐ OR 適用 閉じる

☒ AND が選択されているので、二つの条件式は、AND (且つ) で結合されます。

例5：

「収容人数」項目が、50以上のものを検索。

「数値」チェックボックスをONにして、数値比較を行う指定となっています。

例6：

「収容人数」項目が、30以上、100以下のものを検索。

例7：

「施設名称」項目が、「室蘭市」で始まるもの（あいまい検索）を検索。

[「7-3 ユーザデータの絞り込み」](#)と一緒に指定した場合、両方の条件が、AND（且つ）で結合されます。

また、データリストに条件が適用されていることが分かるように、「条件」ボタン内のチェックがONとなります。

この条件検索も、[「7-3 ユーザデータの絞り込み」](#)同様、データリストに適用させるだけで、地図上のマーカーは絞り込まれません。

7-5 条件検索結果の地図表示

「[7-3 ユーザデータの絞り込み](#)」「[7-4 ユーザデータの条件検索](#)」は、まずはデータリストに適用されます。

結果を地図に反映させたい場合は、「条件」ボタン横の「選択表示」チェックボックスをONにします。

例えば、

人口1000人以上の大字を条件検索。
リストが絞り込まれます。

NO	name	description	01 label	02 都道府県	03 市区町村	04 町丁目	05 面積	06 基本単位数	07 調査区数	08 人口総数	09 世帯総数	10 リンク
1	水元町		01205039000	01 北海道	01205 北海道室蘭市	2050390 水元町	4907253.000	76	86	4087	2737	012050390
2	絵野町 2丁目		01205001002	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205001002 絵野町 2丁目	404915.200	34	37	1545	593	012050010
3	横町		01205046000	01 北海道	01205 北海道室蘭市	2050460 横町	3261544.000	28	28	1024	453	012050460
4	白鳥台 4丁目		01205049004	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205049004 白鳥台 4丁目	299432.000	43	46	2073	820	012050490
5	白鳥台 5丁目		01205049005	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205049005 白鳥台 5丁目	293244.900	41	42	1260	471	012050490

「選択表示」チェックボックスをON。
地図にも反映されます。

NO	name	description	01 label	02 都道府県	03 市区町村	04 町丁目	05 面積	06 基本単位数	07 調査区数	08 人口総数	09 世帯総数	10 リンク
1	水元町		01205039000	01 北海道	01205 北海道室蘭市	2050390 水元町	4907253.000	76	86	4087	2737	012050390
2	絵野町 2丁目		01205001002	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205001002 絵野町 2丁目	404915.200	34	37	1545	593	012050010
3	横町		01205046000	01 北海道	01205 北海道室蘭市	2050460 横町	3261544.000	28	28	1024	453	012050460
4	白鳥台 4丁目		01205049004	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205049004 白鳥台 4丁目	299432.000	43	46	2073	820	012050490
5	白鳥台 5丁目		01205049005	01 北海道	01205 北海道室蘭市	205049005 白鳥台 5丁目	293244.900	41	42	1260	471	012050490

7-6 ユーザデータのエリア検索

ユーザデータをエリアで絞り込むことも可能です。
GIS ならではの機能です。

「エリア」ボタンをクリックして、エリア入力ウィンドウを起動します。

エリアは、下記3通りの指定が可能です。

- 矩形： 矩形（矩形の対角2点で指定）
- 面： 任意のポリゴン（マウスで任意に指定）
- 円： 指定半径の円（マウスで中心を指定。半径は入力）

円の半径： 円指定の場合の半径をmで指定します。

クリアボタン： エリア指定を解除します。

適用ボタン： 指定されたエリア検索を実行し、結果をデータリストに表示します。

例えば、矩形を使用してみましょう。

「矩形」チェックボックスをマウスクリックすると、地図上に+（クロスヘアカーソル）が出て矩形の入力が促されます。

マウスで2点（矩形の両角）を指定して「適用」ボタンクリックで、下図のようになります。

危険個所の	津波避難所	建築年	構造	全体面積	階数	活用面積	収容人数	トイレ	身障トイレ	洗面	施設所管	運営担当部	施設管理者	施設電話番号	施設FAX番	暖房設備	備
	S35	RC	456.47	2	150.21	45	0	0	0	0	生活環境部	地域生活課		44-5418	45-2604	石油ストーブ	
	S61	S	1888.35	2	442.02	133	0	1	2	0	株式会社	地域生活課	町内会会長	44-4442		ボイラー	天
	S41	木造	157.98	1	97.88	29	0	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長			石油ストーブ	天
	S54	木造	478.36	1	97.38	29	0	0	0	0	聖徳福祉事業協会	理事長		45-4215	45-4215	石油ストーブ	天
	H05	木造	114.66	1	73.7	22	0	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長	46-2270		石油ストーブ	天

この時点で、データ管理ウィンドウ上のデータリストは、指定した矩形内のデータに絞りこまれています。275件⇒21件

データ管理ウィンドウの「選択表示」チェックボックス ON で、地図上のマーカー表示も絞り込まれます。

The screenshot shows a map interface with a red rectangular selection area. Below the map is a 'データ管理' (Data Management) window. The 'エリア入力' (Area Input) dialog is open, showing 'エリア入力: 矩形' (Area Input: Rectangle) and '(円の半径) 100 m' (Radius of circle) 100 m. The 'データ管理' window has '選択表示' (Select Display) checked. The table below shows 21 items.

危険個所の	津波避難所	建築年	構造	全体面積	階数	活用面積	収容人数	トイレ	身障トイレ	洗面	施設所管	運営担当部	施設管理者	施設電話番号	施設FAX番	暖房設備
		S35	RC	456.47	2	150.21	45	0	0	0	生活環境部	地域生活課		44-5418	45-2604	石油ストーブ
		S61	S	1888.35	2	442.02	133	0	1	2	熊ベルコ		徳重	44-4442		ボイラー
		S41	木造	157.98	1	97.88	29	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長			石油ストーブ
		S54	木造	478.36	1	97.38	29	0	0	0	聖徳福祉事業協会		理事長	45-4215	45-4215	石油ストーブ
		H05	木造	114.66	1	73.7	22	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長	46-2270		石油ストーブ

次に、面を追加で指定してみましょう。

The screenshot shows the same map interface but with an additional red polygonal selection area. The 'データ管理' window shows '選択表示' (Select Display) checked. The table below shows 28 items.

危険個所の	津波避難所	建築年	構造	全体面積	階数	活用面積	収容人数	トイレ	身障トイレ	洗面	施設所管	運営担当部	施設管理者	施設電話番号	施設FAX番	暖房設備
		S44	木造	113.02	1	81.08	24	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長			石油ストーブ
		H16	S	1396.53	2	595.02	180	0	1	2	石田デンレイ			41-1194		石油ストーブ
		S35	RC	456.47	2	150.21	45	0	0	0	生活環境部	地域生活課		44-5418	45-2604	石油ストーブ
		S61	S	1888.35	2	442.02	133	0	1	2	熊ベルコ		徳重	44-4442		ボイラー
		S41	木造	157.98	1	97.88	29	0	0	0	町内会	地域生活課	町内会会長			石油ストーブ

絞り込まれたデータは、28件になりました。

エリアでの絞り込みは、指定したエリアの OR（または）条件で絞り込まれます。
 なので、上記は、指定した矩形または面のどちらかに入るデータの絞り込みとなります。

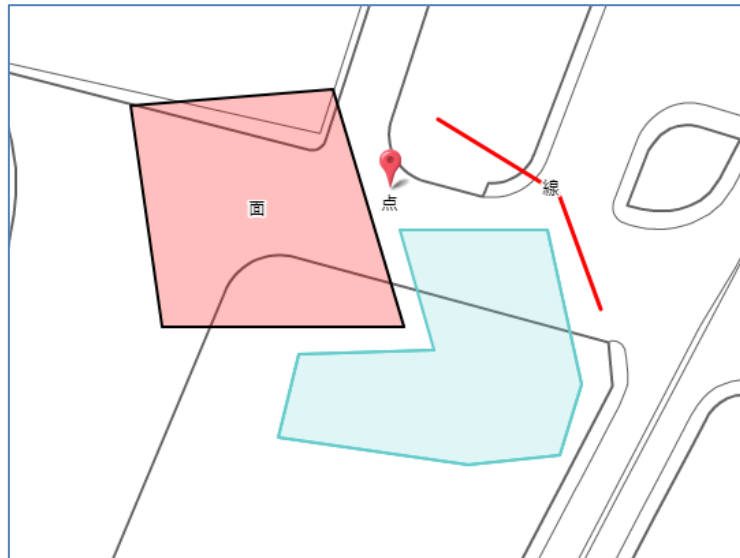
エリアでの絞り込みは、[「7-3 ユーザデータの絞り込み」](#) [「7-4 ユーザデータの条件検索」](#)の属性条件とは、AND（且つ）で結合されます。

なので、エリアと条件検索を同時に指定した場合は、このエリア内で指定した条件検索にマッチしたものが絞り込まれます。

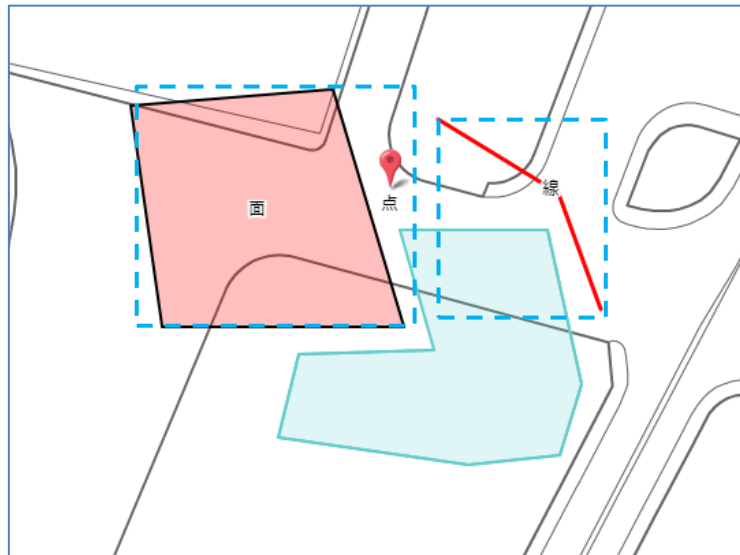
注意！ 線データ、面データのエリア検索

このエリア検索では、点データの検索は、完全にエリアに含まれるデータが検索されますが、線データ、面データの検索は、その図形の外接矩形がエリアに含まれるかどうかで検索されます。

従って、下図のように、赤色の点、線、面データがあり、水色のようなエリアを指定した場合は、面、線のデータは検索されることになります。点データは検索されません。



各データの外接矩形は下図（青の破線）となり、含まれてしまいます。



注意が必要です。

7-7 データ管理ウィンドウの複数表示

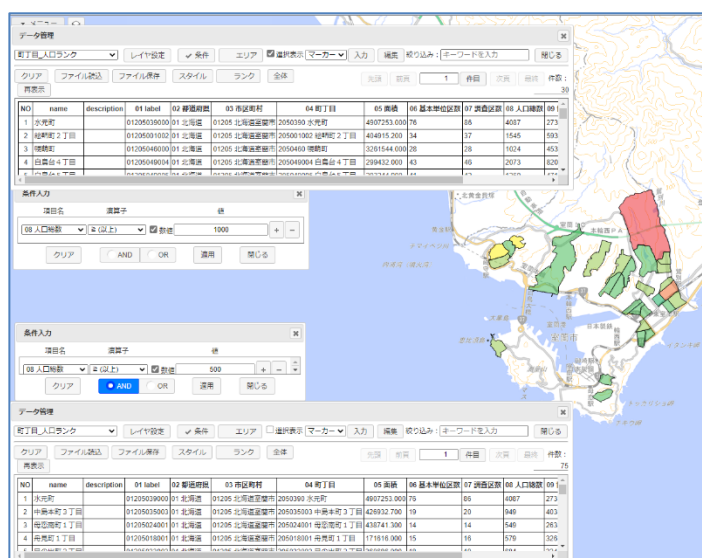
データ管理ウィンドウは、複数表示可能です。

また、同一レイヤに関しても複数表示可能で、それぞれで異なった条件検索の設定も可能です。
この場合の地図表示との連携は以下となります。

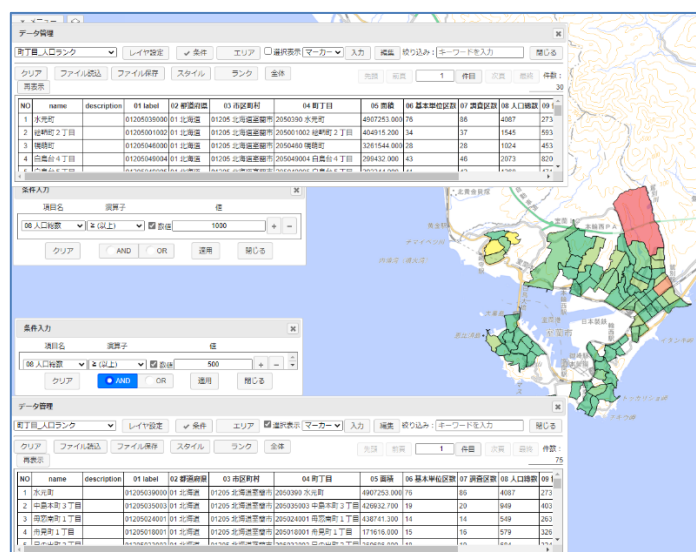
例えば、

一つ目のデータ管理ウィンドウでは、人口1000人以上の大字を条件検索。
二つ目のデータ管理ウィンドウでは、人口500人以上の大字を条件検索。

一つ目のデータ管理ウィンドウで、「選択表示」チェックボックスをON。



二つ目のデータ管理ウィンドウで、「選択表示」チェックボックスをON。
この時、一つ目のデータ管理ウィンドウの「選択表示」チェックボックスは、自動的にOFFとなります。

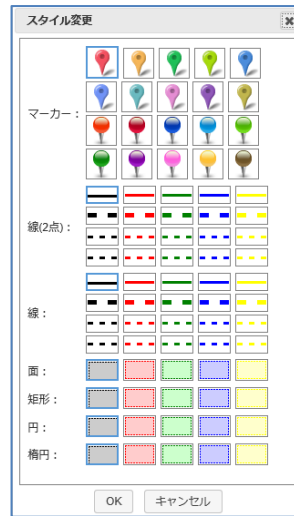


「選択表示」チェックボックスがONのデータ管理ウィンドウを閉じた場合は、地図表示の条件はなくなり、すべてのデータが表示されます。


7-8 スタイル変更

データ読み込み後にスタイル変更が可能です。

「スタイル」ボタンをクリックし、スタイル変更ウィンドウを表示します。



ここで、変更したいマーカーを選択（例えば、) し「OK」ボタンのクリックで、スタイルが変更されます。

このスタイル変更は、データ管理ウィンドウに現在表示されているデータに関して適応されます。従って、「[7-4 ユーザデータの条件検索](#)」例1を行った状態（「広域一時」項目が“広域”のものを検索しています）ですと、下図のように、避難場所のうち「広域一時」項目が“広域”のもののみが  に変更されます。

NO	FID	Shape	番号	施設名称	読み	住所	施設分類	屋内屋外	広域一時
1	104	Point	105	絵野小学校	えともしょうがっこう	室蘭市祝津町2-7-30	学校施設	屋内	広域
2	105	Point	106	白鳥大橋記念館みたら	はくちょうおおはしねんかんみたら	室蘭市祝津町4-16-15	その他	屋内	広域
3	106	Point	107	室蘭清水丘高等学校体育館	むろらんしみずがっこうとうがっこうたいいくかん	室蘭市増子町2-6-16	学校施設	屋内	広域
4	107	Point	108	文化センター	ぶんかせんたー	室蘭市幸町6-23	社会教育施設	屋内	広域
5	108	Point	109	武揚小学校	ぶようしょうがっこう	室蘭市栄町2-3-3	学校施設	屋内	広域
6	109	Point	110	北原中学校体育館	ほしはらちゅうがっこうたいいくかん	室蘭市山手町2-10-2	学校施設	屋内	広域

スタイル変更は、上述のように、条件検索と一緒に使用すると効果的です。

もちろん、1データ単位でも可能です。

また、この状態でデータを保存すると、次の読み込みでこのスタイルが再現されます。

7-9 データ編集

読み込んだデータは、システム上で編集可能です。

データ管理ウィンドウの「編集」ボタンで行います。

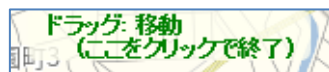


① マーカーの場合

ボタンクリック後、地図上で対象マーカーをクリックすると、下図のようにデータ編集ウィンドウが起動され、データ編集が可能となります。



図形編集： 図形の編集も可能です。
マーカーの場合、「移動」となります。
ボタンクリック後、地図の右上に下図ガイドが表示されます。



マーカーをマウスでドラッグして場所を移動します。
ガイドのクリックで終了（場所確定）となります。

スタイル： マーカーの変更も可能です。

各データ項目： データ項目も編集可能です。

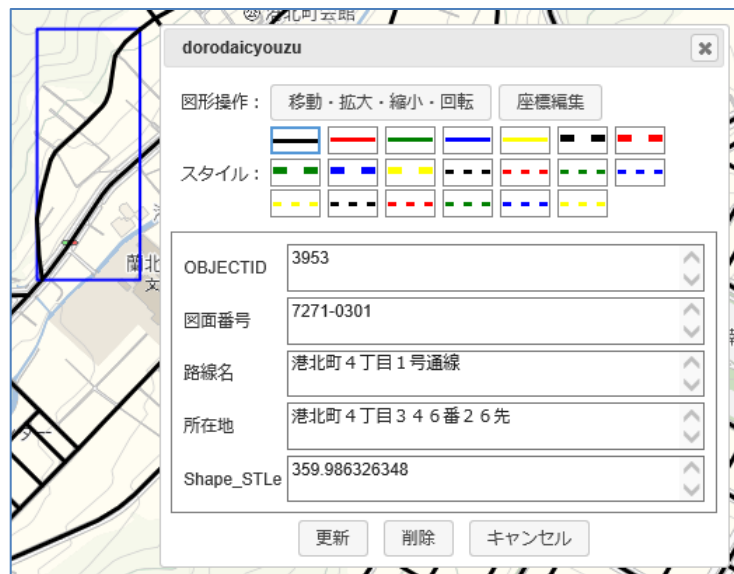
更新ボタン： 編集結果でデータを更新します。図形編集もスタイルも、このボタンのクリックで最終的に反映されます。

削除ボタン： データを削除します。
結果、データリストからも地図上からも削除されます。

キャンセルボタン： データの編集をキャンセルします。

② ライン（線）の場合

ボタンクリック後、地図上で対象ラインをクリックすると、下図のようにデータ編集ウィンドウが起動され、データ編集が可能となります。

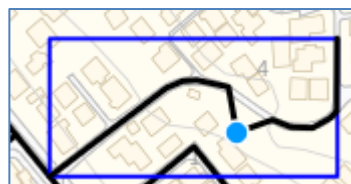


図形編集： 図形の編集も可能です。
ラインの場合、「移動・拡大・縮小・回転」となります。
ボタンクリック後、図形が下図のように編集可能となります。
また、地図の右上に下図ガイドも表示されます。



ガイドに従って、移動、拡大・縮小、回転の操作を行います。
ガイドのクリックで終了（編集確定）となります。

座標編集ボタン： ライン内の座標を編集可能です。
青いポイントが表示され、それをマウスで動かすことにより、ライン内のポイントを移動します。



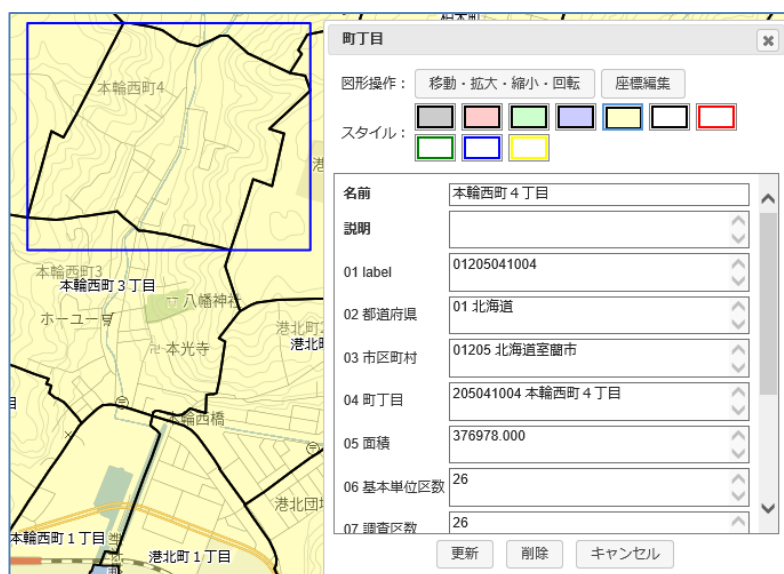
スタイル： 線種、色の変更も可能です。

以下はマーカーと同じです。

各データ項目： 更新ボタン： 削除ボタン：
キャンセルボタン：

③ ポリゴン（面）の場合

ボタンクリック後、地図上で対象ポリゴンをクリックすると、下図のようにデータ編集ウィンドウが起動され、データ編集が可能となります。



図形編集：

図形の編集も可能です。

ポリゴンの場合、「移動・拡大・縮小・回転」となります。ボタンクリック後、図形が下図のように編集可能となります。また、地図の右上に下図ガイドも表示されます。

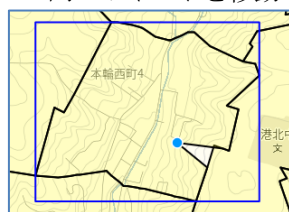


ガイドに従って、移動、拡大・縮小、回転の操作を行います。ガイドのクリックで終了（編集確定）となります。

座標編集ボタン：

ポリゴン内の座標を編集可能です。

青いポイントが表示され、それをマウスで動かすことにより、ポリゴン内のポイントを移動します。



スタイル：

枠色、色塗りの変更も可能です。

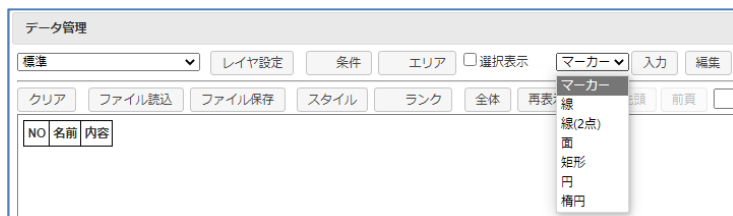
以下はマーカーと同じです。

各データ項目： 更新ボタン： 削除ボタン：
キャンセルボタン：

7-10 データ入力

新規にデータを追加する事も可能です。

データ管理ウィンドウの「入力」ボタンで行います。



システムに標準で準備されている「標準」レイヤを使用して説明します。
新規のレイヤ作成方法は、「11-2 レイヤ設定」を参照願います。

① マーカーの場合

「マーカー」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

マーカー入力: 1点をクリック
(**二**をクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。

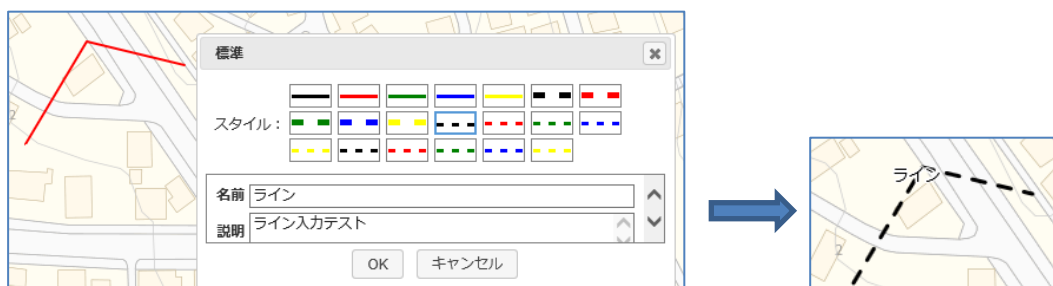


② 線の場合

「線」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

線入力: 2点以上をクリック、ダブルクリックで終了
※Shift+ドラッグでフリーハンド入力
(**二**をクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



③ 線（2点）の場合

「線（2点）」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

線入力: 2点をクリック
(ここをクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



④ 面の場合

「面」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

面入力: 3点以上をクリック、ダブルクリックで終了
※Shift+ドラッグでフリーハンド入力
(ここをクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



⑤ 矩形の場合

「矩形」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

矩形入力: 始点と終点をクリック
※Ctrlキーで始点を中心点に変更
※Shiftキーで正方形
※Ctrl+Shiftキーで正方形(回転可)
(ここをクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



⑥ 円の場合

「円」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

円入力: 中心点と外周点をクリック
(ここをクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



⑦ 楕円の場合

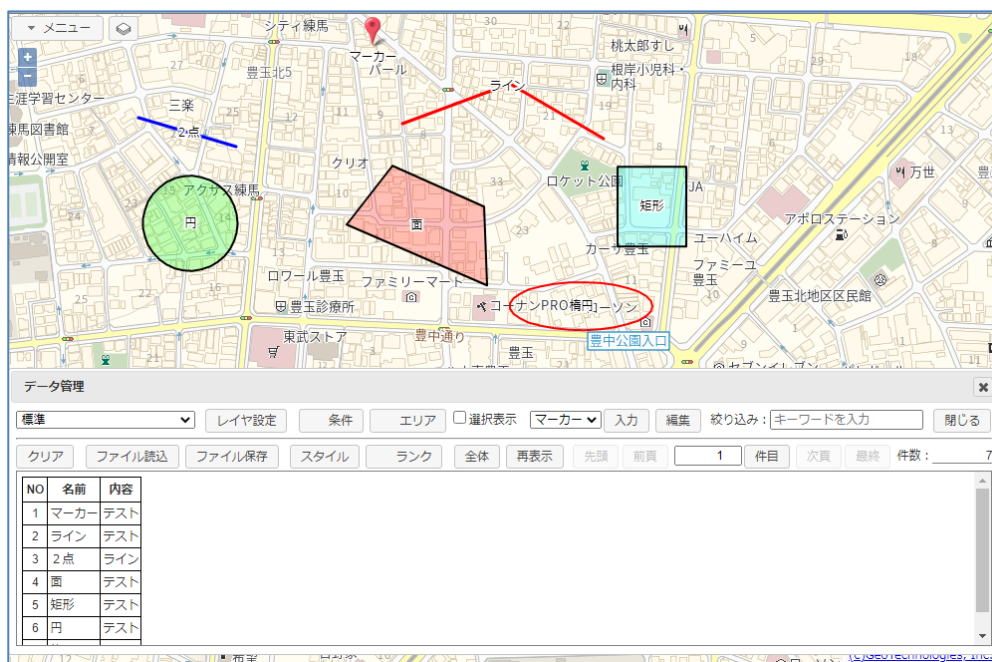
「楕円」を選択し、「入力」ボタンをクリック。
地図の右上に表示されるガイドに従って入力。

楕円入力: 始点と終点をクリック
※Ctrlキーで始点を中心点に変更
※Shiftキーで正円(直径指定)
※Ctrl+Shiftキーで正円(半径指定)
(ここをクリックでキャンセル)

起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをクリックすることにより、データが登録されます。



一つのレイヤに、あらゆるデータタイプ（点、線、面。。）を登録可能です。



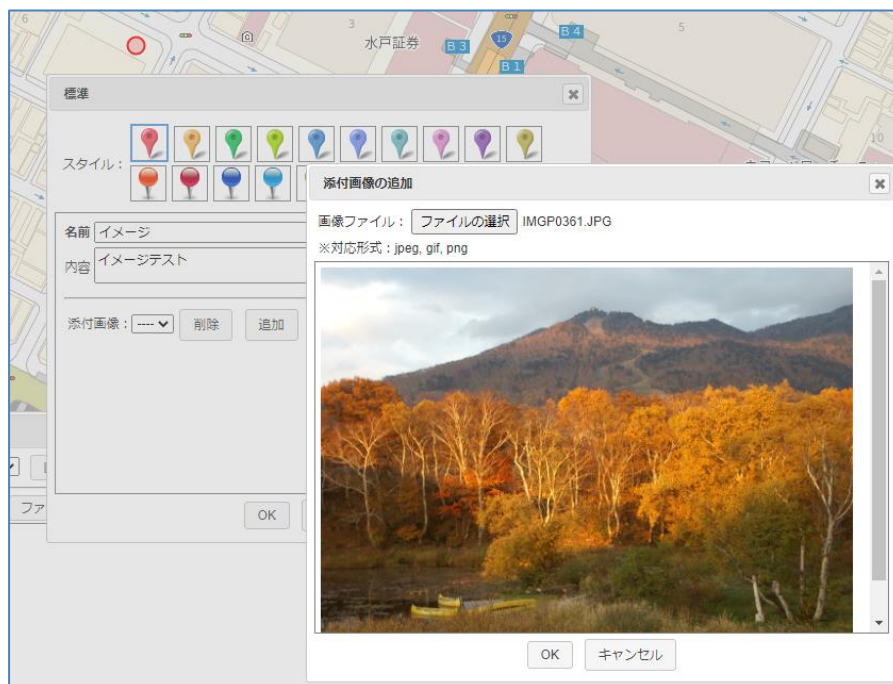
ただし、データを保存する場合に、CSV データとして保存する場合は、図形の中心点の 1 点だけが保存されます。

G I S データ (KML、GeoJSON) として保存する場合は、各図形がそのまま保存されます。

7-11 イメージ画像の添付

データには写真等のイメージ画像 (jpeg、gif、png) を添付することが可能です。

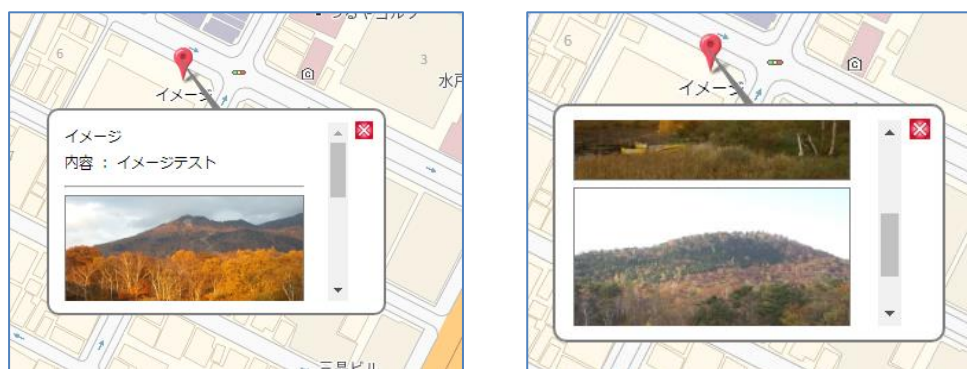
添付画像の「追加」ボタンクリックで、イメージファイル選択用ウィンドウが起動します。そこでイメージファイルを選択し、「OK」ボタンのクリックでイメージ画像が添付されます。



一つの画像に、複数のイメージ画像を添付することも可能です。

イメージ画像の追加は、「追加」ボタンで、
イメージ画像の削除は、イメージを選択して「削除」ボタンで行います。

イメージが添付されているデータは、マーカークリックで吹き出しに画像が表示されます。



イメージ画像は縮小表示されます。オリジナルの画像の表示は、画像上でマウス右クリックによる「新しいタブで画像を開く」等のブラウザ機能で行ってください。

7-12 ユーザデータの削除

データ管理ウィンドウのデータリストに表示中のユーザデータを全て削除する場合は、「クリア」ボタンをクリックします。

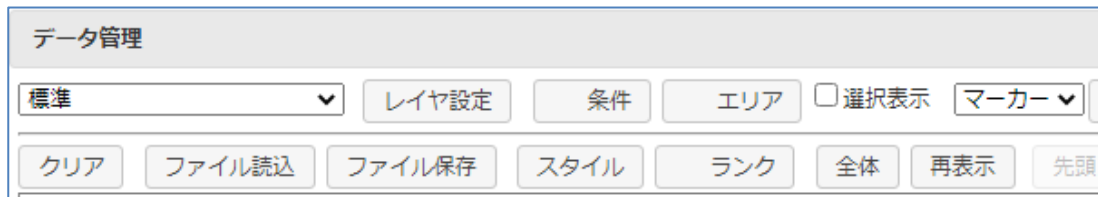
「絞り込み」も適用されます。

確認のウィンドウが表示され、「OK」ボタンクリックで削除処理が実行されます。

全てのデータを削除することも可能なので、注意が必要です。

7-13 全体表示

データ管理ウィンドウで処理対象となっているユーザデータの全データを地図上に表示します。
「全体」ボタンのクリックで実行されます。



この時、表示縮尺が自動で調整されます。

全体表示は地図エリア全体での表示となります。一部のデータはデータ管理ウィンドウの裏に隠れることがあります。

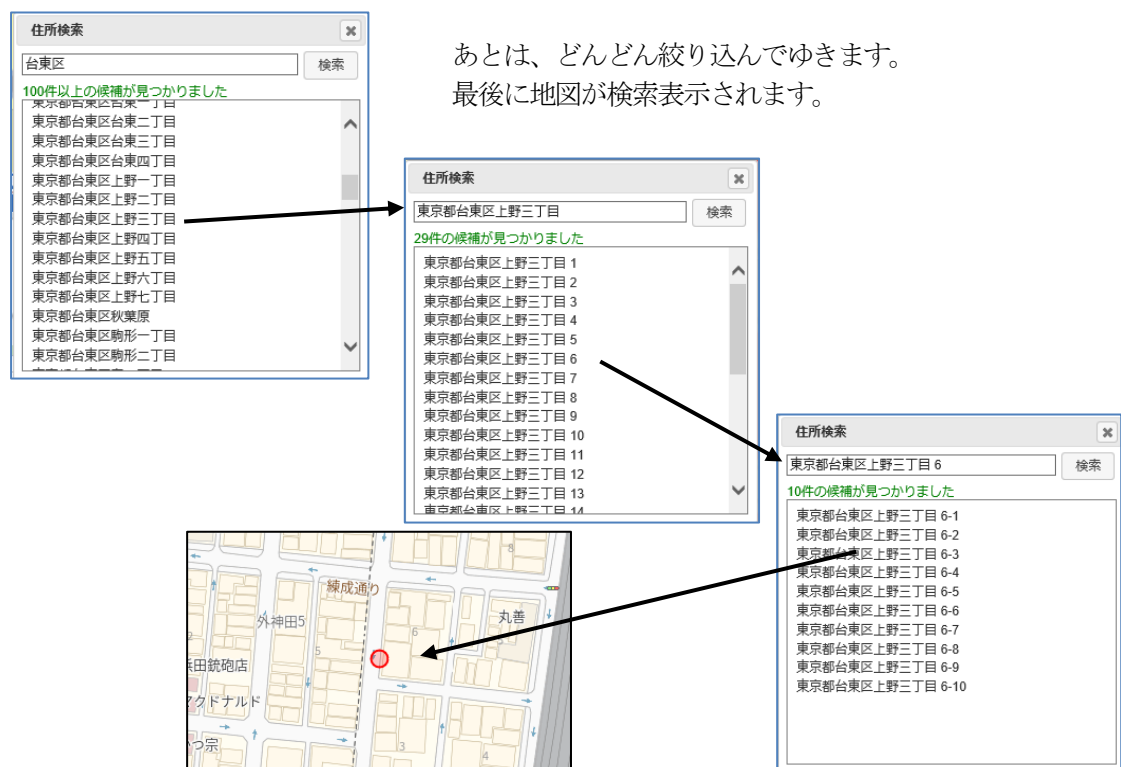
7-14 再表示

「再表示」ボタンのクリックで、地図が再表示されます。
この時、吹き出しは全て削除されます。
出し過ぎた吹き出しを一気に消したいとき等に使用します。

8 住所検索

住所検索は、対象自治体の住所に限定されます。
「メニュー」 「住所検索」を選択し、住所検索ウィンドウを起動して行います。

例えば、「台東区」と入力すると、下記一覧が表示されます。



9 計測

地図上で、距離、免訴期の計測が可能です。

「メニュー」「計測」を選択し、計測ウィンドウを起動して行います。

9-1 距離計測

「線入力」を選択し、地図上で計測したい場所をマウスで指定します。

マウスの移動中は、常に距離が表示されます。

ダブルクリックで計測終了となり、トータル距離が表示されます。

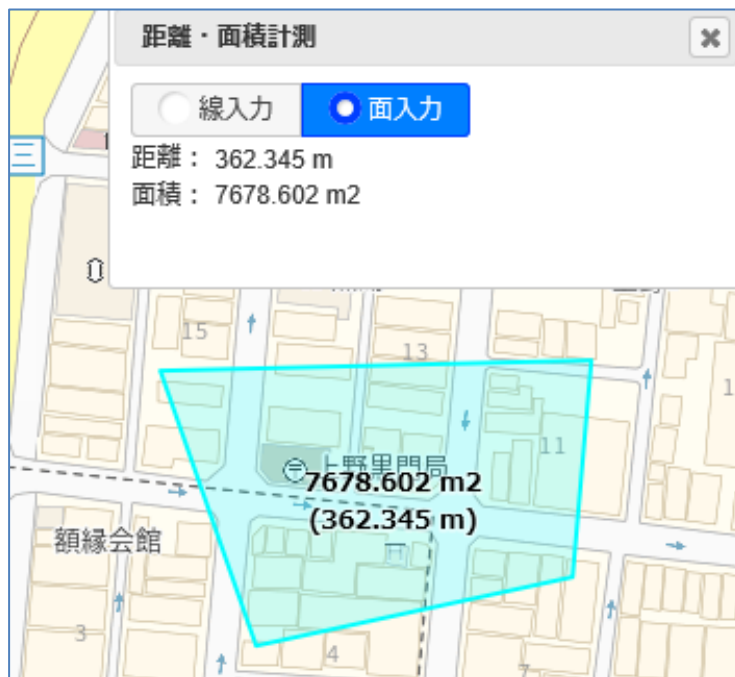


9-2 面積計測

「面入力」を選択し、地図上で計測したい場所をマウスで指定します。

マウスの移動中は、常に距離、面積が表示されます。

ダブルクリックで計測終了となり、トータル距離、面積が表示されます。



10 表示設定

ここでは、地図表示に関する各種設定方法を説明します。
「メニュー」 「表示設定」を選択し、表示設定ウィンドウを起動して行います。

表示設定

縮尺: レベル17 (約1/4514) ☐ 任意縮尺 4514 セット

背景地図: MapFan(標準) (透過度) 0% ☐ グレー

背景追加: ☒ 基盤地図情報_for_MapFan ☐ 基盤地図情報_for_MapFan_Gray ☐ 基盤地図情報_for_MapFan_Mono

データ表示: ☒ 名前を表示する 縮尺 30000 以下

吹き出し表示: ☒ 全て表示する

入力候補表示: 20 Byte 以下(全角は 2 Byte)

(現在地情報)

表示範囲	左下	(経度) 139.65201755658975 (緯度) 35.72931500593981
------	----	---

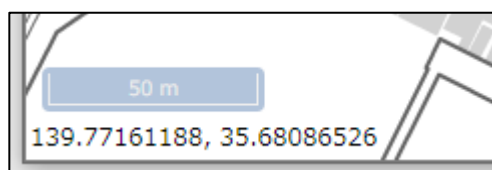
10-1 投影座標系

「セキュア GIS for 自治体」では、「Web メルカトル」と「平面直角」の二つの投影座標系を選択可能です。平面直角の系は対象自治体により決定されます。
これは、地図描画の設定となりますので、起動時に選択します。

「セキュア GIS」(民間版)では、地図が日本全国となりますので、平面直角の選択はできません。Web メルカトルのみとなります。

これにより、地図左下に表示される、マウス位置の座標表示が変わります。

Web メルカトルの場合
緯度、経度



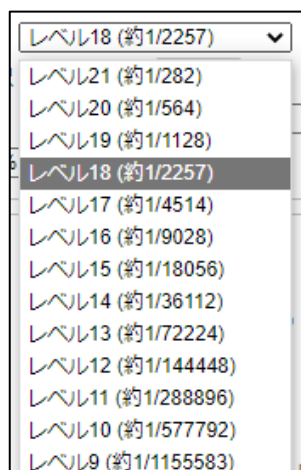
平面直角の場合
平面直角座標



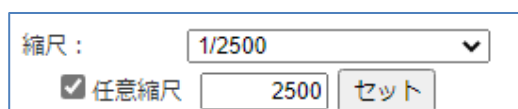
10-2 表示縮尺の設定

標準の表示縮尺は、Google Maps、地理院地図等で使用されている「レベル」を使用しています。

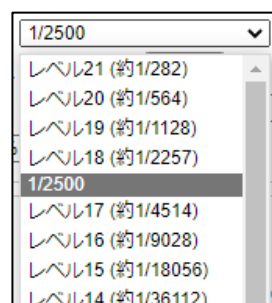
レベル



ただし、任意の縮尺を追加する事ができます。
例えば、「2500」を追加したい場合は、
「任意縮尺」チェックボックスをONして
縮尺を入力し、「セット」ボタンをクリックします。

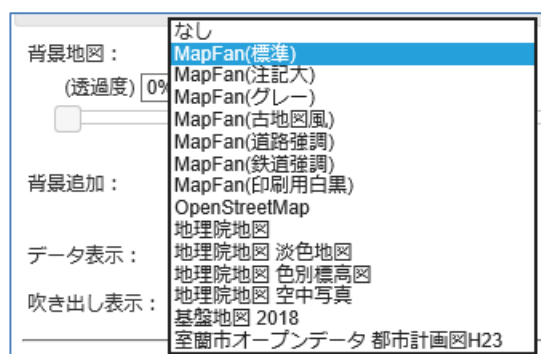


これで、表示縮尺が 1/2500 となり、2500 がリストに追加されます。
追加できる縮尺は1個です。



10-3 背景地図の切り替え

背景地図は下図の中から選択可能です。



各背景地図は、実際に選択してご確認ください。

地図説明：

MapFan： ジオテクノロジー株式会社の地図です。
使用する場合は、オプション契約が必要となります。

OpenStreetMap： 世界樹のボランティアが作成している地図です。
Open Data Commons Open Database License (ODbL) ライセンスのオープンデータです。

地理院地図： 国土地理院が配信している地図データです。
弊社で使用承認を得ております。

基盤地図情報： 国土地理院よりダウンロードできる地図データです。
弊社で使用承認を得ております。

室蘭市オープンデータ都市計画図：
室蘭市のオープンデータです。
このように、オプションにより、各自自治体保有の地図を背景地図として使用することも可能です。

透過度： 背景地図の透過度を指定可能です。
数値（0%～100%）、および、スライダーで指定します。

10-4 背景の追加表示

MapFan の地図は日本全国をカバーしていますが、地方の山間部等で若干整備されていない箇所が存在します。

その部分を基盤地図情報で補てんします。

補てん内容は、

- ・拡大時（レベル17以上）での建物の表示、
- ・拡大時（レベル19以上）での住所（地番）表示。

これは、機械的に追加表示しているもので、補てん部分を個別に調整したものではありません。

MapFan の標準、グレー、印刷用白黒）に合わせ3種類用意しています。

背景追加：	<input checked="" type="checkbox"/> 基盤地図情報_for_MapFan
	<input type="checkbox"/> 基盤地図情報_for_MapFan_Gray
	<input type="checkbox"/> 基盤地図情報_for_MapFan_Mono

チェックボックスの ON/OFF で、追加表示 ON/OFF を指定します。

追加された地図の透過度は変更できません。

10-5 データ表示

地図上にデータ内の任意項目を表示可能です。

表示する項目は、データ管理ウィンドウの「レイヤ設定」で行います。（後述）

データ表示：	<input checked="" type="checkbox"/> 名前を表示する	縮尺	3000	以下
--------	---	----	------	----

チェック ON



チェック OFF



10-6 吹き出し表示

吹き出しの表示方法を設定します。

データが密集している場所をクリックした場合、周辺の全てのデータを吹き出し表示するか、マウスポイントに一番近いデータのみを吹き出し表示するかを切り替えます。

吹き出し表示: ☒ 全て表示する

10-7 入力候補表示

本システムでは、データ入力時の補助機能として、入力候補を表示します。

入力候補は、登録されているデータを元に作成されます。

ここでは、入力候補を表示するデータ項目の長さ（バイト）を指定します。

入力候補表示: Byte 以下(全角は 2 Byte)

上記は、「登録済みデータのデータ長が20バイト（漢字10文字）以下の項目を対象とする」という指定です。データ長の長い項目、例えば“説明文”等の項目は候補選択での入力は考えにくいと思われるためです。

この指定により、入力画面は以下のようになります。

登録済みデータのデータ長が20バイト以下のものが、候補入力となっています。
このデータ長（バイト数）を、ここで設定可能です。

10-8 現在地情報

表示中の地図に関する情報を表示します。
これは、地図の移動、拡大／縮小に応じ常に更新表示されます。

座標は、[「10-1 投影座標系」](#)により変わります。

Web メルカトルの場合
緯度、経度

平面直角の場合
平面直角座標

(現在地情報)		
表示範囲	左下	(経度) 139.76387090510832 (緯度) 35.67956564783038
	右上	(経度) 139.77023310489164 (緯度) 35.68276832523199
中心座標	(経度) 139.767052005 (緯度) 35.68116700259997 (住所) 東京都千代田区丸の内一丁目 9 (系) 9	
表示レベル	18 (2256.9988666882755)	

(現在地情報)		
表示範囲	左下	(X) -5851.986626832903 (Y) -35581.83678967523
	右上	(X) -5144.542621752033 (Y) -35143.41238517739
中心座標	(X) -5498.2646242924675 (Y) -35362.62458742632 (住所) 東京都中央区日本橋二丁目 3-9 (系) 9	
表示レベル	18 (2254.4722712407092)	

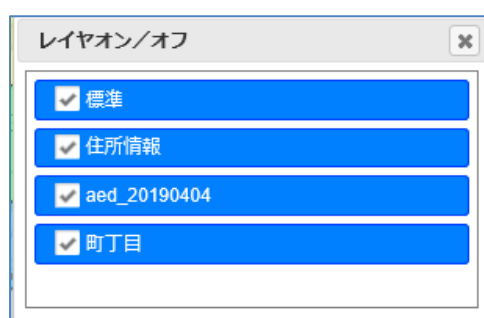
1 1 レイヤ管理

G I Sの世界では、各データ（AED、避難所と）を「レイヤ」と呼びます。
AED レイヤ、避難所レイヤと言った感じで呼びます。

本システムでは、同時に複数レイヤを表示可能です。
ここでは、各レイヤの設定、レイヤの追加／削除等、レイヤの管理方法を説明します。

1 1-1 レイヤ ON/OFF

レイヤの表示切り替えは、「メニュー」横の  をクリックし、レイヤオン／オフウィンドウを表示して行います。



標準レイヤ、住所情報レイヤは、元々組み込まれているサンプルレイヤです。

標準レイヤ：

単純な、名前、説明のサンプルです。

住所情報レイヤ：

住所取得、座標取得用サンプルです。 [「1 1-2 レイヤ設定」](#)で説明します。

1 1-2 レイヤ設定

各種レイヤ設定を行います。

データ管理ウィンドウの「レイヤ設定」ボタンをクリックして、レイヤ設定ウィンドウを起動します。

標準装備の住所情報レイヤで説明します。



レイヤ名： レイヤ作成時は、ここでレイヤ名を指定します。

項目名： 項目名



ボタン： 項目順の変更を行います。
左端のチェックボックス ON の項目を上下に移動します。

☐ 吹き出し： 吹き出しに表示する項目を指定します。



ボタン： 対象項目の下に項目を追加します。



ボタン： その項目を削除します。

種別 : 名前／説明／URL

名前： ここで指定した項目が「[10-3 データ表示](#)」で表示される項目です。
また、KML データで保存した時の name タグ内データとなります。
データ読み込み時、項目名が“名前”または“name”の場合、自動的に設定されます。両項目が存在する場合は、“name”が優先されます。

説明： KML データで保存した時の description タグ内データとなります。
データ読み込み時、項目名が“description”の場合、自動的に設定されます。
KML データ保存時以外は意味がありません。

URL： <http://>、<https://>で始まるデータが存在する場合は、種別=URL を指定すると、そのデータがリンクとして表示され、そのアドレスに飛べるようになります。
データ読み込み時に、データの中身が <http://>、<https://>で始まる場合は、自動で設定されます。

自動取得： データ入力時にここで指定した項目に自動的に値がセットされます。

住所情報：

住所： 座標から住所がセットされる項目です。

コード： 取得した住所コードがセットされる項目です。

 JIS 市区町村コード+独自 (国土交通省、ネオ・ジーアイエス) 7 桁

レベル： マッチングレベルがセットされる項目です。

地点情報：

経度： 経度がセットされる項目です。

緯度： 緯度がセットされる項目です。

x、y： x y 座標がセットされる項目です。

 「セキュア GIS for 自治体」：対象自治体の系の平面直角座標

 「セキュア GIS」(民間版)「セキュア GIS mini」：Google 座標

※ デモサイトは、サンプルなので「[10-1 投影座標系](#)」により、平面直角座標、Google 座標を切り替えています。本番は上記となります。

※ 項目名が、“住所”、“緯度”、“経度”の場合は、デフォルトで設定されます。

「変更」ボタン： 指定した内容で対象レイヤの設定を更新します。

11-3 レイヤ追加

レイヤ名に新規の名前を指定し、各種設定後（「[11-2 レイヤ設定](#)」参照）、「追加」ボタンをクリックすることで、新規にレイヤを作成します。

11-4 レイヤ削除

「削除」ボタンをクリックすることで、対象レイヤを削除します。

1 2 印刷

背景地図、ユーザデータは印刷可能です。

「メニュー」「印刷」を選択し、印刷ウィンドウを起動して行います。

背景地図に MapFan を使用した場合は、印刷された地図は市内、企業内での利用に限定されます。配布用のライセンスは含まれておりません。配布用は、MapFan 以外の背景地図を使用願います。

1 2-1 印刷設定

印刷ウィンドウで印刷の設定を行います。



表題、縮尺、注釈チェックボックス：

チェック ON で、それぞれを表示します。
それぞれの内容は後述します。

用紙： 印刷用紙を指定します。

A 5～A 0、B 5～B 0 が指定可能です。
縦／横の指定も可能です。

余白： 上下左右の余白を mm（ミリ）単位で指定可能です。

ご使用のプリンターに合わせて調整願います。

「OK」ボタンのクリックで、印刷プレビューウィンドウが起動されます。

1 2-2 印刷

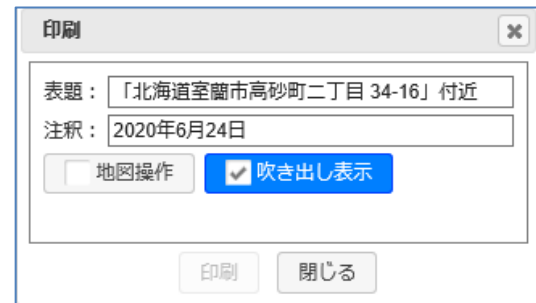
印刷プレビュー画面は、「[1 2-1 印刷設定](#)」に従って、現在表示中の中心座標から、現在の縮尺、用紙設定に応じて表示されます。



表題： 印刷イメージ上部。
デフォルトは、表示中の中心の住所となります。
印刷ウィンドウで変更可能です。

注釈： 印刷イメージ右下。
デフォルトは、印刷日付となります。
印刷ウィンドウで変更可能です。

縮尺： 印刷イメージ左下。
縮尺に応じたスケールとなります。
変更不可。



地図操作チェックボックス：
チェック **ON** で、印刷プレビュー画面での地図の移動、縮尺変更が可能となります。

吹き出し表示チェックボックス：
チェック **OFF** で、吹き出しを非表示にします。

印刷： ブラウザの印刷ウィンドウを起動します。
実際の印刷は、各ブラウザの機能で行います。

1 3 分割印刷

切り貼りして大きな紙地図を作成できる分割印刷機能です。

これにより、A4、A3 プリンターしかない場合でも、A1、A0 大の紙地図を作成することが可能となります。

「メニュー」「分割印刷」を選択し、分割印刷ウィンドウを起動して行います。

背景地図に MapFan を使用した場合は、印刷された地図は市内、企業内での利用に限定されます。配布用のライセンスは含まれておりません。

配布用は、MapFan 以外の背景地図を使用願います。

1 3-1 印刷設定

分割印刷ウィンドウで印刷の設定を行います。

分割印刷

用紙: A4 横

余白: 上 6mm 下 6mm 左 6mm 右 6mm

縮尺: レベル18 (約1/2257)

(現在の縮尺): レベル17 (約1/4514)

範囲: クリア 入力

(枚数): 1 枚

OK キャンセル

用紙: 印刷用紙を指定します。

A5～A0、B5～B0が指定可能です。

縦／横の指定も可能です。

余白: 上下左右の余白を mm(ミリ)単位で指定可能です。

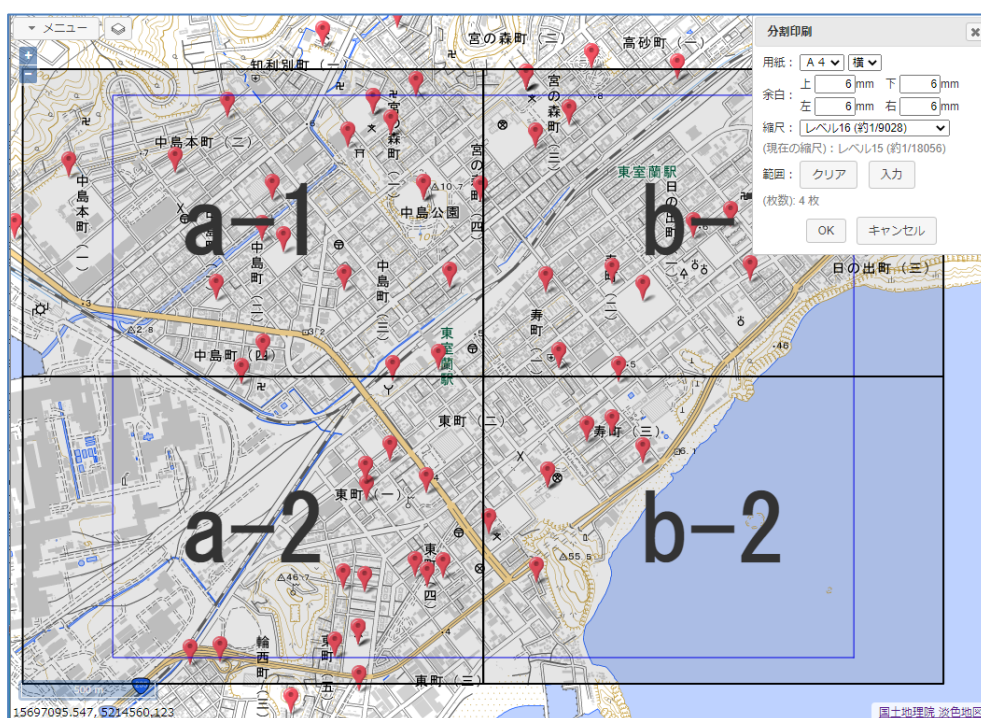
ご使用のプリンターに合わせて調整願います。

縮尺: 印刷図面の縮尺を指定します。

クリア: 印刷範囲をクリアします。

入力: 地図表示ウィンドウで、マウスを使用して印刷したい範囲をドラッグします。

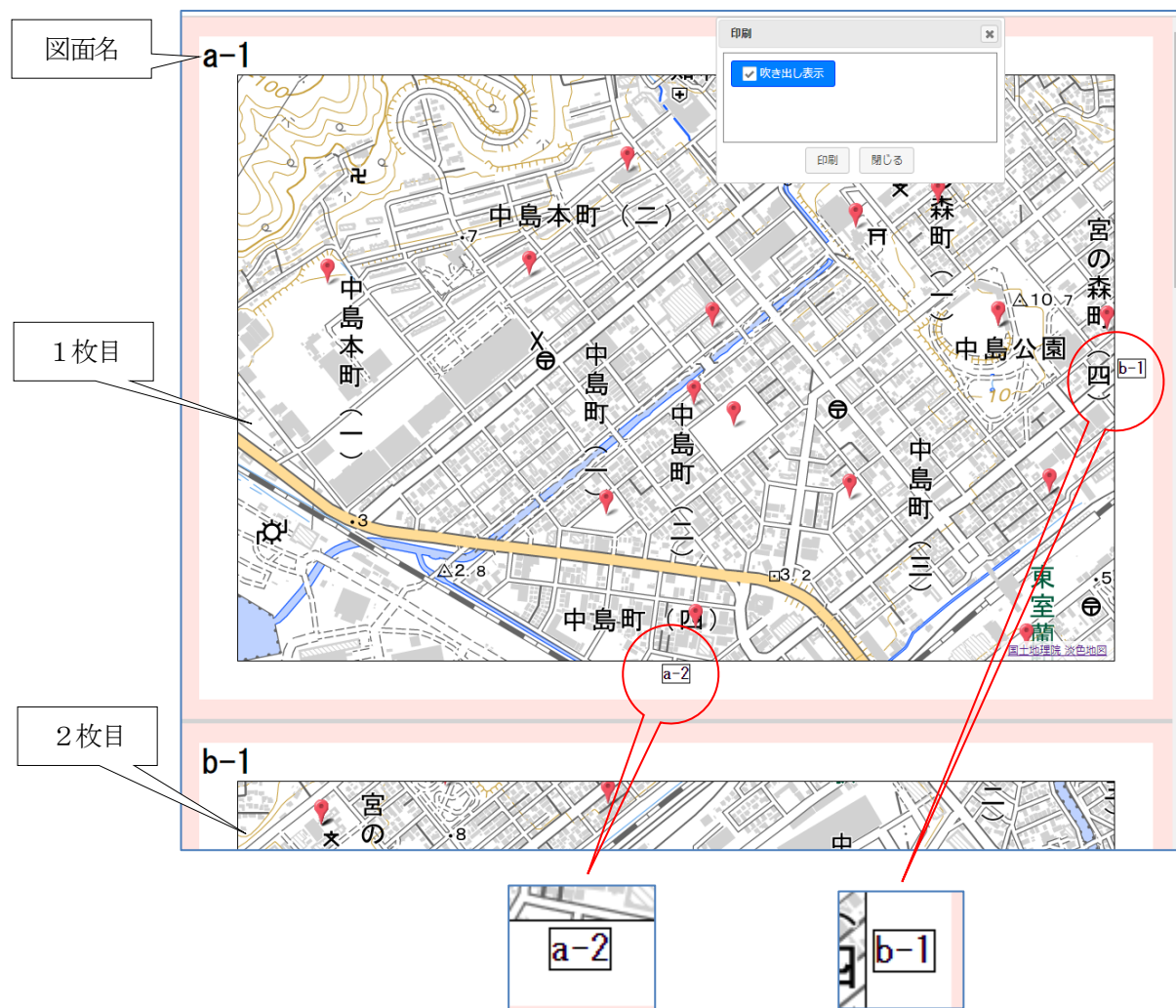
指定用紙、縮尺から、その範囲を含む印刷枚数が計算され、地図表示ウィンドウに表されます。下図では4枚の印刷となります。



「OK」 ボタンのクリックで、印刷プレビューウィンドウが起動されます。

1 3 - 2 印刷

印刷プレビュー画面は、「[1 3 - 1 印刷設定](#)」に従って、枚数分の地図が順番に表示されます。



張り合わせしやすいように、のりしろには横の図面名も印刷されます。

吹き出し表示チェックボックス：

チェック OFF で、吹き出しを非表示にします。

印刷 ： ブラウザの印刷ウィンドウを起動します。
実際の印刷は、各ブラウザの機能で行います。

閉じる ： 印刷プレビュー画面を閉じます。

印刷後、各図面を張り合わせて大判地図を作成します。

1 4 ユーザデータの保存

読み込んだユーザデータは、編集、加工後、再度ファイルに保存可能です。
保存可能な形式は、CSV、KMZ（KML の ZIP 圧縮形式）、GeoJSON となります。
Shape データでの保存はできません。

データにイメージ画像が添付されている場合は、KML データで保存して下さい。
CSV、GeoJSON データではイメージ画像の保存はできません。

データ管理ウィンドウの「ファイル保存」ボタンのクリックで、ファイル保存ウィンドウを起動して行います。

1 4-1 CSV データでの保存

1 4-1-1 CSV データでの保存

CSV データとして保存します。

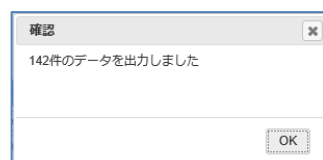


ファイル名： レイヤ名が使用されます。変更可能です。

レイヤには、マーカー、ライン、ポリゴンを一様に格納可能です。
が、CSV データでは、座標は1点しか保存できません。
マーカー以外（ライン、ポリゴン）が含まれる場合、図形の中心座標のみが保存されます。
ライン、ポリゴンが含まれる場合は、他の GIS 形式（KML、GeoJSON）で保存して下さい。

また、イメージ画像は保存できません。イメージ画像がある場合は KML データで保存して下さい。

「OK」ボタンのクリックで、データが抽出され、下記確認ウィンドウが表示されます。



保存時は、各レイヤの「条件」「絞り込み」「エリア」の各条件が反映されます。

また、「保存」ボタンが使用可能となりますので、ボタンをクリックし、ブラウザの保存手順に従って保存して下さい。



1 4 - 1 - 2 保存された CSV データ

保存した CSV データを見てみましょう。

	A	B	C	D	E	F
1	OBJECTID	交付番号	施設名称	設置場所	住所	電話番号
2		1 A-1	室蘭市白鳥1階	事務	北海道室蘭市#0143-2	
3		2 A-3	ナラサキ1階	会議	北海道室蘭市#0143-2	
4		3 A-4	市立室蘭オ1階	事務	北海道室蘭市#0143-2	
5		4 A-7	函館どつく船舶部事務		北海道室蘭市#0143-2	
6		5 A-8	特別養護老1階	中々	北海道室蘭市#0143-2	
7		8 A-11	養護老人オ1階	正面	北海道室蘭市#0143-2	
8		10 B-1	室蘭市文化管理棟	1	北海道室蘭市#0143-2	
9		11 B-2	医療法人オ1階	検査	北海道室蘭市#0143-2	
10		12 B-3	室蘭市入江1階	ロビ	北海道室蘭市#0143-2	

〇〇〇

AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB
経緯標100	_ADR	_ACD	_LVL	_T	_S	_LON	_LAT
	北海道室蘭市祝津町四丁目	1205000001	4	1		140.9468	42.34486
	北海道室蘭市露地町 147	1205000003	4	1		140.9685	42.33245
	北海道室蘭市祝津町三丁目	1205000001	4	1		140.9434	42.33966
	北海道室蘭市祝津町一丁目	1205000001	4	1		140.9537	42.34101
	北海道室蘭市絵鞆町二丁目	1205000000	4	1		140.9356	42.3344
	北海道室蘭市祝津町三丁目	1205000001	5	1		140.9426	42.33455
	北海道室蘭市幸町 6-23	1205000003	5	1		140.9699	42.31593
	北海道室蘭市幸町 7-3	1205000003	5	1		140.9705	42.31513
	北海道室蘭市入江町 1	1205000004	4	1		140.9751	42.3222

元の CSV データの後ろのほうに下記項目が追加されています。

以下追加された項目。

_ADR _ACD : 正規化された住所
 _LVL : アドレスマッチングのマッチングレベル
 _T : 図形タイプ (変更不可)
 _S : 描画スタイル
 _LON _LAT : 緯度経度

CSV データで保存すると、G I S項目が追加されますが、それ以外は変更しないので、これまで通りの管理 (追加/修正/削除) が可能です。

通常はこの CSV (エクセル) で管理し、必要な時は地図表示する、といった運用も可能です。もちろん、データ管理ウィンドウ上でも、データの追加/修正/削除は可能ですので、常にG I S管理するといった運用も可能です。

1 4 - 1 - 3 2 度目以降の CSV データの読み込み

一度G I Sデータ化された CSV データは、地図表示が高速となります。

この CSV データを地図上にドラッグ&ドロップすると、ファイル読込ウィンドウが表示されますが、必要項目はセットされています。

「元のスタイルを優先する」チェックボックスの ON で、保存されたスタイルが再現されます。「OK」 ボタンのクリックで、ファイル読み込みが実行され、結果が表示されます。

アドレスマッチングは行われず、CSV 内の緯度経度 (_LON、_LAT) で、素早く表示されます。

1 4－2 KML データでの保存

1 4－2－1 KML データでの保存

KML データとして保存します。

実際の出力ファイルは、KMZ (KML の ZIP 圧縮形式) となります。

ファイル名： レイヤ名が使用されます。変更可能です。

レイヤには、マーカー、ライン、ポリゴンと一緒に格納可能です。

イメージ画像も一緒に保存されます。

KML データには全て保存可能です。

☐ すべてのレイヤを保存するチェックボックス：

チェック ON の場合、全レイヤを一つの KML ファイルに保存可能です。

これを読み込んだときは、各レイヤも再現されます。

各レイヤの名称は変更可能です。

「OK」 ボタンのクリックで、データが抽出され、下記確認ウィンドウが表示されます。

保存時は、各レイヤの「条件」「絞り込み」「エリア」の各条件が反映されます。

また、「保存」 ボタンが使用可能となりますので、ボタンをクリックし、ブラウザの保存手順に従って保存して下さい。

1 4 - 2 - 2 Google Earth の KML との互換性

KML データは、Google Earth で使用されるデータ形式です。

セキュア GIS では、KML データで保存したデータの Google Earth での表示、および Google Earth で作成された KML のセキュア GIS での表示を考慮しています。

考慮すべき Google Earth の KML 仕様

- ・ name タグ、description タグ、ExtendedData タグを扱う。
- ・ description タグ内のデータは、そのまま表示される。
- ・ ExtendedData タグ内のデータは、項目名、データのテーブル形式で表示される。
- ・ description タグ、ExtendedData タグが両方存在する場合は、description タグ内のデータのみを表示する。
ExtendedData タグ内のデータは表示しない。
- ・ Google Earth で KML データ作成を行うと、name タグ、description タグが作成される。
イメージデータも description タグに入る。

上記を考慮したセキュア GIS での KML 仕様

読み込み

- ・ Google Earth で作成した KML データはそのまま読み込む。
name タグ、description タグをそのまま読み込む。

書き出し

- ・ [「1 1 - 2 レイヤ設定」](#)で説明した、種別を「名前」、「説明」と設定した場合は、それぞれ name タグ、description タグで書き出す。
ただし、元々、“name”、“description”と言う項目名が存在する場合は、そちらを優先します。
- ・ 一般項目（種別設定なしの項目）は、ExtendedData タグとして書き出す。
Google Earth で、項目名、データのテーブル形式で表示させるため。

結果

- ・ Google Earth で作成した KML データを読み込んで、項目を追加した場合、もしくは、一般項目と、種別を「説明」と設定した項目が存在する場合、セキュア GIS で書き出した KML データには、description タグ、ExtendedData タグが両方存在することになります。

この場合、Google Earth では、description タグ内のデータのみ表示となり、ExtendedData タグ内のデータは表示されないことになります。

また、添付写真も表示されません。

注意が必要です。

この場合も、セキュア GIS では全ての項目が表示されます。

添付写真も表示されます。

1 4 - 3 GeoJSON データでの保存

GeoJSON データとして保存します。

ファイル名： レイヤ名が使用されます。変更可能です。

レイヤには、マーカー、ライン、ポリゴンを一緒に格納可能です。

GeoJSON データには全て保存可能です。

イメージ画像は保存できません。イメージ画像がある場合は KML データで保存して下さい。

☐ 全てのレイヤを保存するチェックボックス：

チェック ON の場合、全レイヤを一つの GeoJSON ファイルに保存可能です。

これを読み込んだときは、各レイヤも再現されます。

各レイヤの名称は変更可能です。

「OK」 ボタンのクリックで、データが抽出され、下記確認ウィンドウが表示されます。

保存時は、各レイヤの「条件」「絞り込み」「エリア」の各条件が反映されます。

また、「保存」ボタンが使用可能となりますので、ボタンをクリックし、ブラウザの保存手順に従って保存して下さい。

15 GISデータの取り込み

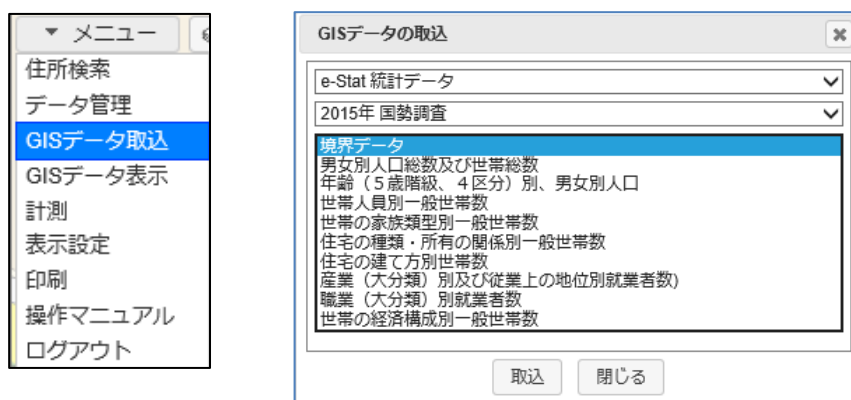
国、自治体が公開しているGISデータを取り込み、表示可能です。
取り込んだデータは、保存可能です。「16 GISデータの表示」も参照願います。

- ・e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データ
<https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?type=1>
- ・国土数値情報ダウンロードサービス
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>
用途地域データ、小学校区データ（2022/06/22 現在）
- ・自治体所有のオープンデータ（オプション）

15-1 e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データ

e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データを取り込み、小地域（町丁・字等別）ポリゴンレイヤとして取り込みます。

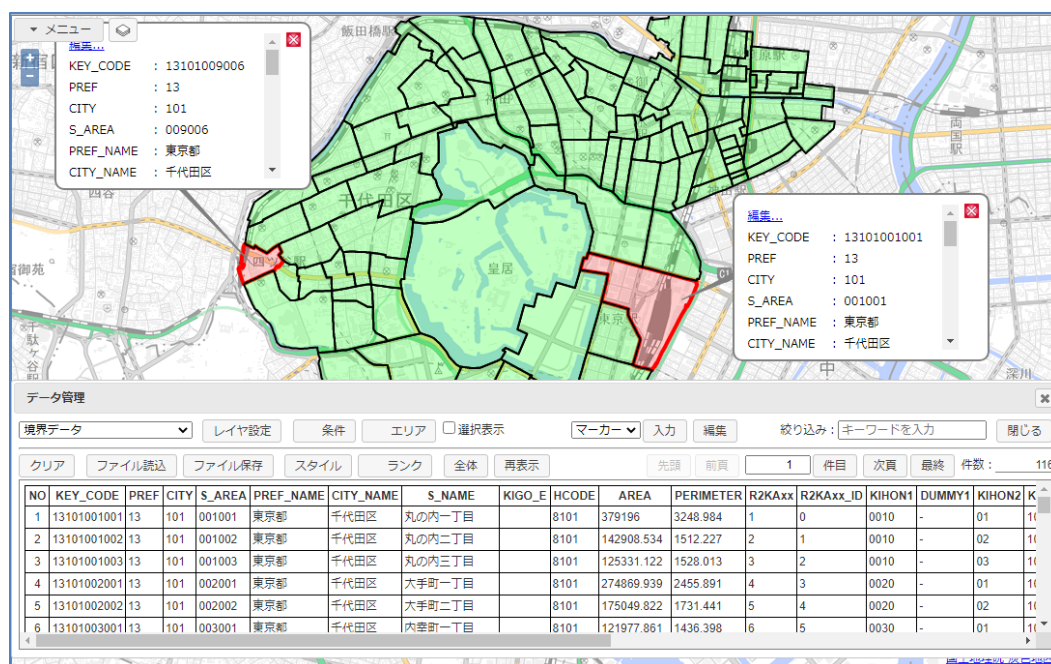
「メニュー」「GISデータ取込」で、GISデータ取込ウィンドウを表示します。



統計年度（2020/07/01 現在、2015年度のみ）、統計データ種別 を選択し、「取込」ボタンのクリックで、現在表示中の市区町村の統計データが取り込まれ、ファイル取込ウィンドウが表示されます。



統計情報は、小地域（町丁・字等）単位のポリゴンデータなので、ここで面のスタイルを選択し「OK」のボタンクリックで、統計情報がレイヤとして表示されます。



上図は、東京都千代田区の境界データ（各小地域の基本データ、人口、世帯数等）を取り込んだ状態です。

[「17 ランク表示」](#)を使用して統計データを人口別に色塗りするとより効果的です。

統計情報と各自治体で保有している情報を重ねることにより、各種分析が可能となります。

例えば、

- ・人口データと避難所データを重ねて、避難所の増設、補てんの検討を行う。
- ・0～4歳人口データと保育園、幼稚園のデータを重ねて、待機児童問題の検討を行う。
- ・高齢者人口と高齢者用施設のデータを重ねて、高齢者対応の検討を行う。

と言ったことが簡単に行えます。

15-2 国土数値情報ダウンロードサービス

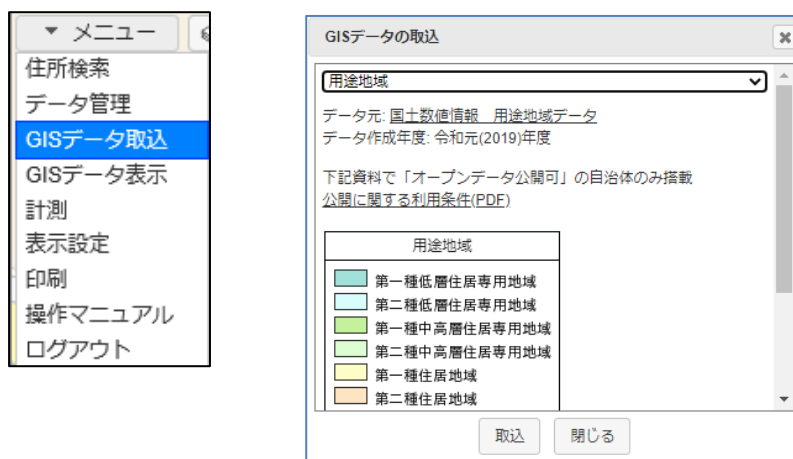
国土数値情報の下記データを、ポリゴンレイヤとして取り込みます。(2022/06/20 現在)

用途地域

- ・国土数値情報ダウンロードサービス

<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

「メニュー」「GIS データ取込」で、GIS データ取込ウィンドウを表示します。
例えば、「用途地域」を選択。



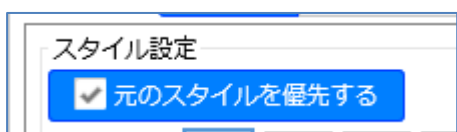
「取込」ボタンのクリックで、現在表示中の市区町村周辺の用途地域データが取り込まれ、ファイル取込ウィンドウが表示されます。

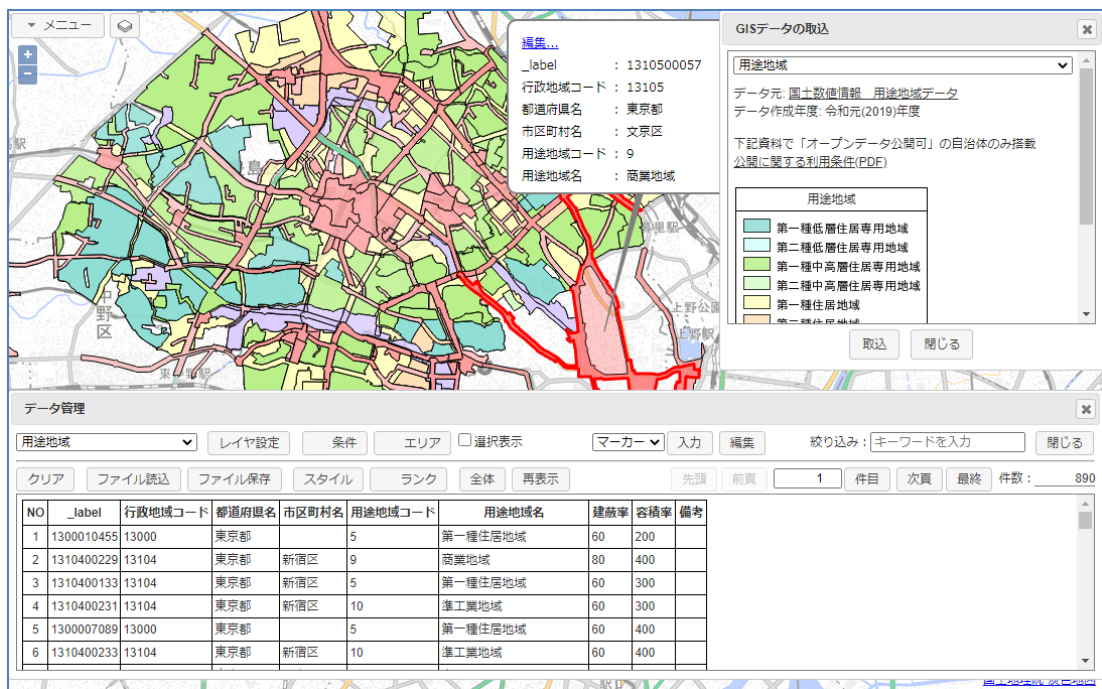


国土数値情報は、予めそれぞれのデータの区分によって色塗りされています。

(ファイル取込ウィンドウの凡例参照)

「スタイル設定」で、「元のスタイルを優先する」チェックボックスを ON で取り込むと、元の色塗りで取り込まれます。





上図は、ある自治体の用途地域データを取り込んだ状態です。

注意！

実際には対象自治体の外周ポリゴン、およびそこから1Km 外側のポリゴンにかかるデータを取り込みます。

そのため、周辺の自治体のデータを一緒に取り込むことがあります。

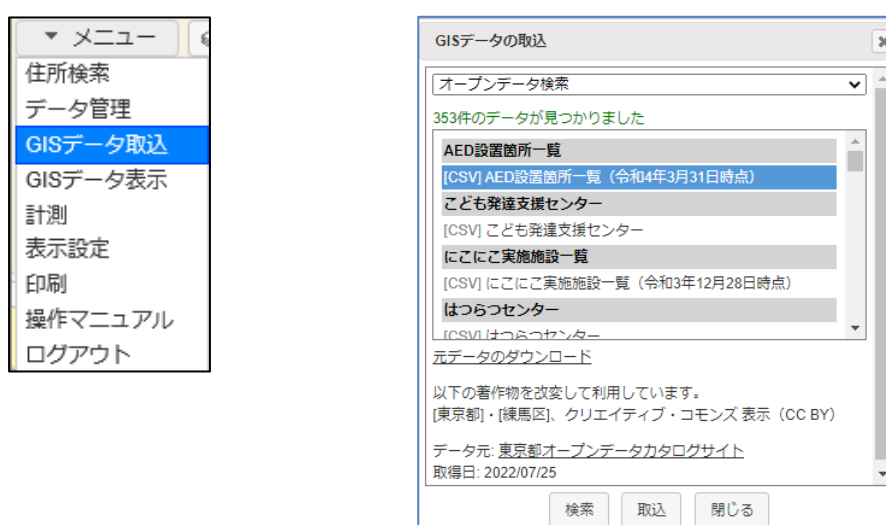
全てのデータに「行政地域コード（自治体コード）」項目が存在するとは限らないのでエリアによって絞り込んでいます。

15-3 自治体所有のオープンデータ（オプション）

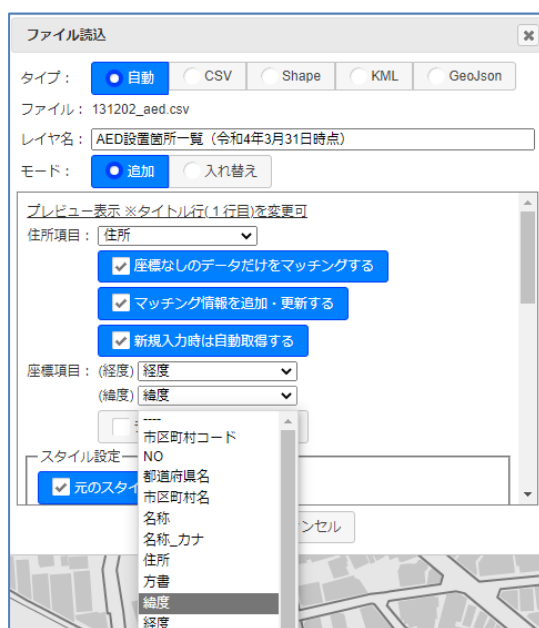
自治体が所有、公開しているオープンデータをレイヤとして取り込みます。
自治体向けのオプション機能となります。

「メニュー」「GIS データ取込」で、GIS データ取込ウィンドウを表示します。
現在地図表示中の場所の自治体オープンデータが存在する場合は、「オープンデータ検索」メニューが追加されています。
ここで、「オープンデータ検索」を選択。

東京都練馬区の地図を表示中の場合、練馬区のオープンデータ一覧が表示されます。
自治体により表示される一覧は異なります。
件数が多い場合は選択リストが表示されます。



例えば、“(CSV) AED 設置箇所一覧”を選択して、「取込」ボタンのクリックで、練馬区のオープンデータ（AED 設置箇所）が取り込まれ、ファイル取込ウィンドウが表示されます。

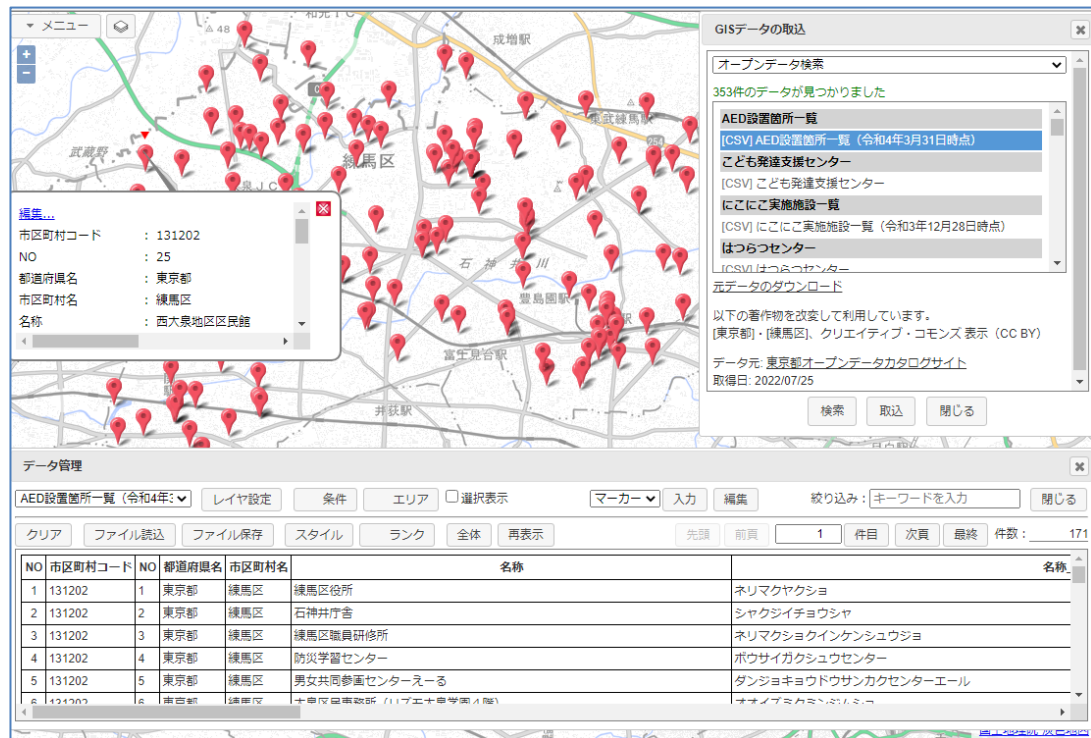


“住所”項目もありますが、“緯度”、“経度”が存在しますので、その項目を選択します。

CSV データを事前に確認したい場合は、「元のデータのダウンロード」
「プレビュー表示」で確認可能です。

住所も緯度経度も持たない CSV データは地図表示できません。

「OK」 ボタンのクリックで、練馬区の AED 設置個所がレイヤとして取り込まれます。



注意：サンプルオープンデータ

2022/07/13 時点で、サンプルとして下記のオープンデータ (CSV、エクセル、GeoJSON、KML、shape) を取り込み可能としています。

また、ワード、PDF、HTML は取り込みはできませんが、ダウンロード可能としています。

- ・北海道オープンデータプラットフォーム
- ・埼玉県オープンデータカタログサイト
- ・東京都オープンデータカタログサイト
- ・岐阜県オープンデータカタログサイト
- ・ふじのくにオープンデータカタログ
- ・広島広域都市圏・広島県オープンデータポータルサイト
- ・山口県オープンデータカタログサイト
- ・BODIK オープンデータカタログサイト
- ・BODIK オープンデータモニター

今後の更新は不定です。

自治体固有のオープンデータを取り込み可能としたい場合は、オプション購入をお願い致します。

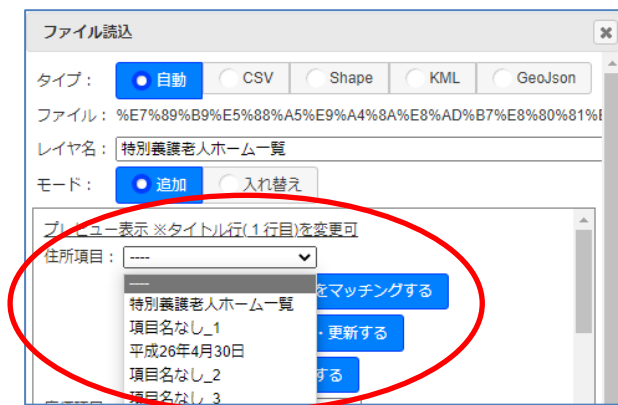
15-3-1 プレビュー表示機能

CSVデータで公開されているデータの中には、CSVの先頭に例えばタイトルのようなものが入っており、そのままでは取り込みにくいものもあります。

たとえば、某市の特別養護老人ホームデータ。

取り込もうとすると、下図のような項目名となります。

システムでは、1行目をタイトルと仮定して取り込みます。が、項目名が抜けている場合もあります。その場合、自動で“項目名なし_{連番}”の項目名を付加します。



「プレビュー表示」をすると、CSVの先頭20行をテーブル形式で表示し、データの中身を確認することができます。

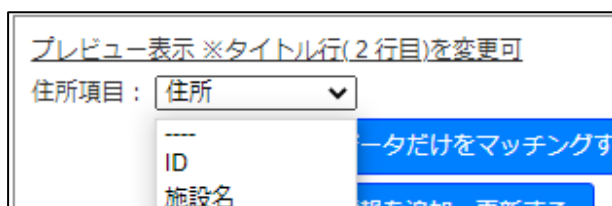
プレビュー(特別養護老人ホーム一覧 (1))

ID	施設名	設置(運営)主体	認可年月日	定員	入所者数	郵便番号	住所	緯度
1	大神子園	(福) すだち会	S52.5.1	60	59	770-8012	徳島市大原町大神子19	34.0
2	仙寿園	(福) 白寿会	S54.3.31	80	80	770-0861	徳島市住吉四丁目12-10	34.0
3	青葉荘	(福) 青陽会	S56.6.20	50	48	771-4265	徳島市飯谷町上里42-1	33.9
4	青香園	(福) 青香福祉会	S56.7.1	50	49	771-0134	徳島市川内町平石住吉183	34.0
5	やまもも荘	(福) 光風会	S63.4.1	70	73	779-3131	徳島市下町本丁59-19	34.0
6	ピア	(福) 歌老福祉会	H8.4.1	50	49	770-8070	徳島市八万町大野5-5	34.0
7	かもな園	(福) さわらび会	H10.3.31	50	50	770-0047	徳島市名東町二丁目454	34.0
8	健祥会 モルダウ	(福) 健祥会	H13.4.1	50	50	771-1151	徳島市応神町古川字北36	34.0
9	ヴィラ勝占	(福) 平成記念会	H14.7.29	50	50	770-8023	徳島市勝占町松成43-1	34.0
10	ライム	(福) カリヨン	H20.2.12	45	45	779-3124	徳島市国府町中宇松ノ本28-1	34.0
11	なつめ荘	(福) すだち会	H20.12.17	30	29	770-8007	徳島市新浜本町一丁目7-70	34.0
12	鳴光荘	(福) 緑会	S54.5.1	70	70	772-0052	鳴門市鳴門町三ツ石字江尻山85	34.0
13	春緑苑	(福) 貴洋会	S61.5.1	50	50	772-0017	鳴門市撫養町立岩字五枚146	34.0
14	おおあさ苑	(福) 緑樹会	H7.4.1	50	50	779-0225	鳴門市大浜町松字東山田57-10	34.0
15	おおつ苑	(福) 緑樹会	H17.8.19	50	50	772-0041	鳴門市大津町大代字戒野472	34.0

OK キャンセル

これを見ると、2行目をタイトルとして取り込んだほうが良さそうですね。

プレビュー画面上で2行目を選択すると、下図のようにタイトル行が2行目となり、うまく取り込めます。



15-4 法務省登記所備付地図データ（筆）

令和5年1月23日より、全国の登記所備付地図の電子データがG空間情報センターを通じて無償で一般公開されました。

<https://front.geospatial.jp/houmu-chise>

公開された筆データは、日本全国で約2億4千万筆。

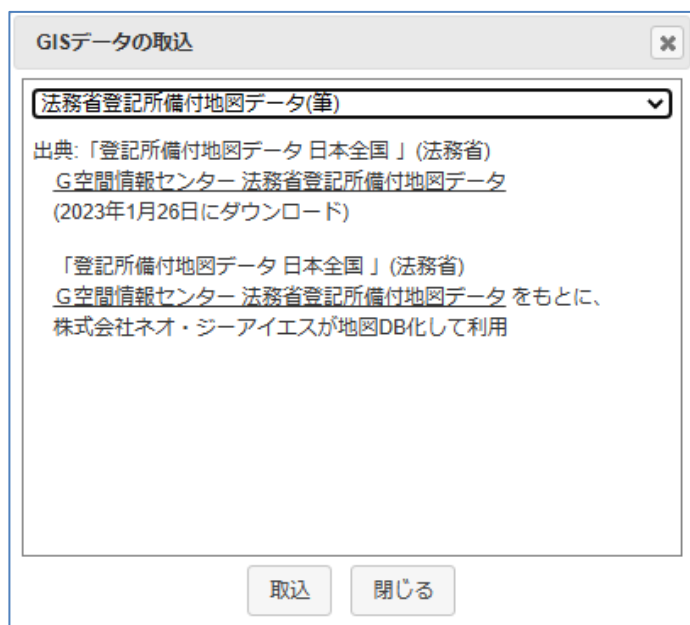
- ・平面直角座標（地図に重なる）のものが約1億1千万筆。
- ・任意座標（地図に重ならない）のものが約1億3千万筆。

この筆データをレイヤとして取り込みます。

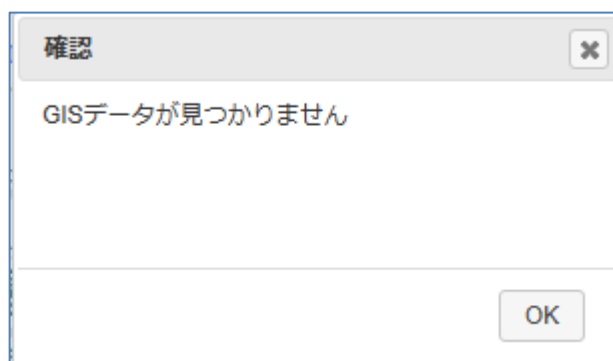
取り込めるのは、地図に重なる平面直角座標の筆のみとなります。

「メニュー」「GIS データ取込」で、GIS データ取込ウィンドウを表示します。

「法務省登記所備付地図データ（筆）」メニューを選択します。



「取込」ボタンのクリックで、取り込みが開始されますが、表示中の地点に平面直角座標の筆が存在しない場合は、下記メッセージが表示され、取り込みは行われません。



筆が存在する場合は、表示中心から MAX1000 件までの筆が取り込まれ、ファイル取込ウィンドウが表示されます。

筆データはポリゴンデータなので、ここで面のスタイルを選択し「OK」のボタンクリックで、筆がレイヤとして表示されます。

The screenshot illustrates the process of loading polygon data (筆データ) into the GIS software. It is divided into three main parts:

- File Loading Dialog (ファイル読込):** This dialog shows the file type set to '自動' (Automatic), the file name as 'doc.kml', and the layer name as '法務省登記所備付地図データ(筆)'. The 'モード' (Mode) is set to '追加' (Add). Under 'スタイル設定' (Style Setting), the option '元のスタイルを優先する' (Prioritize original style) is checked. A grid of style options for markers, lines, and polygons is visible. The 'OK' button is highlighted with a red arrow pointing to the confirmation dialog.
- Confirmation Dialog (確認):** A small dialog box stating '645件のデータを読み込みました' (Loaded 645 pieces of data) with an 'OK' button.
- Main Map Interface:** The map shows a street grid with a blue polygon overlay. Labels for '区立西ヶ原小学校' (District立西ヶ原小学校) and '高等学校' (High School) are visible. A 'GISデータの取込' (GIS Data Loading) dialog is open on the right, showing the source of the data: '法務省登記所備付地図データ(筆)' and '出典: 「登記所備付地図データ 日本全国」(法務省) G空間情報センター 法務省登記所備付地図データ (2023年1月26日にダウンロード)'. Below this, it mentions the data is from the '登記所備付地図データ 日本全国' (法務省) and is provided by '株式会社ネオ・ジオアイエス' (Neo Geo Aies Co., Ltd.). The '取込' (Load) button is highlighted with a red arrow.
- Data Management Panel (データ管理):** At the bottom, this panel shows the loaded data as a table. It includes buttons for 'レイヤ設定' (Layer Setting), '条件' (Condition), 'エリア' (Area), '選択表示' (Select Display), 'マーカー' (Marker), '入力' (Input), '編集' (Edit), and '絞り込み: キーワードを入力' (Filter: Enter keyword). The table has columns for NO, _label, 都道府県 (Prefecture), 市区町村 (City/Town/Village), 大字コード (Major Code), 丁目コード (Chomei Code), 小字コード (Kochi Code), 予備コード (Reserve Code), 大字名 (Major Name), 丁目名 (Chomei Name), 小字名 (Kochi Name), 予備名 (Reserve Name), 地番 (Lot Number), 精度区分 (Precision Division), 座標値種別 (Coordinate Value Type), 平面直角座標系 (Plane Rectangular Coordinate System), and 四隣label (Four Neighbors Label).

筆データは、「[5.0 画地計測 \(オプション\)](#)」でも可能です。

1 6 G I Sデータの表示

国が公開しているG I Sデータを表示可能です。

この機能は、「[1 5 G I Sデータの取り込み](#)」と違い、表示するのみで、保存はできません。

「[1 5-2 国土数値情報ダウンロードサービス](#)」のデータは、自治体によっては膨大なデータ量となり取り込みに非常に時間が掛かり、処理も重くなります。

これを回避するため、サーバで表示画像を作成し、出来上がった画像を表示するのみの軽い機能を追加しました。

データを保存する必要はなく、表示確認のみで良い場合は、こちらの使用をお勧めします。

「[1 5 G I Sデータの取り込み](#)」と違い、表示するのみです。

「[1 5 G I Sデータの取り込み](#)」は、表示中心の自治体分のデータのみが取り込まれます。G I Sデータ表示は、自治体の制限はありません。表示域すべてが表示されます。

1 6-1 国土数値情報ダウンロードサービス

国土数値情報の下記データを表示します。(2022/06/20 現在)

用途地域

小学校区

- ・国土数値情報ダウンロードサービス

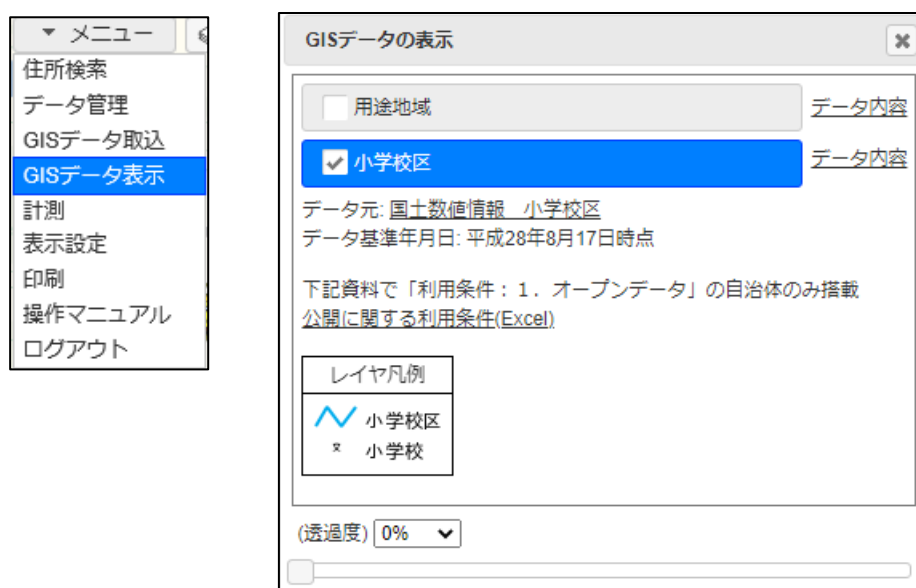
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

「メニュー」「GIS データ表示」で、GIS データ表示ウィンドウを表示します。

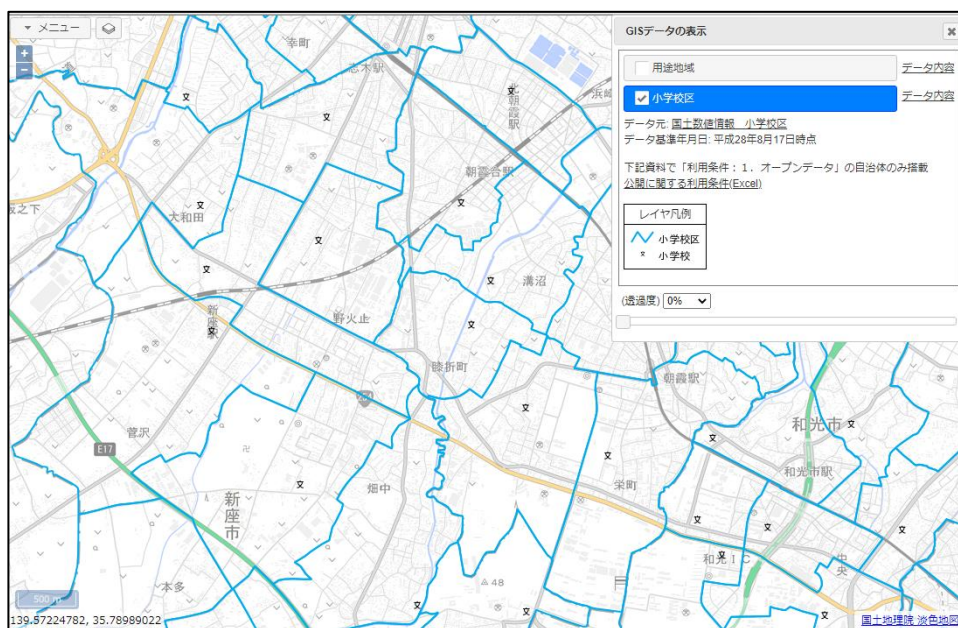
GIS データの表示では、各データを複数選択可能です。

複数選択された場合は、重ねて表示されます。

「データ内容」をクリックすると、そのデータの説明が表示されます。



例えば、“小学校区”を選択。



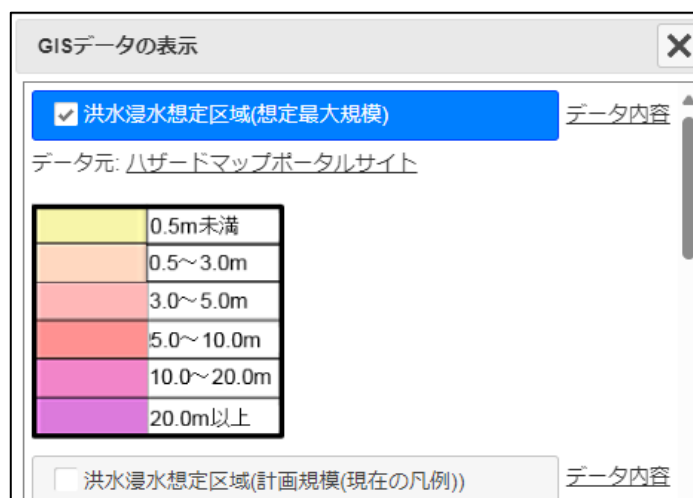
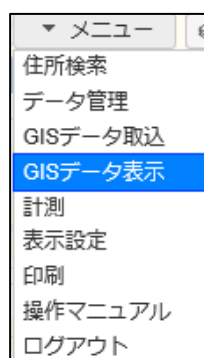
16-2 ハザードマップの表示

ハザードマップポータルサイト

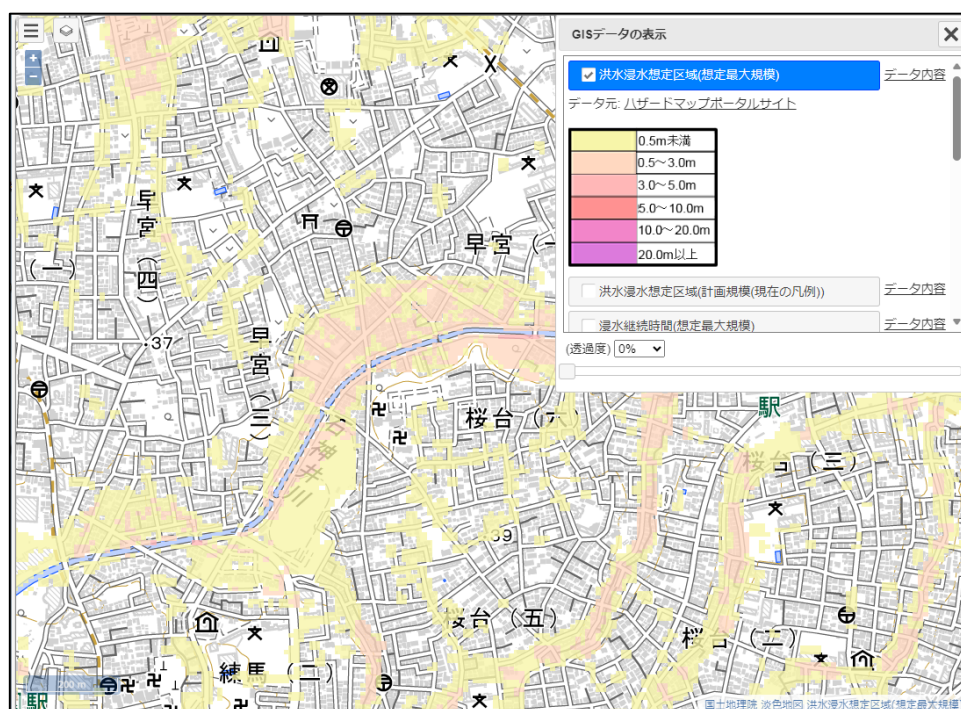
<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmapportal/hazardmap/copyright/opendata.html>
より、
各種ハザードマップデータがオープンデータ配信されています。(2024/02/06 現在)

このハザードマップの表示も可能です。

「メニュー」「GIS データ表示」で、GIS データ表示ウィンドウを表示します。
GIS データの表示では、各データを複数選択可能です。
複数選択された場合は、重ねて表示されます。
「データ内容」をクリックすると、そのデータの説明が表示されます。



例えば、“洪水浸水想定区域（想定最大規模）” を選択。



表示可能なハザードマップは以下です。

洪水

洪水浸水想定区域（想定最大規模）
洪水浸水想定区域（計画規模（現在の凡例））
浸水継続時間（想定最大規模）
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

内水（雨水出水）

内水（雨水出水）浸水想定区域

高潮

高潮浸水想定区域

津波

津波浸水想定

土砂災害

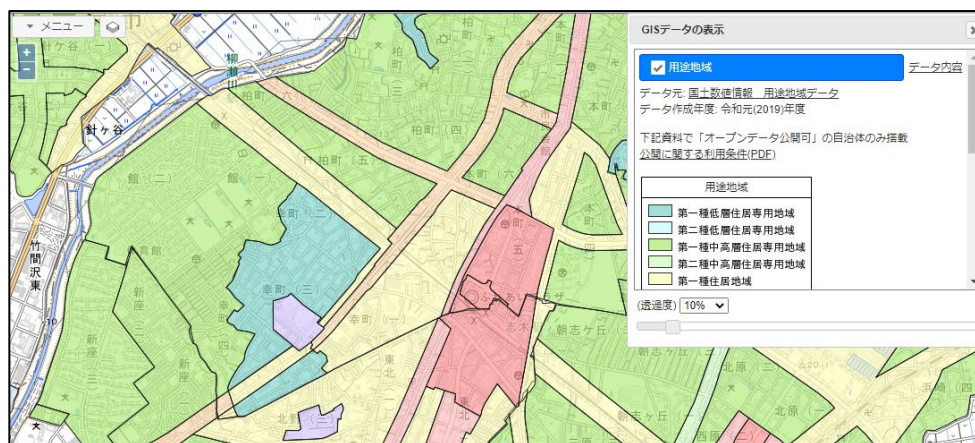
土砂災害警戒区域（土石流）
土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）
土砂災害警戒区域（地すべり）
土石流危険渓流
急傾斜地崩壊危険箇所
地すべり危険箇所

16-3 透過度の調整

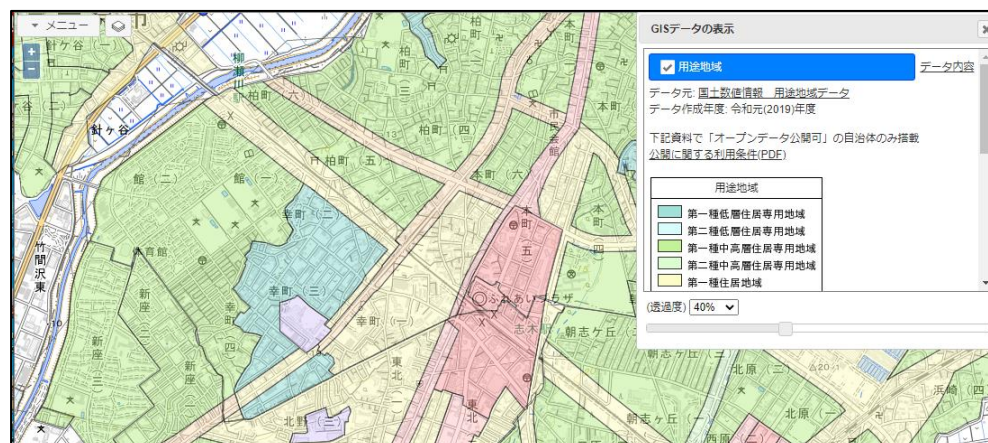
GISデータは予め設定された透過度で表示されますが、主題、背景地図が見えにくい場合は、透過度を調整可能です。

透過度の調整は、各データ単位ではなく、全体での設定となります。
0%、10%。。。100%の選択か、スライダーで設定します。

透過度0



透過度50%



17 ランク表示

データの値により、地図上の点、線、面の表示色を変える機能（本システムでは「ランク表示」と呼びます）です。

[「7-8 スタイル変更」](#)により個別、または条件にマッチしたデータのマーカー、色を変更することも可能ですが、この機能では、予めランク（条件）ごとの色を設定し、その設定に従って一括で色を変更します。

この機能では、点データはマーカーではなく、固定サイズの色付きの円で表示されます。また、線のデータは実線で表示されます。破線表示はできません。

ランク外のデータに関しては、点、線データは表示されませんので注意が必要です。ただし、面のデータは外周線（枠）表示の設定を行えば、色塗りなしの枠のみで表示されます。

ランク表示後、データを KML データ、GeoJSON データで保存した場合は、ランク設定も保存され、次回読み込んだときに、ランク表示が再現されます。ただし、CSV データで保存した場合は、ランク設定は保存されません。

17-1 点データのランク表示

サンプルデータとして、デモサイトにある室蘭市のオープンデータである避難場所（hinan_20140523.csv）を使用します。

まずは、hinan_20140523.csv を読み込み、表示します。
データ管理ウィンドウの「ランク」ボタンをクリックし、ランク表示ウィンドウを起動します。



点設定：半径 円の半径を指定します。単位：ピクセル
透過度 円の透過度を指定します。単位：パーセント

ランク設定： ランクを設定する項目を指定します。
数値： 値を数値として比較します。
 値に文字がある場合は、この設定は無視されます。
凡例数： 自動設定する凡例数を指定します。（1～300）

例えば、「屋内屋外」項目を選択すると、自動的に次ページのようなランクが作成されます。
「屋内屋外」項目は、値が“屋内”、“屋外”のみなので、2ランクが作成されています。

ランク表示

点設定： (半径) pixel (透過度) %

線設定： (線幅) pixel (透過度) %

面設定： (透過度) %

☒ 外周線 (線幅) pixel (線透過度) %

ランク設定： ☒ 数値 凡例数(1~300)：

ON	≦	【文字】	≦	色	追加・削除
<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="text" value="屋内"/>	<input type="text" value="屋内"/>		<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="text" value="屋外"/>	<input type="text" value="屋外"/>		<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

ON チェックボックス： そのランクの表示 ON/OFF を切り替え可能です。

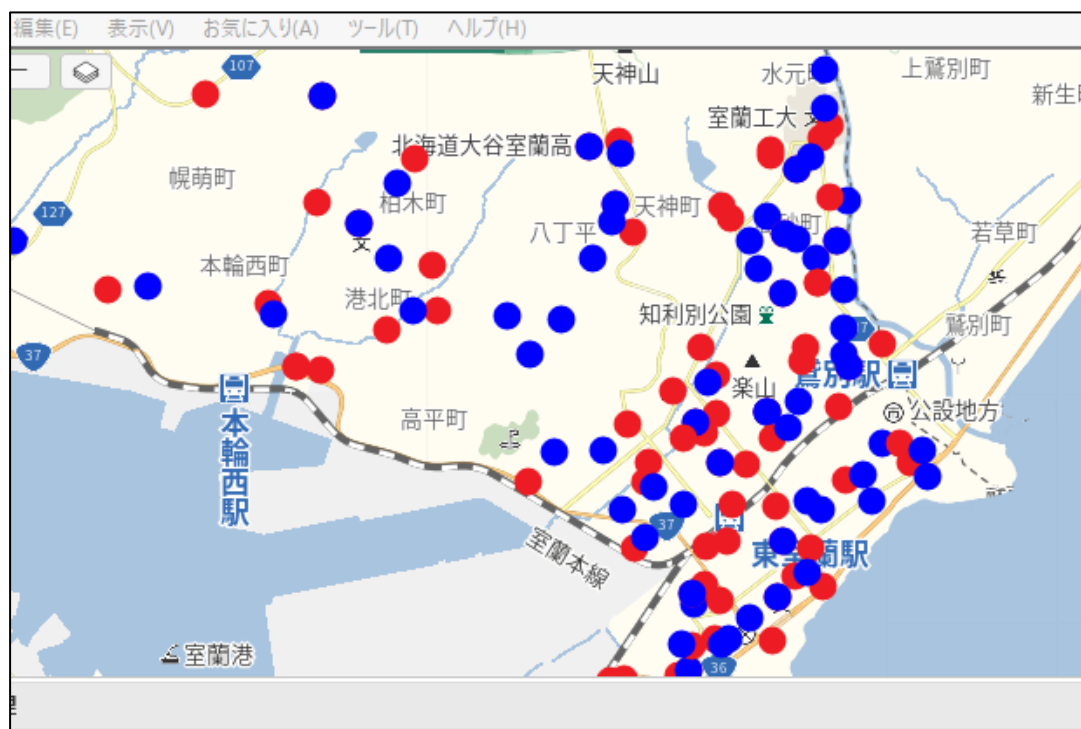
ランク (文字)： ランク値の変更も可能です。

追加・削除	
<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>

ランクの追加／削除も可能です。

色： 色の変更も可能です。

「適用」ボタンのクリックで、データ値によりスタイルに上記設定が反映され、下図のような図面が表示されます。



ランク表示では、点データはマーカーではなく、固定サイズの色付きの円で表示されます。

「キャンセル」ボタンのクリックで、ランク表示が解除され、デフォルトのマーカー（赤マーカー）表示に戻ります。

17-2 線データのランク表示

サンプルデータとして、デモサイトに準備はしていませんが、室蘭市のオープンデータである道路台帳 shape (dorodaicyouzu.shp) を使用します。

まずは、dorodaicyouzu.shp を読み込み、表示します。
データ管理ウィンドウの「ランク」ボタンをクリックし、ランク表示ウィンドウを起動します。



線設定： 線幅 線の太さを指定します。単位：ピクセル
透過度 線の透過度を指定します。単位：パーセント

ランク設定： ランクを設定する項目を指定します。
数値： 値を数値として比較します。
値に文字がある場合は、この設定は無視されます。
凡例数： 自動設定する凡例数を指定します。(1～300)

例えば、「OBJECTID」項目を選択すると、自動的に下図のようなランクが作成されます。
「OBJECTID」項目は、値が数値のみなので、数値と認識され、MAX 値を8等分してランクが作成されています。

ランク表示

点設定： (半径) 8 pixel (透過度) 0 %

線設定： (線幅) 3 pixel (透過度) 0 %

面設定： (透過度) 50 %

☒ 外周線 (線幅) 1 pixel (線透過度) 0 %

ランク設定： OBJECTID

☒ 数値 凡例数(1~300): 8

ON	≦	[数値]	<	色	追加・削除
<input checked="" type="checkbox"/>	4185				+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	3933	4185			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	3681	3933			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	3429	3681			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	3177	3429			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	2925	3177			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>	2673	2925			+ -
<input checked="" type="checkbox"/>		2673			+ -

適用

キャンセル

閉じる

ON チェックボックス： そのランクの表示 ON/OFF を切り替え可能です。

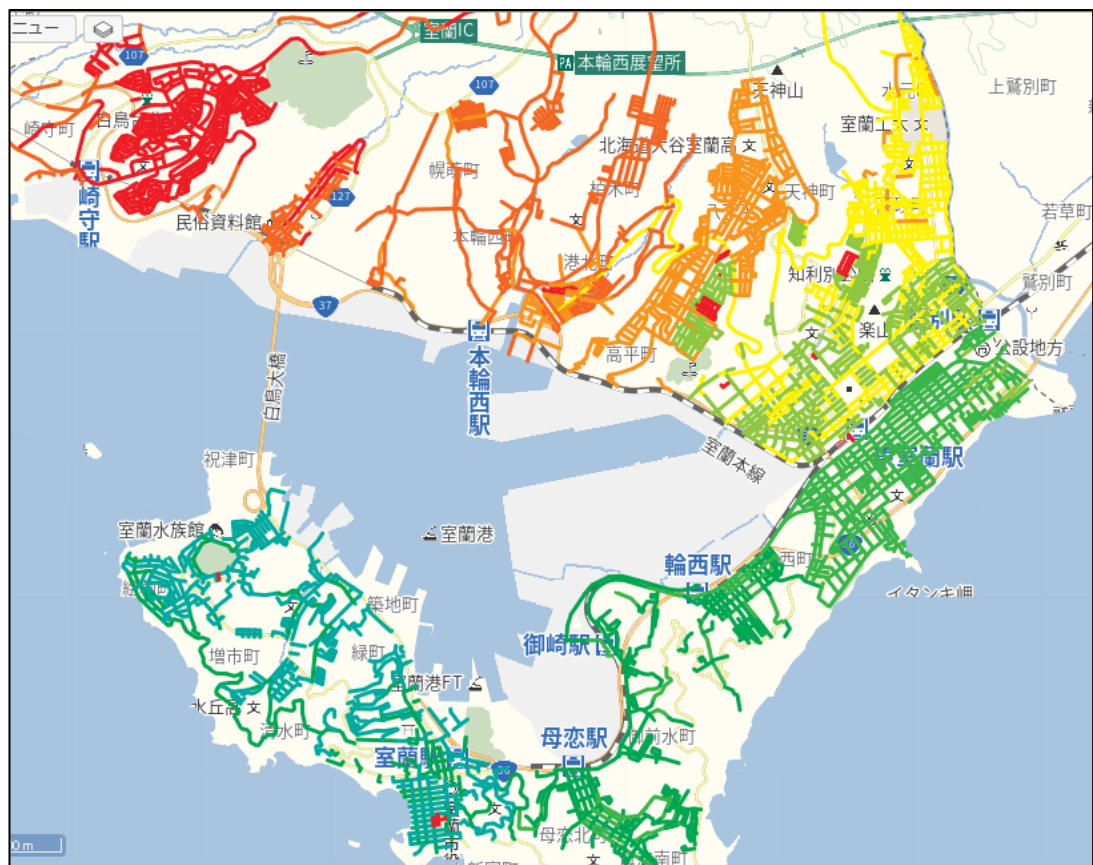
ランク（数値）： ランク値の変更も可能です。

色： 色の変更も可能です。

追加・削除	
+	-

ランクの追加／削除も可能です。

OK ボタンのクリックで、データ値によりスタイルに上記設定が反映され、下図のような図面が表示されます。



ランク表示では、線のデータは実線で表示されます。破線表示はできません。

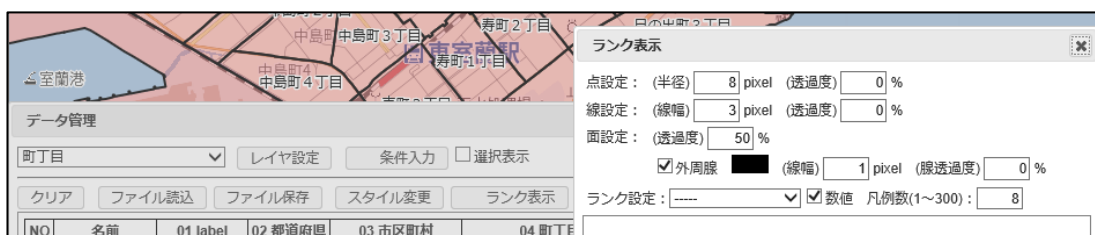
「キャンセル」ボタンのクリックで、ランク表示が解除され、デフォルトのライン（赤実践）表示に戻ります。

17-3 面データのランク表示

サンプルデータとして、デモサイトにある国土数値情報を加工した室蘭市町丁目 (muroran_chou.kml) を使用します。

まずは、muroran_chou.kml を読み込み、表示します。
このデータは元々色設定してあるので、ランク表示を分かりやすくするため、「元のスタイルを優先する」チェックボックス **OFF** で読み込みます。

データ管理ウィンドウの「ランク」ボタンをクリックし、ランク表示ウィンドウを起動します。

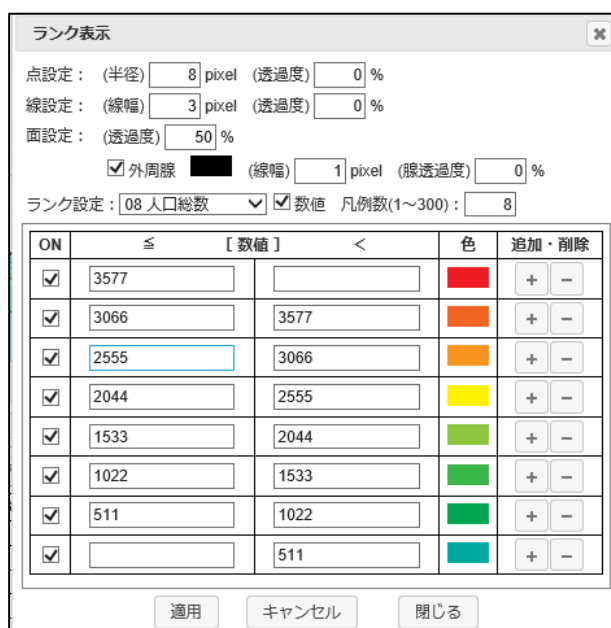


面設定：透過度 面塗りの透過度を指定します。単位：パーセント

外周線： 外周線（枠）を表示するかどうかを指定します。
線幅 線の太さを指定します。単位：ピクセル
線透過度 線の透過度を指定します。単位：パーセント

ランク設定： ランクを設定する項目を指定します。
数値： 値を数値として比較します。
値に文字がある場合は、この設定は無視されます。
凡例数： 自動設定する凡例数を指定します。（1～300）

例えば、「08 人口総数」項目を選択すると、自動的に下図のようなランクが作成されます。
「08 人口総数」項目は、値が数値のみなので、数値と認識され、MAX 値を8等分してランクが作成されています。



ON チェックボックス： そのランクの表示 ON/OFF を切り替え可能です。

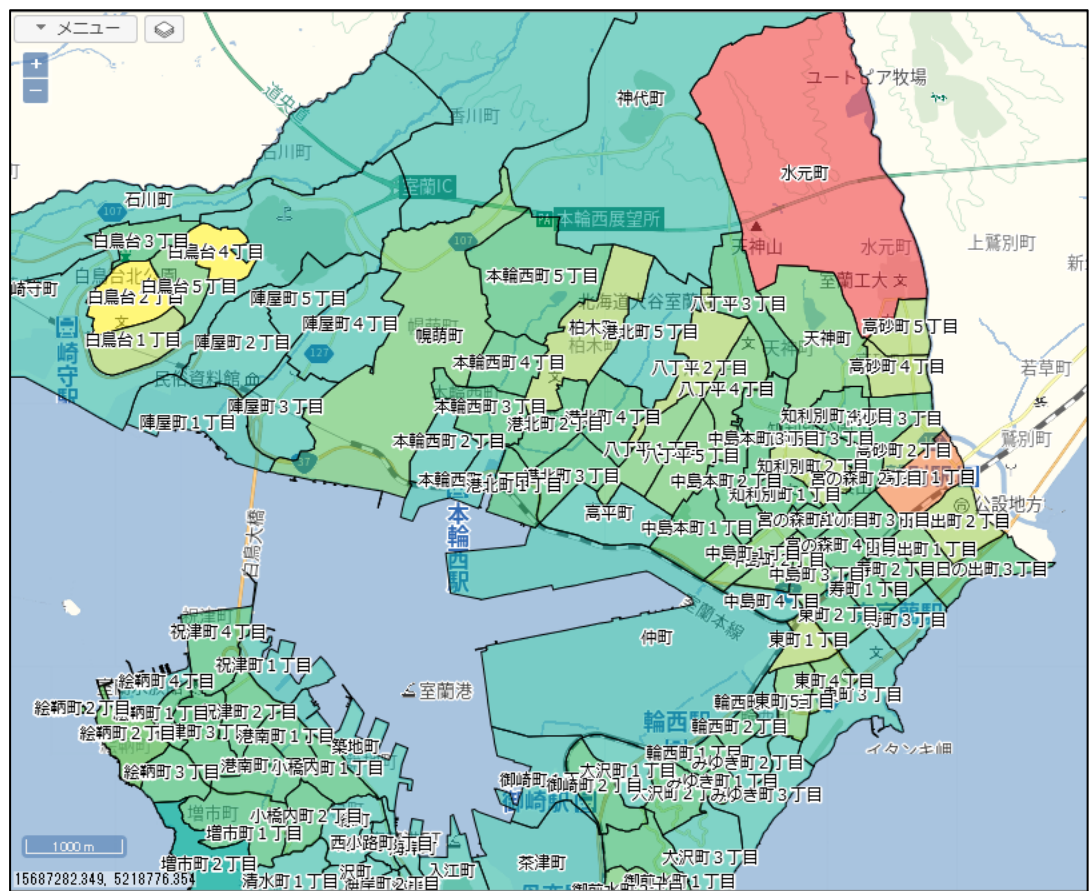
ランク（数値）： ランク値の変更も可能です。

色： 色の変更も可能です。

追加・削除	
+	-

ランクの追加／削除も可能です。

OK ボタンのクリックで、データ値によりスタイルに上記設定が反映され、下図のような図面が表示されます。




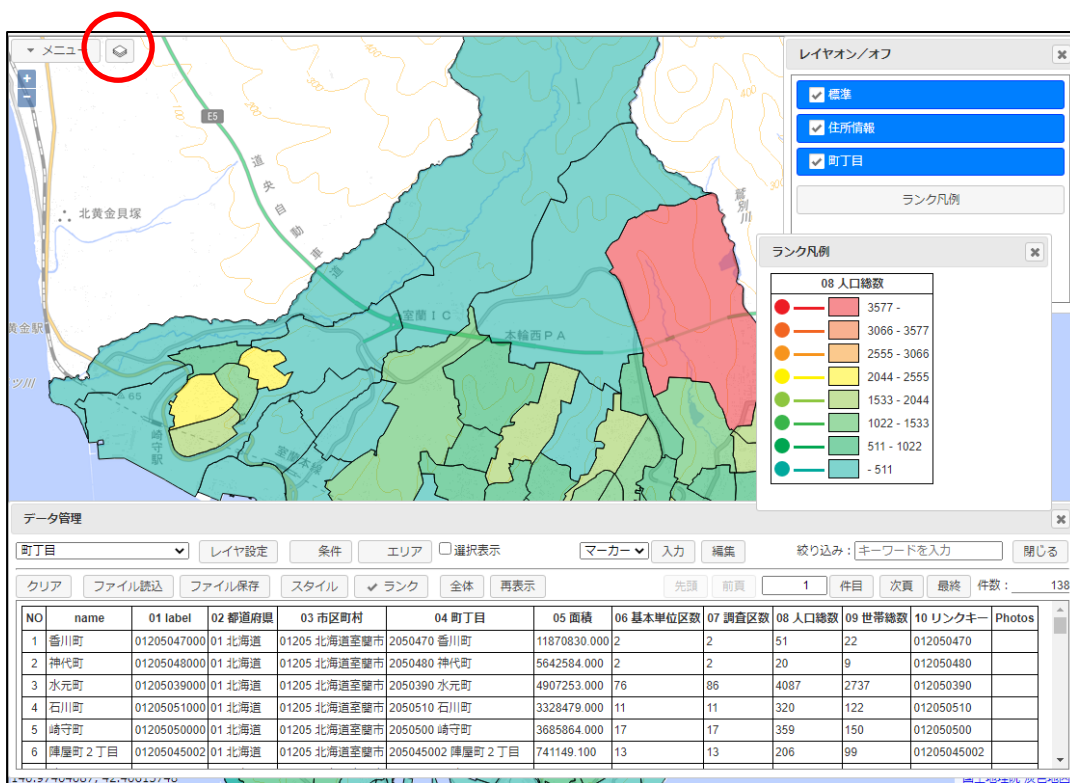
「キャンセル」ボタンのクリックで、ランク表示が解除され、デフォルトのポリゴン（赤塗り黒枠）表示に戻ります。

17-4 ランク凡例

ランク表示した場合は、ランクの凡例も表示可能です。

「17-3 面データのランク表示」の凡例は、下図のようになります。

レイヤ ON/OFF ボタン  をクリックし、レイヤオン/オフウィンドウを表示すると、凡例がある場合は、「ランク凡例」ボタンが追加されています。そのボタンクリックで、ランク凡例ウィンドウが表示されます。



注意: KML データは、KML 内に描画方法がデータと一緒に保存されている場合があります。これは KML の仕様です。
 この場合も、「セキュア GIS」はその描画方法を再現します。
 ただし、この場合は凡例は表示されません。この凡例は本サービスの独自仕様です。

1 8 モバイル版

「セキュア GIS」は、モバイル（タブレット、スマホ）でも稼働します。

PC版でデータを切り出し、モバイルに取り込んで現地確認をすとか、現地の情報をモバイル版で入力する等、屋外での利用にご利用下さい。

スマホではモバイル版の使用となりますが、画面サイズの大きいタブレットでは、PC版をそのまま使用する事も可能です。

1 8 - 1 モバイル版の機能

モバイル版で利用できる機能は以下となります。

PC版と若干の違いがあります。

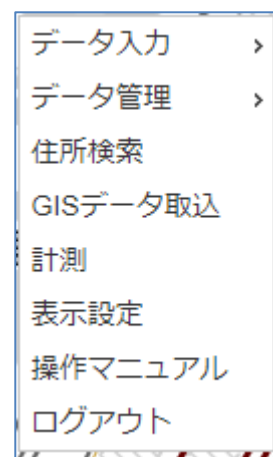
- ・データ入力： マーカー、線、面のみ。
矩形、円、楕円はなし。
- ・データ管理（ファイル読込、ファイル保存、レイヤ削除）：
保存は KML データのみ。

以下はPC版と同じです

- ・住所検索
- ・計測
- ・表示設定

以下の機能はありません。

- ・印刷、分割印刷
- ・GISデータの表示
- ・ランク表示（設定済みの KML、GeoJSON の読み込みは可能）

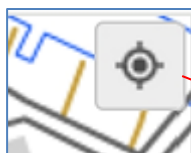


モバイル版の専用機能

- ・GPSによる地図表示

1 8 - 2 GPSによる地図表示

モバイル版では、タブレット、スマホのGPS機能により、地図を表示可能です。



上図のGPSボタンのタップで
端末のGPS機能で取得した位置に
地図が移動します。



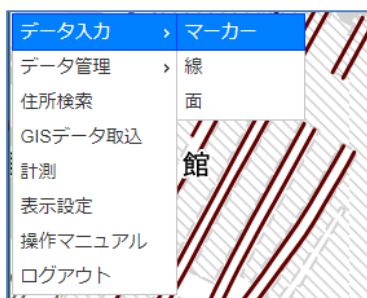
18-3 データ入力

モバイル版では、マーカー、線、面の入力が可能です。矩形、円、楕円の入力はできません。

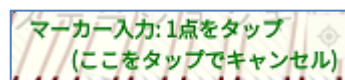
入力方法は基本的にはPC版と同じです、ただし、モバイル版はマウスではなく指のタップで図形を入力します。

マーカーの場合。

「マーカー」を選択し、地図の右上に表示されるガイドに従って入力。



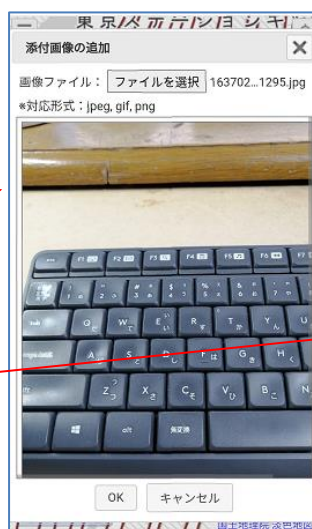
ガイド：



起動されるポップアップ上で、スタイルを選択し、各データ項目を入力し、「OK」ボタンをタップすることにより、データが登録されます。

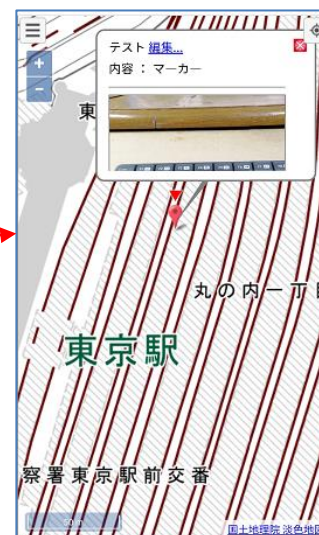


情報入力



写真撮影

登録完了



PC 版同様、写真等のイメージ画像の添付も可能です。

タブレット、スマホの場合は、端末のカメラ機能を使用して、その場で撮影した写真の添付も可能となります。

線の場合、面の場合も、マーカーの場合同様に、マウスクリックと、指でのタップの違い以外 PC 版と変わらない操作でデータ入力可能です。

18-4 データ更新、削除

モバイル版でのデータ更新は、属性情報のみの更新となります。
図形の更新はできません。

- ① 対象データをタップして、吹き出しを表示します。
- ② 編集アンカーのタップで、編集ポップアップが表示されます。



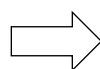
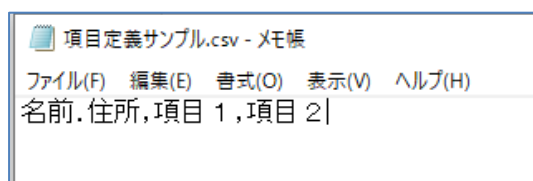
- ③ 編集ポップアップで、情報の修正、添付イメージの修正が可能です。
 - ④ 最後に、「更新」ボタンのタップで更新が反映されます。
- また
- ⑤ 「削除」ボタンのタップで、対象データが削除されます。

18-5 レイヤ設定

モバイル版では、PC版の「[11-2 レイヤ設定](#)」機能は装備しておりません。
標準では、“標準”というレイヤ名で、“名前”、“内容”の2項目となります。
また、“名前”は、種別=名前が設定されていて地図上に文字表示される項目となっています。

レイヤの項目設定をする一番簡単な方法は、予め“項目名のためのCSV”を準備して、「ファイル読入」で読み込む方法です。

例えば、メモ帳で下図のようなCSVファイルを作成して、「ファイル読入」で読み込むと、レイヤの項目がそのまま設定され、右図のような入力画面となります。



特別な項目名：

下記項目名は、特別な意味、機能を持ちます。

必要に応じて、下記項目名を使用願います。

[「11-2 レイヤ設定」](#)、[「14-2-2 Google Earth の KML との互換性」](#) も参照願います。

項目名： _____ 機能： _____

「名前」「name」 地図上のマーカー、線、面の下に文字表示される項目です。

属性＝名前 の項目

KML データでの保存時は、**name** タグで出力されます。

両項目名が存在する場合は、「**name**」が優先されます。

「description」 属性＝説明 の項目となります。

KML データでの保存時に意味がある項目です。

KML データでの保存時は、**description** タグで出力されます。

「住所」 データ入力時に自動で住所がセットされる項目です。

自動取得＝住所 の項目となります。

「緯度」「経度」 データ入力時に自動で緯度、経度がセットされる項目です。

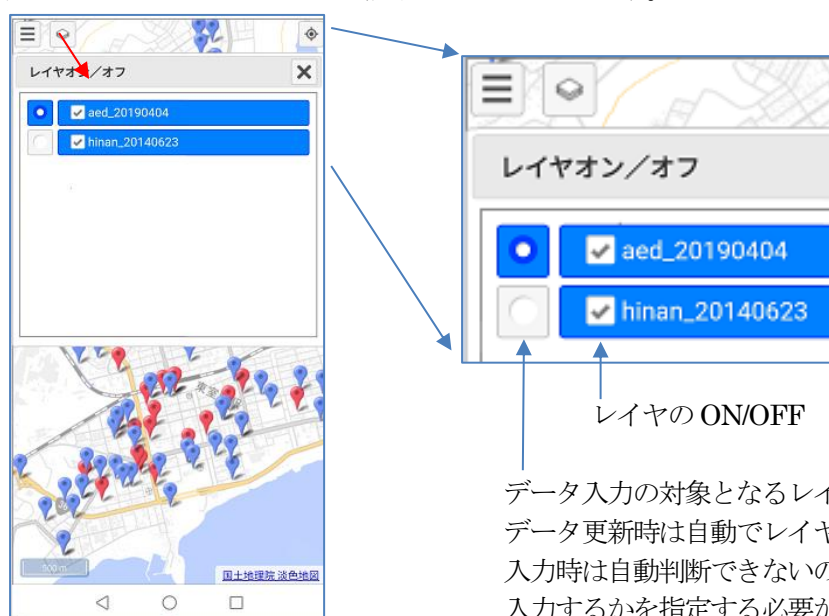
自動取得＝緯度、自動取得＝経度 の項目となります。

18-6 レイヤ管理

モバイル版では、レイヤの追加はできません。

ただし、PC 版で複数レイヤの KML、GeoJSON データを作成し、それを「ファイル読込」で読み込めば複数レイヤを扱う事が可能です。

下図は2レイヤの KML データを読み込んだサンプルです。

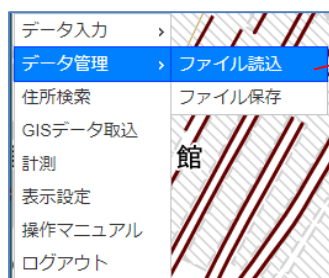


データ入力の対象となるレイヤを選択します。
データ更新時は自動でレイヤを判断できますが、
入力時は自動判断できないので、どのレイヤに
入力するかを指定する必要があります。

18-7 ファイル読み込み

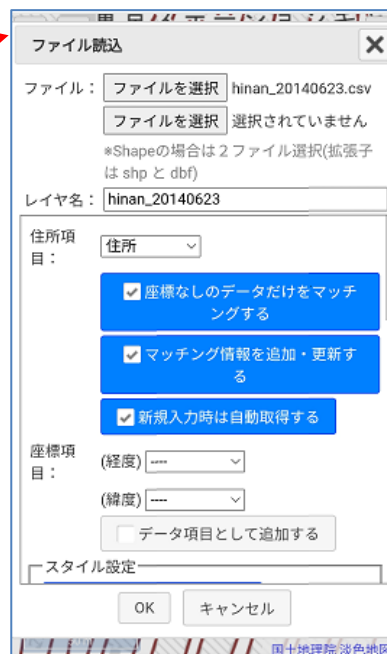
モバイル版でも、CSV、エクセル、KML、GeoJSON、shape データの読み込みが可能です。
KMZ (KML の ZIP 圧縮形式) の読み込みも可能です。
CSV、エクセルデータ読み込みでは、アドレスマッチングも可能です。

CSV データを読み込むサンプル：



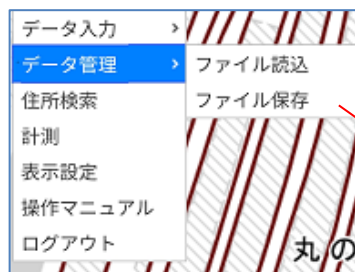
読み込み方法は、PC 版と同じです。
タイプ (CSV、KML、GeoJSON、shape) は、
拡張子で自動判断されます。
エクセルは CSV として扱われます。

他のタイプの読み込みも PC 版と同様です。
[「6 ユーザデータの地図表示」](#)を参照願います。



18-8 ファイル保存

モバイル版でのファイル保存は、KML データのみとなります。



保存方法は、PC 版と同じです。
[「14-2 KML データでの保存」](#)を参照願います。

□すべてのレイヤを保存するチェックボックス：

チェック ON の場合：

全レイヤを一つの KML ファイル
に保存します。
これを読み込んだときは、各レイヤ
も再現されます、

チェック OFF の場合：

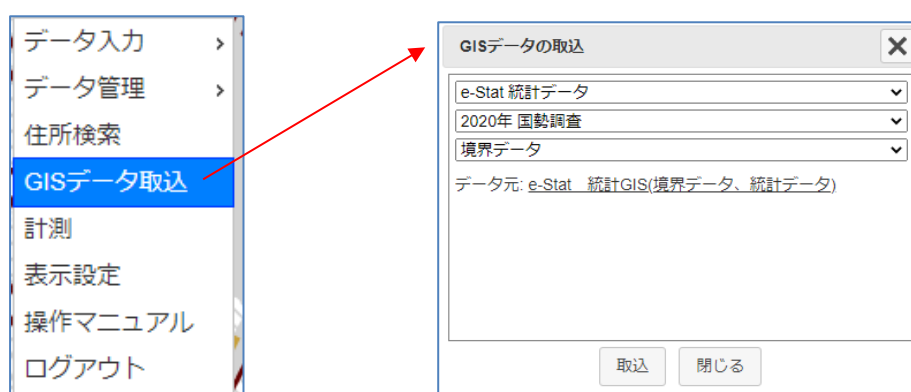
「レイヤオン/オフ」ポップアップで、データ入力対象レイヤとして選択されている
レイヤのみが KML ファイルに保存されます。



18-9 GISデータの取り込み

モバイル版でも国、自治体が公開しているGISデータを取り込み、表示可能です。
取り込んだデータは、保存可能です。

- e-Stat（政府統計の総合窓口）の国勢調査統計データ
<https://www.e-stat.go.jp/gis/statmap-search?type=1>
- 国土数値情報ダウンロードサービス
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>
用途地域データ、小学校区データ（2022/06/22 現在）
- 自治体所有のオープンデータ（オプション）



取り込み方法は、PC版と同じです。

[「15 GISデータの取り込み」](#)を参照願います。

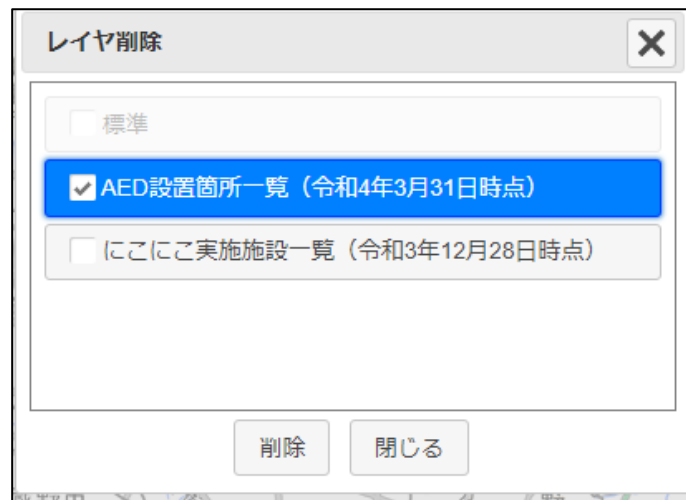
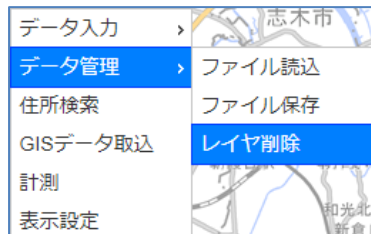
ただし、モバイル版では、取り込んだデータの一覧表示の機能はありません。

下図は、東京都台東区のオープンデータ（AED）を取り込んだサンプルです。



18-10 レイヤ削除

モバイル版では、データ管理ウィンドウ（データの一覧表示機能）が無いので、レイヤの削除機能は、メニューにあります。



削除するレイヤをチェックし、「削除」ボタンクリックで、対象レイヤが削除されます。

この時点で入力対象となっているレイヤは削除対象から外れています。（チェックできません）

18-11 その他機能

その他、住所検索、計測、表示設定は、PC版と同じです。

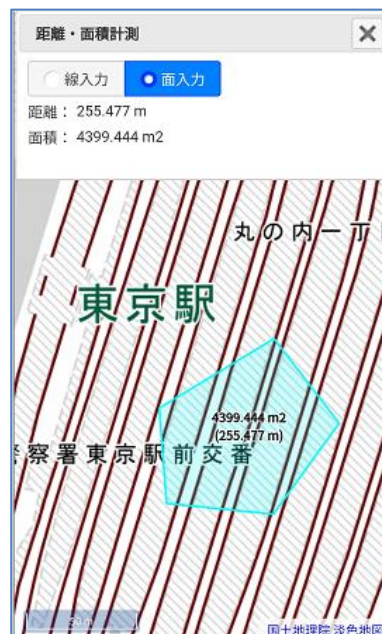
・住所検索

[「8 住所検索」](#)を参照願います。



・計測

[「9 計測」](#)を参照願います。



・表示設定

[「10 表示設定」](#)を参照願います。



PC版の「現在地情報」はありません。

19 添付画像のユーザーサーバへの保存

各データには、イメージ画像を添付することが可能です。

[「7-11 イメージ画像の添付」](#) 参照。

また、添付した画像は、KML 形式（実際には KMZ）で保存することも可能です。

[「14-2 KML データでの保存」](#) 参照。

ただし、大量の画像を保存する場合は、KMZ のファイルサイズが膨大となり、現実的ではありません。ただ、データに添付画像を付加したいという要望はあります。

そこで、ユーザサイドで、信頼できるユーザーサーバを準備頂き、そこに添付画像を保存できる仕組みを実装しました。

保存された CSV、KML、GeoJSON には、その画像の URL のみを持ち、実体の画像はユーザーサーバ上に存在する、という仕組みです。

これにより、大量の画像の添付も可能としました。

19-1 ユーザーサーバの準備

この機能を実現するためには、ユーザサイドで、信頼できる WWW サーバ、PHP が稼働する環境を準備頂く必要があります。

そのサーバに HTTP で保存、参照できるフォルダを作成、公開して頂きます。

サーバは基本的にはグローバル IP である必要があります。

※ ブラウザの設定により、localhost（自分の PC）での保存も可能となります。

[「19-4 localhost（自分の PC）でのサンプル」](#) 参照

また、そのフォルダに、弊社で準備した PHP プログラムを保存して頂く必要もあります。

PHP プログラムは、下記よりダウンロード願います。

https://www.neogis.co.jp/download/program_dl.html

このユーザーサーバの準備に関しては、ユーザ担当となります。

19-2 本サービスでの使用方法

セキュア GIS 起動時に、URL の後ろに、IMAGE パラメータとユーザーサーバ URL を追加して起動します。

例えば、デモサイトで、

https://neogis.net/mapv/index_demo.html?IMAGE=neogis.demo/sg.tenpu

として、セキュア GIS を起動すると、

https://neogis.demo/sg_tenpu のフォルダに、添付画像が保存されます。

注意：https://neogis.demo/sg_tenpu は、架空のサイトです。これで起動すると固まります。

保存される画像のファイル名は以下となります。

YYYYMMDD/YYYYMMDD-hhmmsssss. {拡張子}

※sssss の下3桁はミリ秒

注意： ユーザーサーバが ssl 対応の場合は、セキュア GIS も「https://」で起動。

ユーザーサーバが、ssl 非対応の場合は、セキュア GIS も「http://」で起動。

19-3 実行サンプル

実際の実行サンプルを紹介します。

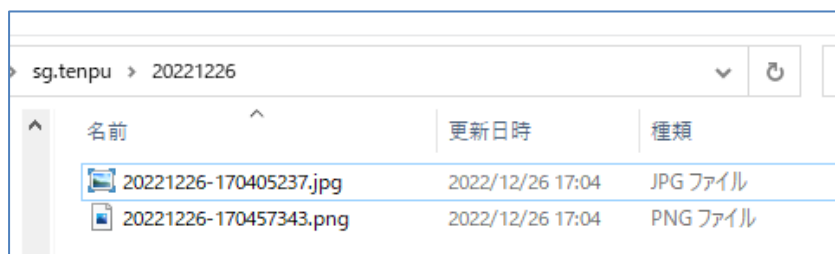
ユーザーサーバは、架空のサーバ (https://neogis.demo/sg_tenpu) とします。
Windows のサーバです。

https://neogis.net/mapv/index_demo.html?IMAGE=neogis.demo/sg_tenpu で起動。

画像付きデータを 2 件登録。



ユーザーサーバの対象フォルダ



2 件の画像が保存されています。

ヒント：

複数レイヤが存在する場合も、全て https://neogis.demo/sg_tenpu フォルダに保存されます。

レイヤごとに、フォルダを分けたい場合は、レイヤ毎にユーザーサーバフォルダを分ける必要があります。

例えば、 `IMAGE= neogis.demo/sg_tenpu_layer1`

`IMAGE= neogis.demo/sg_tenpu_layer2`

という分け方をします。

また、サーバフォルダ名に漢字は使用しないでください。

上記を CSV で保存します。

A	B	C	D	E	F	G
名前	内容	_T	_S	_LON	_LAT	ngis.photos
テスト	添付画像	1	1	139.6497	35.73744	https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170405237.jpg
テスト2	添付2	1	14	139.6491	35.73713	https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170457343.png

上記を KML で保存します。

KMZ 内の dok.kml

```
<styleUrl>#stl_1</styleUrl>↓
<ExtendedData>↓
<Data name="内容"><value><![CDATA[添付画像]]></value></Data>↓
<Data name="_L"><value><![CDATA[標準]]></value></Data>↓
<Data name="_T"><value><![CDATA[1]]></value></Data>↓
<Data name="_S"><value><![CDATA[1]]></value></Data>↓
<Data name="ngis.photos"><displayName>添付画像</displayName><value><![C
src="https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170405237.jpg">]]><
<Data name="_olStyle"><value><![CDATA[{"text":{"overflow":true,"font":"
</ExtendedData>↓
<Point><coordinates>139.64971921412504,35.73743587132526</coordinates><
</Placemark>↓
<Placemark>↓
<name><![CDATA[テスト2]]></name>↓
↓
<styleUrl>#stl_2</styleUrl>↓
<ExtendedData>↓
<Data name="内容"><value><![CDATA[添付2]]></value></Data>↓
<Data name="_L"><value><![CDATA[標準]]></value></Data>↓
<Data name="_T"><value><![CDATA[1]]></value></Data>↓
<Data name="_S"><value><![CDATA[14]]></value></Data>↓
<Data name="ngis.photos"><displayName>添付画像</displayName><value><![C
src="https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170457343.png">]]><
<Data name="_olStyle"><value><![CDATA[{"text":{"overflow":true,"font":"
```

上記を GeoJSON で保存します。

```
{
  "type": "Feature",↓
  "properties": {↓
    "名前": "テスト",↓
    "内容": "添付画像",↓
    "_L": "標準",↓
    "_T": 1,↓
    "_S": 1,↓
    "ngis.photos": [↓
      "https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170405237.jpg",
    ]↓
  },↓
  "geometry": {↓
    "type": "Point",↓
    "coordinates": [↓
      139.64971921412504,↓
      35.73743587132526↓
    ]↓
  }↓
},

{
  "type": "Feature",↓
  "properties": {↓
    "名前": "テスト2",↓
    "内容": "添付2",↓
    "_L": "標準",↓
    "_T": 1,↓
    "_S": 14,↓
    "ngis.photos": [↓
      "https://neogis.demo/sg.tenpu/20221226/20221226-170457343.png",
    ]↓
  },↓
}
```

いずれも、ngis.photos という項目名で、画像の URL が保存されています。

19-4 localhost（自分のPC）でのサンプル

グローバル IP のサーバを準備できない場合、ブラウザの設定により localhost（自分のPC）に保存することも可能となります。
ブラウザは、Edge、Chrome が対象です。

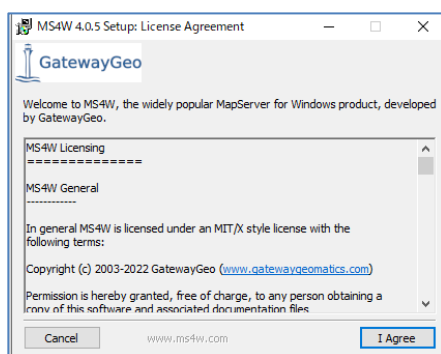
ここでは、自分のPC（Windows 10 を想定）で添付画像用フォルダを準備する手順を説明します。
下記3ステップとなります。

- ① WWW サーバのインストール
- ② フォルダ作成、WWW サーバ設定
- ③ ブラウザ設定
- ④ 動作確認

19-4-1 WWW サーバのインストール

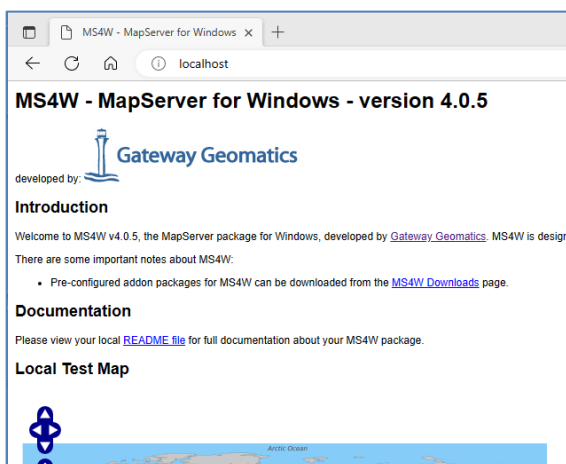
自分のPCに、WWW サーバ、PHP が稼働する環境を準備します。
ここでは、WWW サーバ（Apache）、PHP を簡単にインストールできる MS4W（MapServer for Windows）を使用します。

<https://www.ms4w.com> から、インストーラー（ms4w-4.0.5-setup.exe）をダウンロードします。（※ 2022/12/15 時点のバージョン）
ms4w-4.0.5-setup.exe のダブルクリックでインストールが始まります。



画面の指示に従ってインストールします。全てデフォルトで良いと思います。
10分程度で終了します。

ブラウザで、「<http://localhost>」と入力して、下記が表示されれば問題ありません。



19-4-2 フォルダ作成、WWW サーバ設定

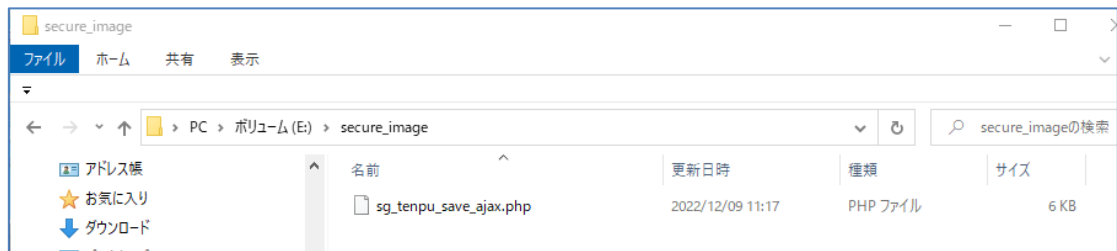
サンプルとして、E:\secure_image というフォルダを作成しました。

ここに、弊社で準備した PHP プログラムを保存します。

PHP プログラムは、下記よりダウンロード願います。

https://www.neogis.co.jp/download/program_dl.html

この中の、Shift-JIS フォルダ (Windows なので) の sg_tenpu_save_ajax.php を保存します。



次に、WWW サーバ (Apache) の設定ファイルを修正します。

MS4W をデフォルトでインストールした場合、

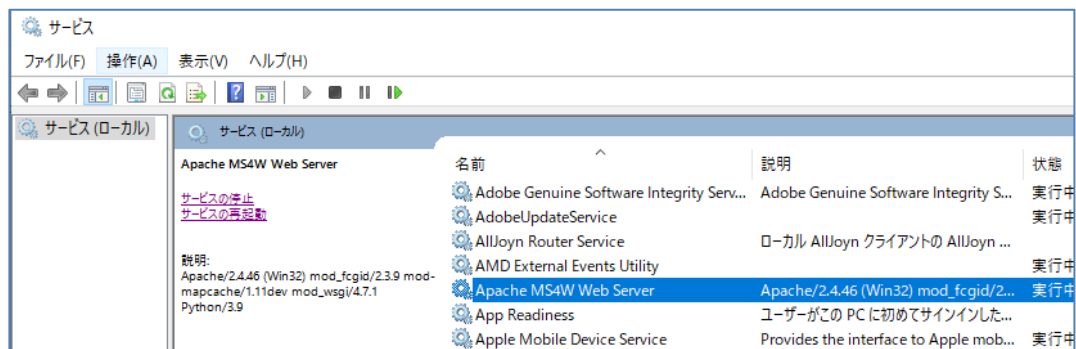
C:\ms4w\Apache\conf\httpd.conf というファイルになります。

このファイルに、下記設定を追記します。

```
Alias /my_image E:/secure_image
<Directory "E:/secure_image">
    Options Indexes FollowSymLinks
    AllowOverride None
    Require all granted
</Directory>
```

ファイルの修正後、Apache を再起動します。

「サービス」を起動して



「Apache MS4W Web Server」を選択し、「サービスの再起動」をクリック。

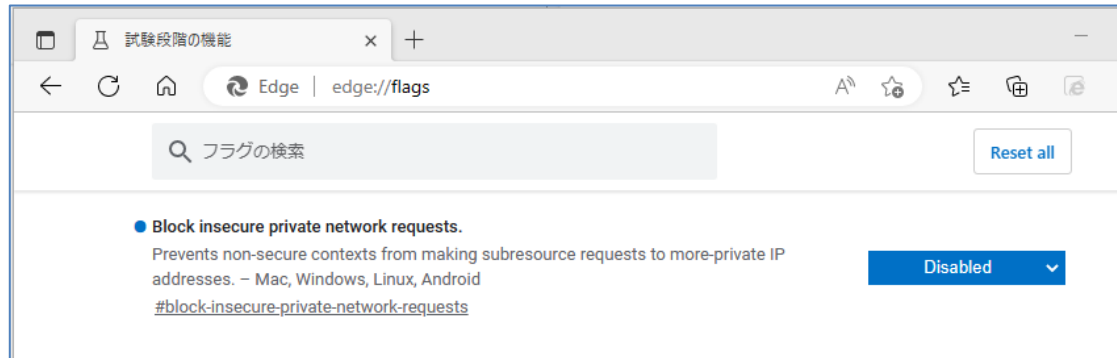
これで、WWW サーバ設定は完了です。

1 9 - 4 - 3 ブラウザ設定

Localhost へのアクセスがブロックされないように、ブラウザの設定を変更します。

Edge の場合、「Edge://flags」、Chrome の場合、「Chrome://flags」をブラウザの URL に入力。
「Block insecure private network requests.」を、「Disabled」に変更します。

下記は Edge の場合です。



設定後、ブラウザを再起動します。

1 9 - 4 - 4 動作確認

Edge で確認を行います。

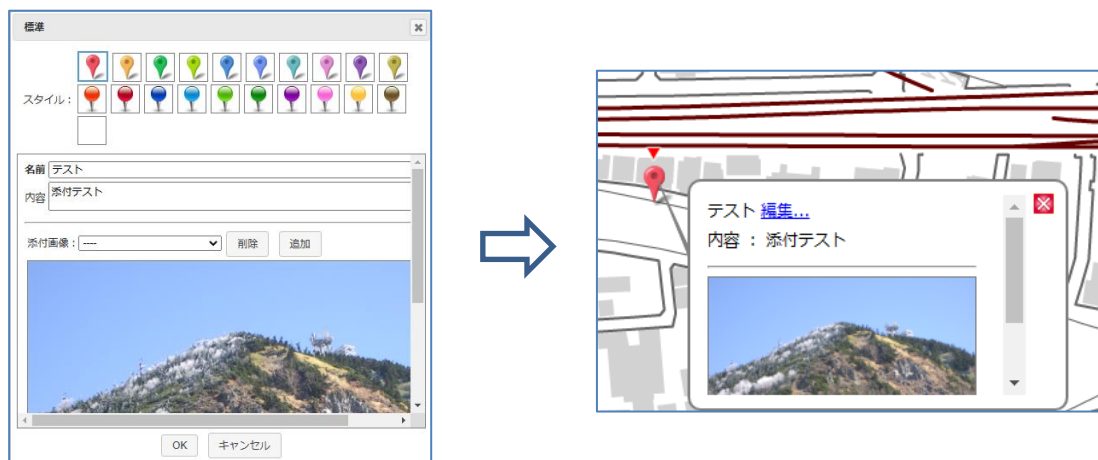
ブラウザに、下記 URL を入力して、セキュア GIS を起動します。

http://neogis.net/~mapv/index_demo.html?IMAGE=localhost/my_image

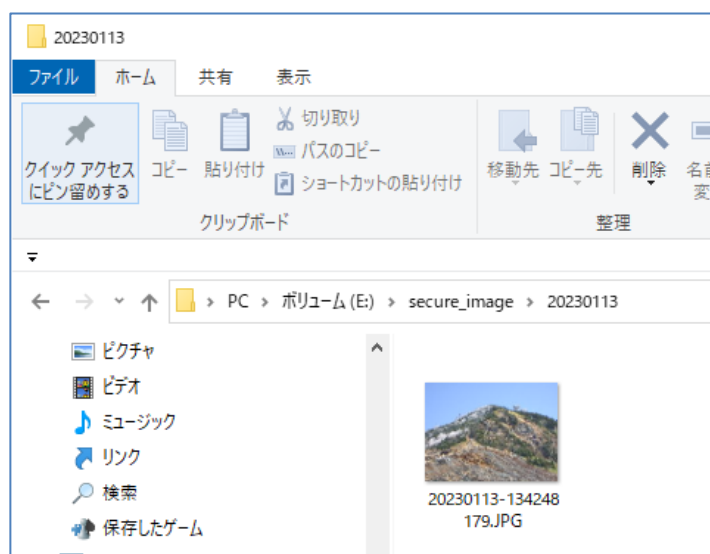
注意： localhost（自分のPC）では、通常はSSLは使用できないので、「https://」ではなく「http://」です。

見た目は何も変わりません。

標準レイヤでマーカーを登録し、画像を添付してみます。



自分のPCのE:\secure_image フォルダに、日付のフォルダができ、登録した画像が保存されています。



データを CSV で保存してみます。

自動保存 ☐ オフ ☒ オン 標準.csv

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 ヘルプ Acrobat

A1 : × ✓ fx 名前

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	名前	内容	_T	_S	_LON	_LAT	ngis.photos					
2	テスト	添付テスト	1	1	139.6482	35.7374	http://localhost/my_image/20230113/20230113-134248179.JPG					
3												
4												

セキュア GIS 起動時に指定した localhost (自分のPC) 「localhost/my_image」の URL で保存されています。

注意： 次回のセキュア GIS 起動時も、
http://neogis.net/~mapv/index_demo.html?IMAGE=localhost/my_image
 で起動する必要があります。

50 画地計測（オプション）

画地計測とは、自治体税務課で土地の固定資産、相続税を計算するために、対象土地の間口、奥行き等を計測するためのツールです。

おもに、自治体税務課向けの特別な機能です。

オプション（有償）機能となります。

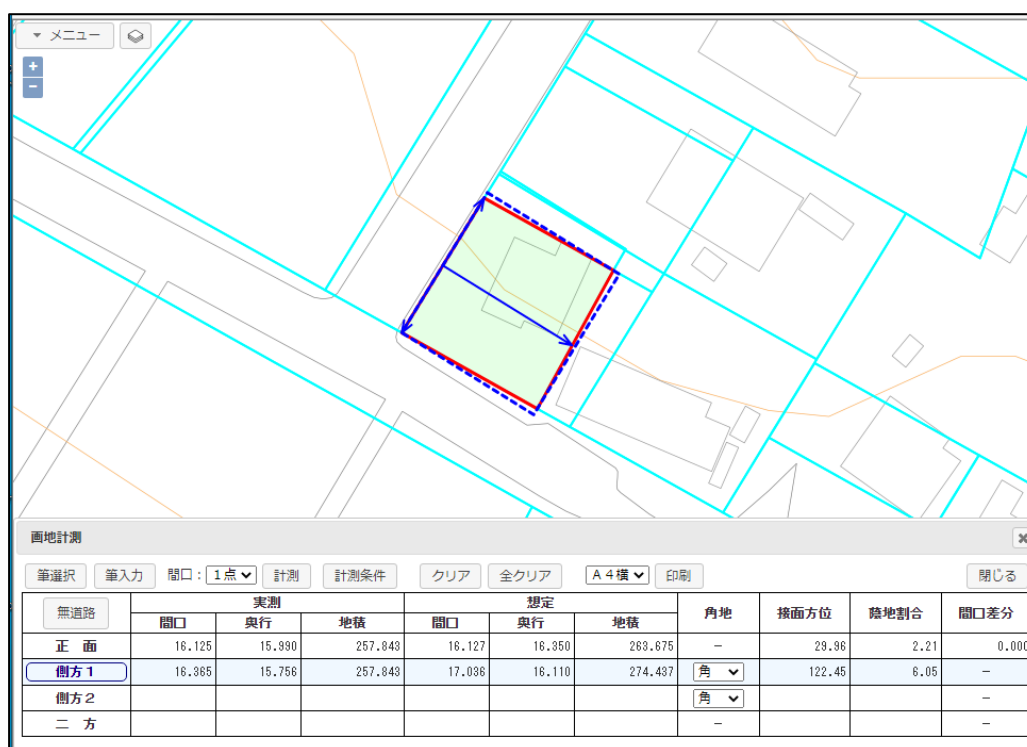
50-1 計測項目

画地計測機能では、以下が可能です。

- ・正面、側方1、側方2、二方の計測が可能。
- ・無道路地の計測も可能。
- ・想定整形地を自動生成します。
- ・蔭地割合（想定整形地と筆形状の差分）も自動計算します。

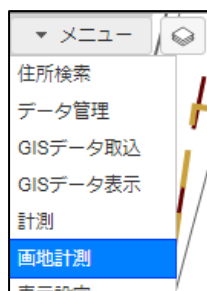
取得できる値は

- ・実測（図面上）の間口、奥行き、地積
- ・想定整形地の間口、奥行き、地積
- ・接面方位
- ・蔭地割合
- ・間口差分（道路縁から想定整形地間口までの距離）



50-2 画地計測ウィンドウ

「メニュー」「画地計測」を選択し、画地計測ウィンドウを表示します。



画地計測																			
筆選択		筆入力		間口: 1点 ▼		計測		計測条件		クリア		全クリア		A4横 ▼		印刷		閉じる	
無道路		実測			想定			角地		接面方位		隣地割合		間口差分					
		間口		奥行		地積		間口		奥行		地積							
正面														-					
側方1														角 ▼				-	
側方2														角 ▼				-	
二方														-				-	

筆選択: 計測対象の筆を選択します。

筆入力: 計測対象の筆をマウスで入力します。
任意の筆形状を入力して計測を行う事も可能です。

間口: 間口の指定方法を選択します。
1点、3点、多点が選択可能です。それぞれの計測方法は後述します。

計測: 実際の計測を実行します。

計測条件: 計測条件設定ウィンドウを表示します。

クリア: 選択中の計測面（正面／側方1／側方2／二方）の計測値をクリアします。

全クリア: 全ての計測値をクリアします。

印刷用紙: 印刷用紙を選択します。（A4横／A3横／B4横）

印刷: 印刷ウィンドウを表示します。

閉じる: 画地計測ウィンドウを閉じます。

無道路: 無道路地の計測を行います。
計測は正面のみとなります。

正面／側方1／側方2／二方: 計測する面を選択します。

50-3 計測条件の設定

計測時の細かい設定を変更することが可能です。

計測条件ボタンをクリックし、計測条件設定ウィンドウを表示して行います。

計測条件設定

[1点入力]

近似面作成用基準幅 m ☒ 自動 ☐ 固定

隅切判定用角度 45± 度

隅切判定用辺長 m

[3点・多点入力]

☐ 入力辺使用 ☐ 画地辺使用 ☒ 無道路

OK キャンセル

[1点入力] 時の条件設定

・近似面作成用基準幅：

間口辺を直線にみなすためのもの

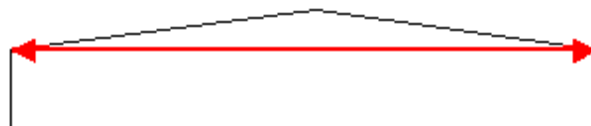
●自動：画地界の面積に応じて計算される

面積が広いほど基準幅も長く設定される。

※面積から求めた正方形の1辺の長さの5%の長さ

●固定：画地界の面積に関係なく指定した長さ（1m位が一般的）

概念図



・隅切処理：

隅切判定用角度 45±：

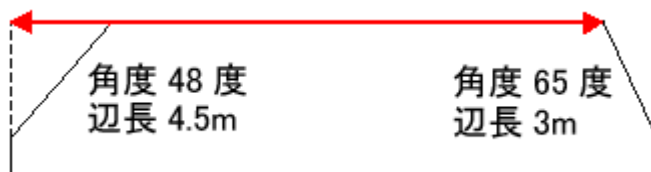
間口辺の左右辺の角度が45度±指定した度の範囲にあれば、隅切処理の対象とする。

例。5度の場合、40度から50度の範囲

隅切判定用長：

隅切辺の長さが指定した距離未満の場合に隅切処理の対象とする。

隅切処理概念図

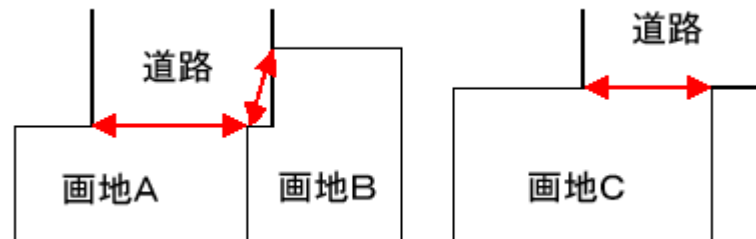


[3点および多点入力] 時の条件設定

- 入力辺使用：

袋地の奥の画地や、道路が直角に曲がっているところの画地に、使用する。(画地辺使用で意図する計測ができないとき)

注意：Sコマンド(座標スナップ)を併用する場合は画地辺使用と同じになる。



- 画地辺使用：

通常はこの処理を使用する。

入力した点から画地を構成する筆図形の最も近い座標を使用する。

- 無道路：

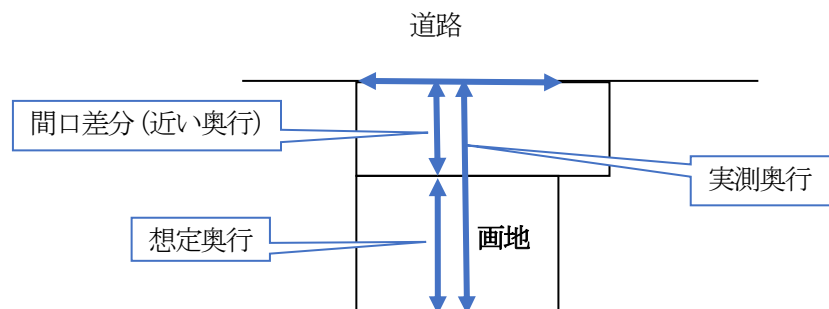
近傍の道路縁を2点以上入力し、画地内に3点目を入力する。

想定整形地は道路縁に平行に作成される。

間口差分(近い奥行)：道路縁から想定整形地間口までの距離

想定奥行(画地の奥行き)：想定整形地の奥行き

実測奥行：間口差分 + 想定奥行



注意：

間口差分(近い奥行)に関しては、無道路計測時には「近い奥行」という項目名となり、無道路計測時以外では、「間口差分」という項目名となります。

50-4 計測実行

実際の計測処理を行います。

事前に計測対象の図面を読み込んでおく必要があります。

図面は、例えば、

地番図、公図等の shape、KML、GeoJSON を読み込みます。

間口の指定により、画地計測が行われます。

間口指定方法：1点入力 or 3点入力 or 多点入力

- ・「1点入力」
間口の近傍を1点入力します。あとは、システムまかせです。
- ・「3点入力」
間口辺（2点）と、奥行き方向を入力します。
- ・「多点入力」
間口辺を細かく（2点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。

・無道路

無道路の指定を行うと、計測間口は「3点」入力、計測結果は「正面」のみが計測対象となります。

50-4-1 1点入力

間口の近傍を1点入力します。あとは、システムまかせです。

- ① 対象筆を選択します。
- ② 間口の指示方法の中から「1点」を指定します。
- ③ 計測対象を「正面、側方1、側方2、二方」の中から指定します。
- ④ 計測ボタンをクリックし、間口を計測ウィンドウ上でクリックします。

計測が自動で行われ、下図のように結果が表示されます。



計測結果

実測（間口、奥行、地積）：

実測（入力した画地図）の間口、奥行、面積となります。

想定（間口、奥行、地積）：

システムが生成した想定整形地の間口、奥行、面積となります。

角地： 側方1，側方2の時に選択可能で、「角」「準角」を、手動で設定します。

接面方位：

奥行の角度を表します。

北方向が0度で、左周りに360度で表示します。

陰地割合：

$(1 - \text{実測地積} / \text{想定地積}) / 100$ となります。

間口差分：

実際は無道路計測時に意味があります。

間口から想定整形地までの距離です。

無道路計測時は「近い奥行」という項目名になります。

無道路計測時以外の場合は、計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合の、入力した間口から想定整形地の間口までの距離となります。

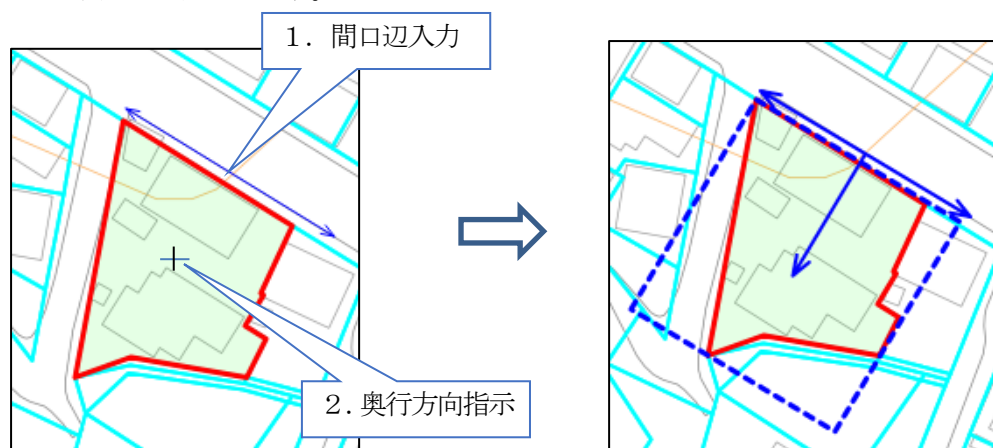
50-4-2 3点入力

間口を手動で指定する計測方法です。

間口辺（2点）と、奥行き方向を入力します。

計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合に特に有効です。

- ① 対象筆を選択します。
- ② 間口の指示方法の中から「3点」を指定します。
- ③ 計測対象を「正面、側方1、側方2、二方」の中から指定します。
- ④ 計測ボタンをクリックし、間口となる辺（2点）を計測ウィンドウ上で入力し、最後に奥行き方向を1点支持します。



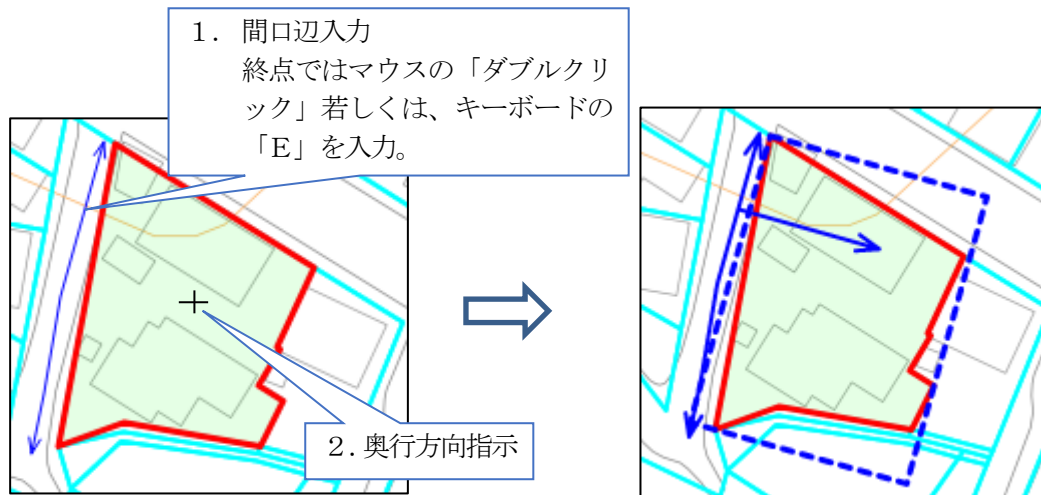
分かりやすくするため、極端に間口をずらしています。

3点を使用する場合は、計測条件設定で、「入力辺使用」を使用してください。
計測条件設定で、「画地辺使用」を選択した場合は、システムが自動で間口を画地辺に摺り寄せてしまうので、あまり意味がありません。

50-4-3 多点入力

間口を手動で細かく指定する計測方法です。
間口辺（2点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。
計測条件設定で、「入力辺使用」を選択した場合に特に有効です。

- ① 対象筆を選択します。
- ② 間口の指示方法の中から「多点」を指定します。
- ③ 計測対象を「正面、側方1、側方2、二方」の中から指定します。
- ④ 計測ボタンをクリックし、間口となる辺（2点以上）を計測ウィンドウ上で入力し、最後に奥行き方向を1点支持します。



分かりやすくするため、極端に間口をずらしています。

多点を使用する場合は、計測条件設定で、「入力辺使用」を使用してください。
計測条件設定で、「画地辺使用」を選択した場合は、システムが自動で間口を画地辺に摺り寄せてしまうので、あまり意味がありません。

50-4-4 無道路計測

無道路地の計測方法です。
近傍の道路縁間口辺（2点以上）と、奥行き方向を入力します。
想定整形地はもっとも長い間口を基準に作成されます。

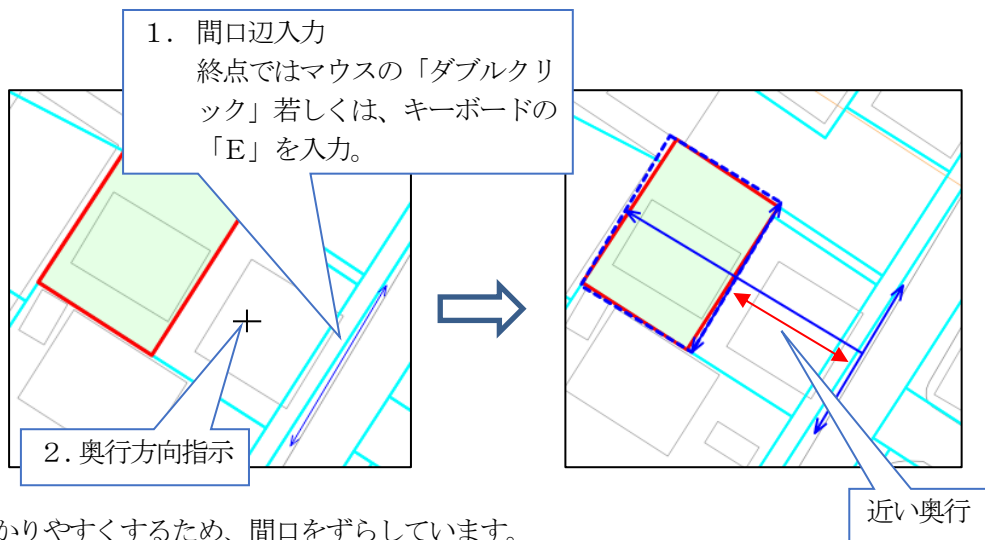
- ① 対象筆を選択します。
- ② 無道路ボタンをクリックします。
自動的に、
画地計測ウィンドウが正面のみとなります。
計測条件設定も、「無道路」となります。

画地計測

筆選択 筆入力 間口: 3点 計測 計測条件 クリア 全クリア A4横 印刷 閉じる

無道路	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	近い奥行
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面							-			

- ③ 計測ボタンをクリックし、無道路地の間口となる辺（2点以上）を計測ウィンドウ上でマウスクリックにより指定します。



分かりやすくするため、間口をずらしています。

50-5 計測結果の印刷

計測結果をプリンタに印刷します。

あるいは、印刷の pdf 出力により、pdf ファイルで保存することも可能です。

50-5-1 印刷レイアウト

用紙を選択して、印刷ボタンをクリックし、印刷プレビューウィンドウを起動します。

A4横 印刷

画地計測

印刷

表題: 画地計測
基地NO:
構成編:
注釈: 令和4年5月12日
計測修繕集 ☒ 吹き出し表示
表示サイズ: 標準 拡大 縮小
印刷 閉じる

基地NO: 構成編: 令和4年5月12日

	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積				
正面	16.868	21.292	430.412	26.006	21.292	553.713	-	209.98	22.27	0.000
側方1	22.098	19.477	430.412	29.074	22.702	660.020	角	144.41	34.79	-
側方2							-			-

計測結果の図と計測値が整形された印刷イメージで表示されます。

ここで、表題、画地 NO、構成筆、注釈の編集が可能です。
注釈のデフォルトは、印刷日となります。

計測値変更： 計測値編集ウィンドウを表示します。
計測値を編集可能となります。

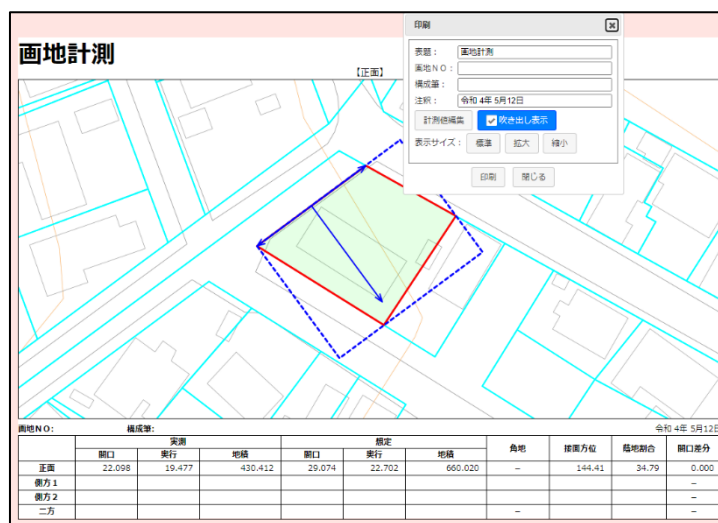
吹き出し表示チェックボックス： 吹き出しの ON/OFF を設定します。

表示サイズ： 図面内の対象筆の表示サイズを変更可能です。
標準： システムで決めたサイズ
拡大： 若干拡大します。
縮小： 若干縮小します。

印刷： ブラウザの印刷ウィンドウを表示します。

計測データにより印刷レイアウトが変わります。

正面のみの場合。



正面、側方1、側方2がある場合。

画地計測

印刷

表題: 画地計測
 画地NO:
 構成筆:
 注釈: 令和4年5月12日
☒ 計測値編集
☐ 吹き出し表示
 表示サイズ: 標準 拡大 縮小

画地NO: 構成筆: 令和4年5月12日

	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	開口差分
	開口	奥行	地積	開口	奥行	地積				
正面	22.098	19.477	430.412	29.074	22.702	660.020	-	144.41	34.79	0.000
側方1	16.868	21.292	430.412	26.006	21.292	553.713	角	209.98	22.27	-
側方2	24.430	17.618	430.412	25.011	21.345	533.849	角	32.73	19.38	-
二方							-			-

正面、側方1、側方2、二方、全てある場合。

画地計測

印刷

表題: 画地計測
 画地NO:
 構成筆:
 注釈: 令和4年5月12日
☒ 計測値編集
☐ 吹き出し表示
 表示サイズ: 標準 拡大 縮小

画地NO: 構成筆: 令和4年5月12日

	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	開口差分
	開口	奥行	地積	開口	奥行	地積				
正面	22.098	19.477	430.412	29.074	22.702	660.020	-	144.41	34.79	0.000
側方1	16.868	21.292	430.412	26.006	21.292	553.713	角	209.98	22.27	-
側方2	24.430	17.618	430.412	25.011	21.345	533.849	角	32.73	19.38	-
二方	21.352	20.158	430.412	22.017	24.421	537.682	-	304.29	19.95	-

50-5-2 計測値の編集

システムで計測した値を、印刷時に編集することが可能です。

計測値変更ボタンをクリックして、計測値編集ウィンドウを表示します。

計測値編集

	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	開口差分
	開口	奥行	地積	開口	奥行	地積				
正面	16.868	21.292	430.412	26.006	21.292	553.713	-	209.98	22.27	0.000
側方1	22.098	19.477	430.412	29.074	22.702	660.020	角	144.41	34.79	-
側方2										-
二方							-			-

OK キャンセル

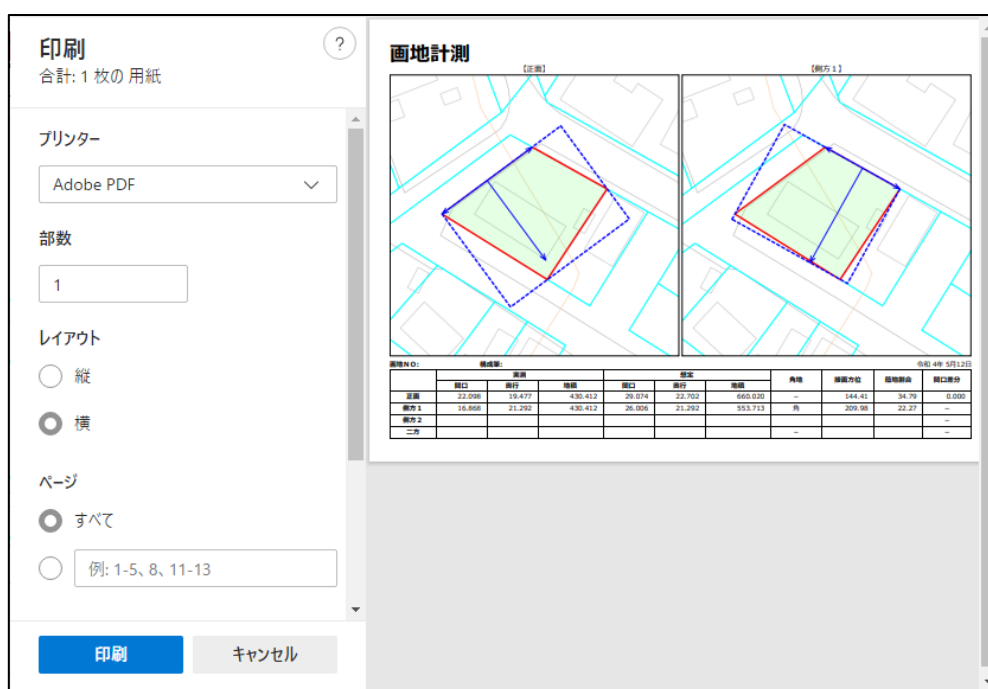
値を編集して、OK ボタンで、印刷プレビューの計測値が変更されます。

50-5-3 計測結果の印刷

印刷を実行します。

印刷ボタンをクリックすると、ブラウザの印刷ウィンドウが表示されます。
あとは、ブラウザに印刷機能に従って印刷します。

(例) Microsoft Edge の印刷ウィンドウ



以上